

第五十九回 帝國議會  
衆議院

## 地租法案外六件委員會議錄(速記)第十七回

會議	昭和六年二月二十三日(月曜日)午前十時四十分開議	出席委員左ノ如シ	大藏大臣 井上準之助君	府提出)
委員長 本田 恒之君	出席政府委員左ノ如シ	内務省地方局長 次田 大三郎君	大正十五年法律第二十四號中改正法 律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)	付託議案 地租法案(政府提出)
理事 西脇 晉君	内務書記官 岡田 周造君	大藏政務次官 小川 郷太郎君	都市計畫法中改正法律案(政府提出)	營業収益稅法中改正法律案(政府提出)
理事 中村 繼男君	大藏參與官 勝 正憲君	○岡田委員 材料ノコトデ政府委員ニ ○岡田委員	市町村稅ノ成績ト云フヤウナモノハ此 前モ一寸申上グマシタヤウニ、實ハ手 許ノ方ニアリマセヌノデ、紹介シテ調 書ヲ作ラナケレバナラヌノデアリマシ テ、マダ出來テ居リマセヌノデアリマ スガ、頻ニ督促致シテ集メテ居リマス カラ、其中デ出來マシタモノヲ差上げ ルコトニ致シマス	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出) 明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
理事 高橋 熊次郎君	大藏書記官 川越 丈雄君	野津高次郎君	出シ下サルデセウカ、何處々々アーナ タノ方デ御調ベニナツテ居ルカ、チヨッ トアナタノ方ノ項目ヲコチラヘ御話願 ヒタイ	方稅制ニ關スル件(政府提出)
理事 清水 銀藏君	大藏書記官 關原 忠三君	トアナタノ方ノ項目ヲコチラヘ御話願 ヒタイ	都市計畫法中改正法律案(政府提出)	耕地整理法中改正法律案(政府提出)
松井 文太郎君	大藏書記官 賀屋 興宣君	トアナタノ方ノ項目ヲコチラヘ御話願 ヒタイ	大正十五年法律第二十四號中改正法 律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)	地租法案(政府提出)
辻本 豊三郎君	專賣局長官 平野 亮平君	○岡田政府委員 從前御要求ニナリマ シタモノハ、今日其中ノ出來マシタ分 ダケ取敢エズ四五表御手許ノ方へ差上 ゲマス	只今ノ昭和四年度道府縣 歲入出決算ノ調デスガ、アノ中デ自然 減、節約ノ調ハドウナリマスカ	付託議案 地租法案(政府提出)
松本 忠雄君	商工政務次官 橫山 勝太郎君	○岡田政府委員 從前御要求ニナリマ シタモノハ、今日其中ノ出來マシタ分 ダケ取敢エズ四五表御手許ノ方へ差上 ゲマス	○岡田政府委員 只今ノ昭和四年度道府縣 歲入出決算ノ調デスガ、アノ中デ自然 減、節約ノ調ハドウナリマスカ	營業収益稅法中改正法律案(政府提出)
前田 房之助君	一柳仲次郎君	本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ 地租法案(政府提出)	○岡田政府委員 只今ノ昭和四年度道府縣 歲入出決算ノ調デスガ、アノ中デ自然 減、節約ノ調ハドウナリマスカ	砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)
竹田 儀一君	内田 信也君	木暮武太夫君	○岡田政府委員 其點ハ先日モ非公式 ニ申上グマシタガ、サウ云フ内譯ニ付 テ決算ヲ調ベテ居リマセヌノデアリマ スカラ、其目的デ特別ニ今度調ベナケ レバサウ云フコトハ出來兼ネル譯デア リマス、ソレニ付キマシテハ道府縣ニ 紹介致シマシテモ、道府縣トシテモ調 べタモノヲ手許ニハ持ツテ居ラヌダラ ウト思フノデアリマス、サウシマスト	明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
木暮武太夫君	武田 德三郎君	加藤 鎌五郎君	○岡田政府委員 昭和四年度ノ歲入出 出)	法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政 レカラ 昭和六年度ノ道府縣ノ豫算ノ 出席國務大臣左ノ如シ
大口 喜六君	岡田 忠彦君	津雲 國利君	○岡田政府委員 ソレハドウ云フ程度ノモ ノデスカ	明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(政府提出)
松谷與二郎君	岡田 忠彦君	津雲 國利君	○岡田政府委員 ソレハドウ云フ程度ノモ ノデスカ	法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政 レカラ 昭和六年度ノ道府縣ノ豫算ノ 出席國務大臣左ノ如シ
同日委員前田米藏君及村岡吾一君辭任 ニ付其ノ補闕トシテ津雲國利君及海老 澤爲次郎君ヲ議長ニ於テ選定セリ	出)	出)	出)	出)

非常ニ暇ガ取レルノデナイカト思ヒマスカラ、先ヅ此會議ニハ間ニ合ヒ兼ネルト思ツテ思ルノデアリマスガ……

## ○岡田委員

一應御尤デゴザイマス

ガ、實ハ道府縣別ノ歲入出ノ減ニ付テ、殊ニ歲出ガドレダケ節約カ、ドレダケ

ガ繰延カ、ドレダケガ自然減デアルト云フヤウナコトハ、ヤハリ内務省トシテモ、御訓令ノ趣旨ヲ徹底スル上ニ於テハ、當然御調べニナラナケレバナラ

ヌモノト思ヒマス、又ソレガナケレバ、ドウシテモ私ガ意見ヲ述べルノニ困ル

ノデアリマスカラ、一ツ道府縣ニ限テデシウゴザイマス、市町村ハ無論是ハムヅカシイト思ヒマスシ、内務省トシテモ餘程御困リダラウト思ヒマスカラ、道府縣ニ限リマシテ、一ツ是非御調

ベヲ願ヒタイ、御無理カモ存ジマセヌガ、是ハ内務省モ監督上當然要ルモノト思ヒマス、又既ニ私ハアルベキモノト思ツテ居リマス

○岡田委員 只今ノ御話ノ點ハ出来得ル限り是カラ取調べマシテ、成ベク御趣旨ニ副フヤウニ致シタイトと思ヒマス

○岡田委員 ソレカラ此間義務教育費ノ費途ニ付テ内務大臣ニ御尋致シマテ、其時ニ御答ガアツテ居リマス、九百何十萬圓ト云フヤウナ負擔減デアル、其負擔減デアルト云フ内容ニ付テノ詳

細ナル御取調ガアル筈デアリマスカラ、ソレノ提出ヲ求メテ置キマシタガ、アレハモウ出來テ居ル頃デアリマセウ

○岡田政府委員 各府縣別ノ御話デゴザイマスカ

○岡田委員 アノ時申上グタノハ、九百七十何萬圓デアリマシタカ、次第地方

局長ノ御答デアリマシタ、ソレダケガ負擔減ニナツテ居ル、ソレガ如何ナル稅目ニ付テ如何ナル課率デ以テ減ニナツ

テ居ルノデアリマスカ、其御調ノ内容ヲ發表願ヒタイト思フノデアリマス

○岡田政府委員 各府縣別ノ御話ノヤウデアリマシタノデ、各府縣別ニ今拵ヘテ居リマスカラ、今日ノ中ニハ出來ルモノト思ヒマス

○岡田委員 一寸書イテ下サイ、都市別減稅目別、竝ニ課率、第二ニハ府縣別、町村減稅目別、竝ニ課率ハ此審査期間中ニ出マセヌナラバ後カラ頂戴致シタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ残

○岡田委員 各府縣別ト總括シテ申シタノデハアリマセヌ、私ハ斯ウ言ウタノデアリマス、都市別減稅目別、竝ニ其

○岡田委員 各府縣別ト總括シテ申シタノデハアリマセヌ、私ハ斯ウ言ウタノデアリマシタ、是ハ町村別ノ課率ノ點ハ後廻シニシテモ宜シウゴザイマスガ、都

市別ノ減稅目別及ビ課率ノ減、ソレカラ

テモ、町村ノ減稅ノ稅目竝ニ課率ト申シマシタ、是ハ町村別ノ課率ノ點ハ後地租ナリ、附加稅其他ノ調デスナ、滋賀縣、富山縣ト同ジヤウナモノヲアレラ

テ居ルノハ、富山縣、滋賀縣以外ノ私ノ要求致シマシタ縣ヲ成ベク多數ニ、

テモ、府縣別ト致シマシテハ、町村總計ノ減稅ノ別ヲ知リタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ東京市ノ實例ニ付テモ、手近

至急ニ御取纏メヲ願ヒタイ、私ガ見テ

○岡田委員 ソレカラ此間義務教育費ノ費途ニ付テ内務大臣ニ御尋致シマテ、其時ニ御答ガアツテ居リマス、九百何十萬圓ト云フヤウナ負擔減デアル、

査期間中ニ是非出シテ戴カヌト私ノ質問ニ困ル譯デアリマス、其御返事ヲ一

ダケ減ツタカト云フコトヲ今調ベテ、ソレガ今日ノ中ニ出來ルモノト思ツテ居リマシテ、更ニ其點ヲ調ベマシテ成依リマシテモ出來ナイマセント、ソレク早ク出シマス

○岡田政府委員 各府縣別ニ稅ガドレダケ減ツタカト云フコトヲ今調ベテ、ソ

レガ今日ノ中ニ出來ルモノト思ツテ居リマシテ、更ニ其點ヲ調ベマシテ成依リマシテモ出來ナイマセント、ソレク早ク出シマス

○岡田委員 ソレハ此前詳シク言ウタノデアリマスガ、ソレヂヤモウ一遍言ヒマセウカ

○岡田委員 モウ一遍御願致シマス、或ハ一ツ書イタモノガアリマシタウデアリマシタノデ、各府縣別ニ今拵ヘテ居リマスカラ、其御調ノ内容ヲ發表願ヒタイト思フノデアリマス

○岡田政府委員 モウ一遍御願致シマス、或ハ一ツ書イタモノガアリマシタウデアリマシタノデ、各府縣別ニ今拵ヘテ居リマスカラ、其御調ノ内容ヲ發表願ヒタイト思フノデアリマス

○岡田委員 一寸書イテ下サイ、都市別減稅目別、竝ニ課率、第二ニハ府縣別、町村減稅目別、竝ニ課率ハ此審査期間中ニ出マセヌナラバ後カラ頂戴致シタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ残

○岡田委員 各府縣別ト總括シテ申シタノデハアリマセヌ、私ハ斯ウ言ウタノデアリマシタ、是ハ町村別ノ課率ノ點ハ後廻シニシテモ宜シウゴザイマスガ、都

市別ノ減稅目別及ビ課率ノ減、ソレカラ

テモ、町村ノ減稅ノ稅目竝ニ課率ト申シマシタ、是ハ町村別ノ課率ノ點ハ後地租ナリ、附加稅其他ノ調デスナ、滋賀

縣、富山縣ト同ジヤウナモノヲアレラ

テ居ルノハ、富山縣、滋賀縣以外ノ私ノ要求致シマシタ縣ヲ成ベク多數ニ、

テモ、府縣別ト致シマシテハ、町村總計ノ減稅ノ別ヲ知リタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ東京市ノ實例ニ付テモ、手近

至急ニ御取纏メヲ願ヒタイ、私ガ見テ

○岡田委員 ソレカラ此間義務教育費ノ費途ニ付テ内務大臣ニ御尋致シマテ、其時ニ御答ガアツテ居リマス、九百何十萬圓ト云フヤウナ負擔減デアル、

ダケヲ申上グルノデアリマスガ、内務大臣ノ御出席ヲ願ヒマセント、ドウモ困ルノデアリマシテ、私トシテハ夜デモ晝デモ何時デモ宜シイ、委員會ノ全體ノ御模様ニ依ツテ委員長ノ御配慮ヲ願フ譯デアリマスガ、兎ニ角内務大臣ガ今少シ出席シテ下サイマセント、私ノ質問ハドウシテモ出來ナイマセント、スマス、其コトヲ委員長ヲ通ジテドウカ……

○岡田政府委員 各府縣別ニ稅ガドレダケ減ツタカト云フコトヲ今調ベテ、ソ

レガ今日ノ中ニ出來ルモノト思ツテ居リマシテ、更ニ其點ヲ調ベマシテ成依リマシテモ出來ナイマセント、ソレク早ク出シマス

○岡田委員 ソレハ此前詳シク言ウタノデアリマスガ、ソレヂヤモウ一遍言ヒマセウカ

○岡田委員 モウ一遍御願致シマス、或ハ一ツ書イタモノガアリマシタウデアリマシタノデ、各府縣別ニ今拵ヘテ居リマスカラ、其御調ノ内容ヲ發表願ヒタイト思フノデアリマス

○岡田政府委員 モウ一遍御願致シマス、或ハ一ツ書イタモノガアリマシタウデアリマシタノデ、各府縣別ニ今拵ヘテ居リマスカラ、其御調ノ内容ヲ發表願ヒタイト思フノデアリマス

○岡田委員 一寸書イテ下サイ、都市別減稅目別、竝ニ課率、第二ニハ府縣別、町村減稅目別、竝ニ課率ハ此審査期間中ニ出マセヌナラバ後カラ頂戴致シタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ残

○岡田委員 各府縣別ト總括シテ申シタノデハアリマセヌ、私ハ斯ウ言ウタノデアリマシタ、是ハ町村別ノ課率ノ點ハ後廻シニシテモ宜シウゴザイマスガ、都

市別ノ減稅目別及ビ課率ノ減、ソレカラ

テモ、町村ノ減稅ノ稅目竝ニ課率ト申シマシタ、是ハ町村別ノ課率ノ點ハ後地租ナリ、附加稅其他ノ調デスナ、滋賀

縣、富山縣ト同ジヤウナモノヲアレラ

テ居ルノハ、富山縣、滋賀縣以外ノ私ノ要求致シマシタ縣ヲ成ベク多數ニ、

テモ、府縣別ト致シマシテハ、町村總計ノ減稅ノ別ヲ知リタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ東京市ノ實例ニ付テモ、手近

至急ニ御取纏メヲ願ヒタイ、私ガ見テ

○岡田委員 ソレカラ此間義務教育費ノ費途ニ付テ内務大臣ニ御尋致シマテ、其時ニ御答ガアツテ居リマス、九百何十萬圓ト云フヤウナ負擔減デアル、

<p>セルヤウニシテ御發表ヲ願ヒタイト云 フコトヲ、先日御願シテ置イタノデアリマス、ソレハ私ノ第二ノ質問ヲ伺フニ付テモ、私ハ財源ノ問題ニ付テ大分疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、ドウカ是ハ至急ニ御願シタイ、私ハ數日前ニ御願シテ置イタノデアリマス、ソレハ何年度ニドレダケ残ツテドウ云フ計畫ヲ立テ、居ルト云フコトヲ知ラナイト質問モ出來ズ、私ノ疑ヲ明カニスルコトガ出來マセヌ、意見ヲ立テルノニ甚ダ困ツテ居ルノデアリマス、海軍省ト能ク御交渉ヲナスツテ明朝マデニ</p>		<p>御願シテ居ツタノデスガ、是ハマダ出テス、國稅ノ方ハ大體數字ガ出テ居リマスケレドモ、此方ヲ至急御提出ニナル</p>
<p>○木暮委員 大藏大臣ニ伺ヒマス、私ノ質問ハ成ベク簡潔ニ申上グマスカラ、御答辯モハッキリ御願致シマス、先ラ、御答辯モハッキリ御願致シマス、此内閣第一ニ御尋申上ゲタイ事ハ、此内閣ガ十大政綱發表以來、幾多ノ言論機關ニ通ジ、或ハ地方ニ於キマシテ宣傳シタル極メテ重大ナ題目デアル所ノ陸軍ノ軍事費整理、之ヲ斷行スルト云フ意味デ大分力強イコトヲ言ヒ、輿論モ之ヲ非常ニ應援シテ居ツテ、現ニ宇垣陸軍大臣ガ就任サレテ、此宇垣陸軍大臣ノ勢力ヲ以テシテモ濱口内閣ノ下ニ於テハ、多年國民ノ要望シタ陸軍軍事費ノ整理ガ出來テ、サウシテ豫算ノ上ニ現レルモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居タ、然ルニ最近ニ於テ貴族院ノ一議員ノ質問ニ對シテ宇垣陸軍大臣ハ、軍事費ノ整理ト云フコトニ付テハ、公ニ約束シタコトハナイト云フコトヲ言明サレテ居ルケレドモ、軍事費ノ整理ハ軍細ヲ御願シタイト云フコトヲ御願シテレカラ銀行ニ於ケル預金貸出ノ内訳明置キマシタガ、之ヲ至急……ソレカラ内務當局ニ御願スルノデスガ、此前ニ</p>		<p>居ル、現内閣殊ニ豫算ニ關係ノアル財政</p>
<p>○井上國務大臣 御承知ノ如ク此十大政綱ヲ出シテ、同時ニ軍制ノ改革ニ付テ委員會ヲ捲ヘテ、段々調査ヲ進メテ居ルノデアリマス、ソレカラ金ガドノガ第一ニ御尋申上ゲタイ事ハ、此内閣ガ十大政綱發表以來、幾多ノ言論機關ヲ通ジ、或ハ地方ニ於キマシテ宣傳シタル極メテ重大ナ題目デアル所ノ陸軍ノ軍事費整理、之ヲ断行スルト云フ意味デ大分力強イコトヲ言ヒ、輿論モ之ヲ非常ニ應援シテ居ツテ、現ニ宇垣陸軍大臣ノ勢力ヲ以テシテモ濱口内閣ノ下ニ於テハ、多年國民ノ要望シタ陸軍軍事費ノ整理ガ出來テ、サウシテ豫算ノ上ニ現レルモノデアルト云フコトヲ考ヘテ居タ、然ルニ最近ニ於テ貴族院ノ一議員ノ質問ニ對シテ宇垣陸軍大臣ハ、軍事費ノ整理ト云フコトニ付テハ、公ニ約束シタコトハナイト云フコトヲ言明サレテ居ルケレドモ、軍事費ノ整理ハ軍細ヲ御説明申上ゲタヤウニ、陸軍大臣カラ御説明申上ゲタヤウニ、陸軍大臣ハ、國際聯盟ノ關係モアルト云フヤウノ病氣モ關係シマシテ、ソレカラ尙ホシテ、其遲滯ノ責任ヲ問フ問題ハ別デノ整理ガ現レナカッタト云フコトニ對シテ、其遲滯ノ責任ヲ問フ問題ハ別デアル、今マデ、宇垣陸軍大臣ガ豫算總會ノ公約シタコトハナイト云フコトヲ、最近或ハ本會議ニ於テモ、未ダ嘗テサウ云テ陸軍々事費ノ整理ト云フモノハ、公ニ公約シタコトハナイト云フコトヲ言テ陸軍々事費ノ整理ト云フモノハ、公ニ公約シタコトハナイト云フコトヲ言テ居ラレル、是ハ新聞ニ出テ居リマス、サウ云フコトヲ同ジ閣僚ノ中ノ、而モ濱口内閣ノ十大政綱ノ一ツシテ</p>		<p>居ル、現内閣ノ十大政綱ノ一ツシテ</p>
<p>○木暮委員 問題ヲ誤解サレテ御答辯ニナッテ居ルヤウデアリマスカラ、私ハハッキリ申上グマスガ、此昭和五年度、年半推移ツテ來タノデアリマスカラ、其處ハ御諒解願ヒタイ</p>		

軍ノ軍事費ノ整理ヲヤルト云フコトヲ  
謳ツテ、國民ノ多大ノ同情ヲ得、又言論  
機關ノ同情ヲ得テ居ル現内閣ノ下ニ於  
ケル陸軍大臣ガ、陸軍々事費ノ整理ト  
時首相代理ノ下デアルカラト云フコト  
デ、貴族院ニ於テ一議員ノ質問ニ對シ  
テ答ヘテ居ラレル、現内閣トシテハ非  
常ニ陸軍大臣ノ爲ニ甘ク見ラレタト云  
フカ、罵倒セラレタヤウナ、玩具ニサレ  
タヤウナ傾ガアッタト吾々ハ見テ居ル  
ノデアルガ、此點ヲ聽クノデアル、或ハ  
幾ラカ出ルトカ出ナイトカト云フコ  
サレナカッタノハ、非常ニ責任上遲滯ノ  
責ヲ免レナイト云フコト、是ハ重大ナ  
問題デアルガ、是ハ別ノモノデアッテ、  
唯同ジ閣内ニ於ケル陸軍大臣ガ、此内  
閣ノ十大政綱ノ一トシテ國民ニ公約シ  
タル陸軍ノ軍事費ノ整理ト云フコトニ  
付テ、公約シタコトガナイト云フコト  
ヲ公ノ席ニ於テ言明シタト云フコトガ  
新聞ニ出テ居ル、之ニ對シテ大藏大臣  
ハドウ御考ヘニナルカト云フコトヲ聽  
イテ居ル

○井上國務大臣 甚ダナンデアリマス  
ガ、一つ私モ速記録ヲモウ一遍讀ンデ  
見マス、併シ本會議ニ於テ陸軍大臣ガ  
申シマシタコトハ、今木暮君ノ質問ノ  
句ヲ今讀ンデ見マスト「陸海軍ノ經費  
ニ關シテモ國防ニ支障ヲ來サムル範圍  
ニ於テ大ニ整理節約ノ道ヲ講ズル所ア  
ラントス」ト、陸軍ダケヲ拾上ゲテ、是  
ダケノ整理、經費節約ヲ約束シタ譯ヂ  
ヤナイ、陸海軍ヲ通ジテノ、此十大政綱  
ノ文句ハサウ云フ文句デアル、斯ウ云  
フコトヲ陸軍大臣ガ言ッタヤウニ記憶  
シテ居リマシタガ、只今ノ御質問ニナッ  
テ見マスト、私ノハッキリシナイ所モア  
リマスカラ、一ツ今日晝デモ兩者ノ速  
記録ヲ讀ンデソレカラ御答致シマセ  
ウ

○木暮委員 此ノ問題ハ中々重大ナ問  
題デ、濱口内閣ノ陸軍大臣、而モ陸軍ニ  
對シテ相當ノ權力ヲ持ッテ、所謂多年  
國民ノ要望シテ居ッタ陸軍々事費ノ整  
理ガ出來ルダラウト云フコトヲ期待サ  
レテ居ッタモノガ、貴族院ニ於テ公約シ  
タコトハナイト云ッテ居ル、此問題ハ吾  
吾ハ重大ナ問題ダト考ヘマス、速記錄  
ヲ能ク御覽下サツテサウシテ御答辯ヲ  
願ヒタイ

○井上國務大臣 私カラ大要御答シ  
カ、平年度ハ二千五百六十二萬二千圓  
ヲ四ツノ稅種ニ割當テ、減稅ヲシタ各  
金額ノ割當ノ目安ハ何處ニ在ルカ、割  
當ヲシタ出所、根據ハ何處ニ在ルカ、是  
ハ極メテ今度ノ減稅案ニ付テ重大ナ問  
題デアリマスカラ明確ナ御答辯ヲ願ヒ  
マス

御答辯致シマスガ、二三日前ニ松谷君  
テ、又盡サヌ所ガアッタラ政府委員カラ  
御承知ノ如ク金額ガ二千五百萬圓  
ガ定ツテ來ル、砂糖モ大體織物消費稅ノ  
體稅ヲ一割下ゲテ、サウシテ庶民階級  
ノ使用スル物ノ免稅ノ範圍ヲ擴グヨウ  
ト云フコトカラ割出シマスト、色々ナ  
種類ノ免稅案ヲ取ツテ見マスト、其金額  
コトカラシテ稅ガ出テ來テ、ソレカラ  
其後地租ト營業收益稅ニ移ツテ行キマ  
シテ、地租ト營業收益稅ノ間ニハ稅ノ  
根本ガ違ヒマスカラ、市街ノ商工業者、

農村ノ田畠ヲ所有シテ居ル者トノ間ニ  
判然タル比較研究モ出來タノデアリマ  
スガ、大體斯ウ云フ位ノコトニシテ見  
タナラバ、凡ソ平均ガ取レテ行キヤシ

ナイカト云フコトヲ割出シタ案デアリ  
マス、大體申上ゲテ、數字的ニハ又政府  
委員カラ申上ゲマス

私ハ簡単ニ御問シテ居ルノダガ、今ノ

是レ以外ノモノニナゼ減稅ヲセナイカト云フコトハ、他ノ場合ニ段々ト聽きマスカラ、其時御答辯願ヒタ一、唯、今ノ織物消費稅ヲ一割、砂糖消費稅ヲ二割減ズルト云フ、數字ハ分ツテ居ルノダム、二戰力消費稅一百萬圓、沙唐消費稅

テ居  
額ヲキメタノカト云フ目安ヲ私ハ聽イテ  
此位カドウダト云フコトデ、減税ノ  
テ、其本税ノ金額ガ斯ク〜デアルカ  
ルト云フ點デ斯ウ云フ區別ヲチヤント  
作ツタノカ、或ハ本税ノ金額ニ割當テ  
フコトノ其目安、ソレハ負擔ガ重過ギ  
租ガ一千萬圓ト云フ金額ヲ定メタト云  
六百萬圓、營業収益稅四百六十萬圓、地  
此織物消費稅四百萬圓 砂糖消費稅

○井上國務大臣 只今私ガ申上ゲタヤ  
ウナ經過デ吾々ハサウ取リマシタノデ  
アリマス、ソレナラバ織物稅ノ一割ハ  
砂糖消費稅ノ一割トドウ釣合ガアルカ  
ト云フ事ニナリマスト、ソレニ付テハ  
片方ガ一割ナラバ片方ハ一割デナケレ

バナラヌト云フヤウナコトカラ云ヒマ  
スト、餘程説明ニ困難デアリマスガ、二  
千五百萬圓ト云フモノヲキメテ、サウ  
トヲ必要トスル、又其決意ヲ以テ此調  
査會ヲ御出シニナツタノヂヤナイカ、之  
ヲ一ツ聽イテ見マス

理ヲ行フ場合ニハ、此今回ノ昭和十二年度マデノ減税案ニ對シテハ手ヲ觸レナイヤウナ方法ヲ執ツテ置カナケレバ、

シテ間接税バカリニ行クカ行カヌカト

○井上國務大臣 只今御質問ノ通リニ

今ノ御言明ノヤウニ行政財政整理調査

云フコトガ最初ノ問題デ、サウデナクテモ宜カラウ、サウ云フコトカラ四ツノ稅ヲ取ツテ、サウ云フ割合ヲ定メタノデアリマス

○木暮委員 只今ノ御答辯デ以テ、政  
昭和七年度カラソレヲ實現シテ見タイ  
ト云フ覺悟ヲ持テ居リマス

會ニ於テ根本方針ヲ定メテ サウシテ  
昭和七年度カラ之ヲ實行スルト云フナ  
ラバ、此處デ昭和六年カラ昭和十一年  
マデノ減稅案ヲ御作リニナツテモ、此儘

○木暮委員 此問題ハ一寸保留シテ、

府ノ謳<sup>ツ</sup>タ行政財政ノ整理調査會ノ中、

デハ又弄ル必要ガアルカラ、昭和七年  
更以後、ハ御召ノニ一ノ必要ゴトイ、

其次ノ問題ヲ一ツ聽イテ見マスガ、是  
ハ一番初メニ清水君カラモ質問ガアリ  
マシタケレドモ、政府ガ今回行政及ビ  
財政整理ノ調査會ヲ開カウト云フノ  
デ、今度ノ豫算ニ五萬圓ノ經費ヲ要求  
シテ居、殊ニ幹原首用代理、施政方

○上國務大臣 稅制ノ整理ト云フ  
度以後ノ御出シニナル必要ナリ  
空文ニナルヂヤアリマセヌカ、昭和六  
年度ダケノ減税案ヲ御出シニナッタラ  
宜イノデヤアリマセヌカ、此點ヲ明確  
ニ御答辯ヲ願ヒタイ

シテ居ル　歿ニ幕府首朴代理ハ旅政ノ  
針ノ演説ノ中ニモ行財政整理ノ調査會  
ノ事ヲ強調シ、サウシテ國民負擔ヲ輕  
減シテ民力ヲ涵養スル爲ニ稅制ノ基礎  
ヲ何トカシナケレバナラスト云フ事ヨ  
非常ニ強調シテ居ラレルノデアリマツ  
ガ、是ハ來年度ノ豫算ニ御提出ニナツ  
ノデアルカラ、是ハ來年度ニ於テ其謂  
查ヲ完了シテ、少クトモ行政、財政整理  
トカ、或ハ恩給制度トカ、或ハ其他ノ士

税制整理実行不意氣送りナハノ以ニ  
七年度以後ノ今回ノ減稅案ト云フモノ  
ハ、是ハ空文同様トナルノデハナカラ  
ウカ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ、從來ノ例カ  
ラ云ヘバ、稅制整理ヲ爲スニ當ツテハ、租  
稅總額ニ亘ツテ大體増減ナキコトヲ標準  
トシテ何時デモオヤリニナルノデアル  
カラ、七年度デ大體増減無キ程度ヲ標  
準トシテ、サウシテ稅制整理ノ根本ノ  
方針ヲ御立テニナツテ、七年度カラ之ヲ

ト、減税ト云フコトハ別ニ吾々ハ考ヘテ居リマス、此減税ハ申上グルマデモナク海軍ノ餘剩金ヲ以テ減税ヲスルト云フ以上ハ、減税ヲ根本的ニ定メテ置イテ、ソレカラ今度ソレヲ基ニシテ税制ノ整理ヲ致シマスコトハ、何モ妨ダノナイ事ト考ヘテ居リマス

キナ問題ニ付テハ是ガ完了ヲ見ル事ざ  
出來ナイト致シマシテモ、差當リ此不  
景氣ニ一番必要ナ、擔稅力ニ相應スル  
所ノ課稅ノ原則ヲ茲ニ確立スルト云フ  
意味デ、稅制改正ダケハ來年度ニ於テ  
改正シテ、七年度カラ御實行ニナル

御實行ニナルト云フコトニナルト、今  
回ノ減税案ノ七年度以後ノモノハ又手  
ヲ加ヘル必要ガ生ジルノデナカラウ  
カ、若シ軍縮ニ依ル減税案ヲヤラウト  
スルナラバ、六年度限リニシテ置クカ、  
或ハ今後昭和七年度カラ稅制ノ根本整

和六年度カラ十一年度マデ減稅シタモノニ對シテ、七年度以降ニ當然手ヲ觸レルト云フコトニナルノデアリマス  
○井上國務大臣 觸レルヨトモアリマセウ、觸レナイコトモアリマセウ、例ヘバ地租ノ千八十萬圓ガ減稅ニナツテ居

第五類第一號 地租法案(政府提出)外六件委員會議錄

第十七回 昭和六年二月二十三日

ルガ、其地租法ヲ又再ビ改正スルカモ知レマセヌガ、大體ヲ言ヒマシタラ手觸レナイコトニナリマセウ、サウスト、ニ重ノ手數ニナル、ソレトモ軍縮剩レバ減税ハ其儘確定シタ通リ残ツテ行クノデアリマスカラ、何等減税ト税制ノ整理ヲ一緒ニスル必要ハ吾々ハ毛頭ナイト考ヘテ居リマス

○木暮委員 昭和六年度カラ十一年度マデ減税スルト云フコトニナレバ、茲ニ税ガ一ツキマツタモノガ出來テ來ル、民ニ對スル口約束ノ關係上カラ、此處デ減税案ヲ御作リニナツテ居ルガ、ソレガ當然昭和七年度以降ニ於テ弄ラナケレバナラナイモノナラバ、今ソレヲ此處デオヤリニナラナクテモ、昭和六年度ダケノ減税案ヲ見レバ、軍縮剩餘金ガ果シテアルカドウカ分ラナイモノデアル、ソレヲ國民ニ對スル口約束ノ關係上カラ、此處

○井上國務大臣 御意見ノヤウデアリマスガ、私等ハ今申上ゲル減税案デ定メテ減税ガ出來テ確定シタモノトシテ、其出來上ツタ日本ノ税制ヲ整理シヨダケノ減税ヲオヤリニナツテ置イテ、サウシテ色々々ノ調査ガ出來テ——負擔ノ均衡ヲ得ル爲ニ、或ハ經濟政策、社會政策ヲ加味スルカ、或ハ租税公正ノ原則ヲ加味スル等色々々ノ事ヲ研究シテ、後ノ昭和七年度以降ノ税制ノ根本整理ノ時ニ、ソレヲ按配シテヤルト云フコトガ一番分リガ宜イデハアリマセヌカ、昭和六年度カラ十一年度マデノ半年ニ於テ二千五百萬圓ノ減税ヲスルト云フ形ニナツテ居ルモノヲ、昭和七年度以降ニ於テ又弄ルト云フコトニナル易イ、國民トシテ見ルト昭和七年度以降ノ減税ト云フモノハ、財源關係ハ免餘金ガ必ズ茲ニ在ルト云フノデ、平年モ角トシテモ、財源關係ニ於テ減税ニ度二千五百萬圓ヲ減税スルト云フコトナラバ、ソレハ今後ニ於ケル税制整理ニ於テモ手ヲ著ケルコトガ出來ナイヤニシテ置ケバ意味ガアルノデアリマス、サウ云フ點ヲ御明瞭ニ爲サラズシテ、昭和六年度カラ十一年度マデノ減税ヲ出シテ置イテ、昭和七年度カラ減税ニナツタモノヲ又弄ルカモ知レヌト云フナラバ、昭和六年度ダケノ減税案ヲ御出シニナツテ置ク方ガ、簡明デモアリ、便利ダラウト思ヒマスガ如何デス

○井上國務大臣 同ジ御質問ニ對シテ同ジコトヲ御答スル外ナイト思フノデアリマス、今年減税シテモ、三年前減税シテ日本ニチャント存スル、其税法ヲ元ニシテ税制ノ整理ヲスルノハ何モ不都合ナイ

○木暮委員 私ハ餘り揚足ヲ取ルヤウシナ質問ヲスル必要ガナイノデスガ、御答辯ヲチヤント願ヘレバ宜イノデスカ

○木暮委員 ソレヲ弄ルノデスカ

○井上國務大臣 ラソレ弄ルカ弄ラヌカ分リマセヌ、弄ルカモ知レヌ、弄ラヌモ知カレヌ、ソレナラバソレデ少シモ差支ナイ、税ノ整理ト云フモノハ何レモサウ云フモノデアリマス、何年カ前ニモ増税サレタリシタ、

○木暮委員 ドウモ大藏大臣ハ故ラニスガ、昭和七年度以降ニ於ケル税制ノ根本整理ニ於テモ手ヲ著ケルノダト云フコトヲ既ニ御言明ニナツタ以上ハ、昭和七年度以降ノ減税ハ矛盾デハアリマセヌカ、昭和六年度ダケ減税ヲ爲シテ

○木暮委員 意見ノ達デハナイノデスガ、意見ノ達ト仰シャレバソレマデ、スガ、昭和七年度以降ニ於ケル税制ノ整理シテ昭和六年度以降ニ於テ軍縮ニ依ルフ意氣込デアルト御言明ニナツタ、ソコ云フノデス

○木暮委員 ドウモ大藏大臣ハ故ラニ強辯シテオキデニナルヤウデスガ、議論トシテハ私共ノ言フ方ガ正ジイト思

リマスカラ、是ハ此程度ニ止メテ置キ  
マスガ、政府ガ本年五萬圓計上シタ所  
ノ行政財政調査會ノ審議ニ則ツテ、昭和  
七年度ニ於テ思切ツタ稅制ノ整理ヲ行ツ  
テ、サウシテ社會政策的ノ意味ヲ加味  
シタリ、或ハ又經濟政策ノ意味ヲ加味  
シタ財政更生ノ原則ヲ打立テルコトニ  
依ツテ、此稅ヲ弄ルトニナリマスレバ、  
昭和七年度以降ノ軍縮ノ財源ニ依ル所  
ノ減稅ト云フモノハ、今カラ手ヲ觸レ  
ヌコトニシテ置クノデナケレバ、空文  
ニ等シイモノデアツテ、寧ロ政府ハ昭和  
六年度限リノ減稅ヲ行フモノデアルト  
云フコトノ方ガ分リ易イト云フコトヲ  
私ハ言明シテ此質問ハ打切ツテ置キマ  
ス

欺クモノノデハナイカト云フ議論デアッ  
タノデアリマス、私其當時説明ノ時ニ  
五億八百萬圓全部ガ餘剩金デハナイ、  
五億八百萬圓ノ留保サレタ所以ハ、艦  
艇製造費デアル、ソレヲ豫想シテ華盛  
頓會議ノ主力艦ノ代換建造ノ來ルコト  
モ、或ハ補助艦ノ狀態モ豫想シテ、吾々  
ハ藏ツテ置イタ金ガ五億八百萬圓デア  
リマス、ソレデアリマスカラ、軍縮會議  
ガアレ程出來テ來テ、主力艦ノ代換ヲ  
拵ヘルモノモ要ラナクナッタ、サウシテ  
補助艦ニ於テモ何萬噸カ減ルコトニ  
ナッタ、ソレデモ五億八百萬圓ト云フモ  
ノガ當然軍縮ノ結果ニ依ツテ最小限度  
——最小限度ト云フ言葉ハ悪イカモ知  
レナイガ、ソレニ依ツテ計畫ヲ立テタモ  
ノガ二億何ガシカアル、サウシテ殘ツタ  
モノガ二億四千萬圓バカリアル、即チ  
其二億四千萬圓ノ中カラ一億三千四百  
萬圓程減稅ニ持ツテ行ッタノデアリマ  
ス、即チ艦艇ノ製造ニ要スル金ヲ取ッタ  
其殘ガ餘剩金ト吾々ハ事務的ニハ考ヘ  
ルノデアリマス、斯ウ云フ説明ヲシタ  
ノデアリマス

圓ノ中ノ主ナルモノヲ減稅ニ振當テルノデアルト云フコトヲ承知シタノデアルマシテ、軍縮會議ニ依ツテ國防ニ缺陷ヲ生ズルデハナカラウカト云フ議論ガアルノデスガ、世間大多數ノ者ガ政府ノ意圖ニ對シテ共鳴シタ所以ハ此處ニ在ル、五億八百萬圓ト云フ留保財源ノ主ナルモノヲ主トシテ減稅ニ振當テルノダト云フヤウナコトヲ御宣傳ニナッタコトガ、天下ノ言論機關其他ノモノガ、減稅ニナルナラ政府ノ政策ヲ擁護シテヤツタラ宜カラウト云フ意氣込モ示シタ、政治的ノ原因デアルト私ハ思フ、殊ニ幣原首相代理ガ今期議會ノ初メノ施政方針ノ中デ斯ウ云フコトヲ言ツテ居ル、「政府ハ民力ノ涵養ヲ圖ルノ急務ナルコトヲ認メマシテ、海軍條約ノ成立ニ伴ヒ、豫テ軍艦建造ノ爲ニ留保セラレタル財源ノ内ヨリ……」五億八百萬圓デセウネ——「海軍條約ノ成立ニ伴ヒ、豫テ軍艦建造ノ爲ニ留保セラレタル財源ノ内ヨリ、昭和六年度以降昭和十一年度ニ至ルマデ、初年度九百餘萬圓、平年度約二千五百萬圓ノ減稅ヲ行フコトニ定メタノデアリマス」ト云フコトヲ總理大臣代理ガ施政方針ノ中デ演説シテ居ル、今ノアナタノヤウナ御話ニスルナラバ、總理大臣代理ハ斯ウ云フコトヲ言ハナケレバナラヌ、海軍條約ノ成立ニ伴ヒ、豫テ軍艦

ノル建造ノ爲ニ留保セラレタル財源ノ申カラ二億四千萬圓ヲ引イテ、其殘ノ中デ  
今度昭和六年度以降昭和十一年度マ  
デ、平年度ハ二千五百萬圓ノ減稅ヲシ  
タソニシテ、平年度ハ二千五百萬圓ノ減稅ヲシ  
タソニシテ、當然サウヤツタ事ニナルデハナイカ、又  
政府自ラガ五億八百萬圓ヲ以テ海軍ノ  
軍縮會議ノ結果出タ海軍ノ剩餘財源ダ  
ト云フコトヲ言明シタコトガアルデハ  
ナイカ、尙ホ世間デモ五億八百萬圓ト  
云フ巨額ノ金ガ出ル、ソレデ海軍ノ軍  
縮會議ノ結果五億八百萬圓ト云フ澤山  
ノ金ガ出テ、其中カラ主トシテ、今不景  
氣デ苦シニ居リ、負擔ノ輕減ヲ要求シ  
テ居ル國民ニ對シテ減稅ヲスルト云フ  
コトデ、主トシテト云フコトヲ特ニ言ツ  
テ居ル、是ハ去年ノ議會ニ於テ大口君  
ノ質問ニ對シテ、濱口總理大臣ガチャ  
ント主トシテト云フコトヲ言ツテ居ル、  
而モ政府自ラ五億八百萬圓ノ餘剩財源  
ガアルト云フコトヲ言ツテ居ル、サウシ  
テソレヲ主トシテ減稅ニ充テルノダト  
云フコトガ、今ノ時勢ノ急ニ應ズル所  
以デアラウトシテ、恐ラクハ樞密院モ  
五億八百萬圓ノ中カラ主トシテ減稅ガ  
出來ルナラ贊成シテヤラウト云フ氣ニ  
ナツタデアラウシ、國民モ亦軍縮ニ依ツ  
テ國防ニ幾分力缺陷ガ生ズルト云フヤ  
ウナ議論モアルガ、此五億八百萬圓ノ  
主ナルモノガ減稅ニ充テラレルナラ

云フ空氣モ一部ニ出タノデ、事務的ニ  
見テ五億八百萬圓ノ中カラ二億四千萬  
圓ヲ引イテ、其殘リノ二億ナニガシノ  
中ノ主ナルモノガ一億三千萬圓ダカラ、  
主トシテト言ツテモ差支ナイト云フヤ  
ウナコトハ、是ハ一國ノ大藏大臣トシ  
テノ御言明デナク、會計士トシテノ此  
言明ノヤウニ思フ

アリマセヌカ、サウスルト主トシテモ  
何モナイ、保留財源ノ中カラ軍事費ヲ  
引イテ残リガ當然減税ニナルノハ、是  
ハ當リ前ノ話デ、主トシテモ何モナイ、  
主トシテト云フ言葉ヲ使フ所以ノモノノ  
ハ、茲ニ保留財源ガ五億八百萬圓アッ  
テ、之ヲ海軍ノ方ニ幾ラ取ラレルカ、  
稅金ノ方ニ幾ラ取ラレルカト云フコト

其金モ主力艦ノ代換建造等ガ止タカラ  
ラ、ズト減ツテ居ルノデアリマス、ソレ  
デ内容充實トカ、航空隊ノ擴張トカ云  
フコトガ、即チ今度新ニ出テ來タ問題  
デアツテ、ソレデニ億四千七百萬圓ヲ引  
イタモノガ即チ保留財源カラ言ヒマス  
ト、餘剩財源デアリマス、ソレヲ減税ニ  
一億三千四百萬圓持ツテ來タト云フ事

○井上國務大臣　トウソ讀ンテ下サイ  
○木暮委員　アナタハ加藤君ガ濱口納理大臣ガ主トシテ減稅ニ充テルト云フ  
コトヲ言ツテ居ルノニ、二割何ガシカ減稅ガ出來ナイデナイカト質問シタ場合ニ、アナタハ斯ウ言ツテ居ル、當初カラ度々申上ゲタ如ク、留保財源ハ五億八百萬圓アル、併ナガラソレヲ補充計畫

〇井上國務大臣 只今ノ總理代理ノ演  
說ヲ御讀上ゲニナリマシテモ、少シモ  
私ノ言フ所ト矛盾シテ居リマセヌ、五  
億八百萬圓ヲ餘剩財源ト申スノデハナ  
イノデアリマス、五億八百萬圓ハ留保  
シテアル財源デアル、斯ウ申シテ居リ  
マス、即チソレヲ必要ナ軍備ニ使ッテ、  
サウシテ殘ツタモノヲ主トシテ減稅シ  
ヨウ、斯ウ云フコトデアリマシテ、私ガ  
今分析シテ申上ゲルト只今申上ゲタ通  
リニナルノデアリマス

ガ分ラナイ、ソコデ政府ノ強腰ニ依テ、海軍ノ方ニ取ラレル分量ヲ少クシテ、主トシテ民力涵養、國民負擔ノ輕減ノ爲ニ充テルト云フ意味デ、主トシテト云フ言葉ヲ御使ニナツタコト、思フ、ソレヲ今ニナツテ二億四千萬圓ヲ引イタ残リノ二億何千萬圓ノ中ノ一億三千四百萬圓ダカラ、是ハ半分ヨリ一寸頭ガ出テ居ルデアラウガ、主トシテト云フ言葉デアルト云フノハ、ソレハ餘リニ三百ノヤウナ言葉デナカラウカト思フガ、此點ヲハッキリ仰シャツテ戴キタ

○木暮委員 ドゥモ説明が能ク分リマス  
セヌガ、サウ云フ宣傳ヲ政府ハ爲スツテ居ッタノデハナイ、又世間デモサウ云フ風ニ解釋ヲシテ、軍縮會議ノ成果ヲ或ル程度マデ寛容ニ受入レテ居ッタノデナイ、アナタモ加藤鐸五郎君ノ本會議ニ於ケル質問デ、主トシテト云フコトヲ總理大臣ハ言ツテ居ラレルガ、減税ニ割當テタモノハ五億八百萬圓ノ内僅ニ二割六分四厘デ、サウシテ海軍補充計画ニ三億七千四百萬圓、驚ク勿レ七割

ニ幾ラ使フカ、減稅ニ幾ラ使フカハ  
言出來マセヌト云フコトヲ度々申シテ  
居リマス」此處デ民政黨ノ人ガ拍手シ  
タ、ドウ云フ譯デ拍手シタカ分ラヌ、  
「ソレガ補充計畫ガ定マリ、減稅ガ定  
テ、茲ニ一億三千四百萬圓ノ減稅ヲ實  
行シタノデアリマス」斯ウ言ッテ居ル、卽  
チ五億八百萬圓ノ留保財源ノ中デ補充  
計畫ニ幾ラ使フカ、軍事費ニ幾ラ使フカ  
ト云フコトヲ度々申シテ  
ハ分ラナカッタ、ソレヲ今度ハキメテ  
減稅ニ一億二千四百萬圓使ツタノダト

○木暮委員 是ハマルデ揚足取ノ三百  
ノヤウナ御議論ニナリマスガ、政府ガ海  
軍餘剩財源ダト云フコトハ、色々ノ機  
關ヲ通ジテ宣傳ヲシテ居ル、殊ニアナ  
タノヤウニ五億八百萬圓カラ二億四千  
萬圓ヲ引イテ、殘リノ金ノ中カラ主ト  
シテ減稅ヲスルノダ、ソレデ宜イヂヤ  
ナイカト云フヤウナ御議論デアレバ、  
三億七千四百萬圓ハ是即チ軍事費デハ

○井上國務大臣 申上グルコトハ同ジ  
事ニ歸スルノデアリマスガ、五億八百  
萬圓ト云フ留保財源ト、今度航空隊ノ  
擴張、内容ノ充實ト云フコトヲ致シマ  
シタコトハ關係ナイノデアリマス、五  
億八百萬圓ト云フモノハ艦艇製造費、  
斯ウ云フコトノ爲ニ留保シテアルノデ  
アリマス、隨テ二億四千七百萬圓ト云  
フモノガ艦艇ノ製造費ニ向ケラレタ、

三分六厘ノ多キニ上ツテ居ルノデナイ  
カト云フ所ノ議論ニ對シテ、何ト御  
答辯ニナツテ居ルカト云フト、本會議ニ  
於テハ、アナタハ五億八百萬圓カラ二  
億四千萬圓ノ艦艇建造費ヲ引イタモノ  
ノ殘リハ餘剩金ノ中カラ、主トシテ減  
稅スルト云フヤウナコトヲ少シモ仰シ  
ヤツテ居ナイ、アナタハ何ト仰シヤツテ  
居リマスカ、速記録ニ書イテアリマス  
カラ御讀上ゲ致シテモ宜シイ

云フコトヲ御言明ニナツテ居ル、サウスレバ濱口サン、或ハ其他ノ人ガ言ツテ居リマシタ所ノ、軍縮ノ餘剩財源ハ主トシテ之ヲ減税ニ向ケルト云フ、其主シテガ係ツテ居ル所ノ財源ト云フモノハ五億八百萬圓、之ヲ軍事費ニ幾ラケルカ、或ハ減税ニ幾ラ向ケルカト云フコトハ分ラナカッタ、ソコデ主トシテト云フ言葉ガ生キテ來ルノデハアリマセヌカ、ソレヲ今ニナツテ五億八千萬圓

云フ空氣モ一部ニ出タノデ、事務的ニ見テ五億八百萬圓ノ中カラ二億四千萬圓ヲ引イテ、其殘リノ二億ナニガシノ中ノ主ナルモノガ一億三千萬圓ダカラ、主トシテト言ツテモ差支ナイト云フヤウナコトハ、是ハ一國ノ大藏大臣トシテノ御言明デナク、會計士トシテノ此言明ノヤウニ思フ

○井上國務大臣 只今ノ總理代理ノ演説ヲ御讀上ゲニナリマシテモ、少シモ私ノ言フ所ト矛盾シテ居リマセヌ、五億八百萬圓ヲ餘剩財源ト申スノデハナイノデアリマス、五億八百萬圓ハ留保シテアル財源デアル、斯ウ申シテ居リマス、即チソレヲ必要ナ軍備ニ使ツテ、サウシテ殘ツタモノヲ主トシテ減稅シヨウ、斯ウ云フコトデアリマシテ、私ガ今分析シテ申上ゲルト只今申上ゲタ通りニナルノデアリマス

○木暮委員 是ハマルデ揚足取ノ三百ノヤウナ御議論ニナリマスガ、政府ガ過去何箇月ノ間自ラ五億八百萬圓ガ海軍餘剩財源ダト云フコトハ、色々ノ機關ヲ通ジテ宣傳ヲシテ居ル、殊ニアナ万圓ヲ引イテ、殘リノ金ノ中カラ主トシテ減稅ヲスルノダ、ソレデ宜イデヤナイカト云フヤウナ御議論デアレバ、三億七千四百萬圓ハ是即チ軍事費デハ

○井上國務大臣 申上ゲルコトハ同ジ事ニ歸スルノデアリマスガ、五億八百萬圓ト云フ留保財源ト、今度航空隊ノ擴張、内容ノ充實ト云フコトヲ致シマシタコトハ關係ナイノデアリマス、五億八百萬圓ト云フモノハ艦艇製造費、斯ウ云フコトノ爲ニ留保シテアルノデアリマス、隨テ二億四千七百萬圓ト云フモノガ艦艇ノ製造費ニ向ケラレタ、

其金モ主力艦ノ代換建造等ガ止タカラ  
ラ、ズト減ツテ居ルノデアリマス、ソレ  
デ内容充實トカ、航空隊ノ擴張トカ云  
フコトガ、即チ今度新ニ出テ來タ問題  
イタモノガ即チ保留財源カラ言ヒマス  
ト、餘剩財源ニアリマス、ソレヲ減税ニ  
一億三千四百萬圓持ツテ來タト云フ事  
實デアリマス

○井上國務大臣　ドウソ讀ンテ下サイ  
○木暮委員　アナタハ加藤君ガ濱口總理大臣ガ主トシテ減稅ニ充テルト云フ  
コトヲ言ッテ居ルノニ、二割何ガシカ減稅ガ出來ナイデナイカト質問シタ場合ニ、アナタハ斯ウ言ッテ居ル、「當初カラ度々申上グタ如ク、留保財源ハ五億八百萬圓アル、併ナガラソレヲ補充計畫ニ幾ラ使フカ、減稅ニ幾ラ使フカハ明言出來マセヌト云フコトヲ度々申シテ居リマス」此處デ民政黨ノ人ガ拍手シタ、ドウ云フ譯テ拍手シタカ分ラヌ、「ソレガ補充計畫ガ定マリ、減稅ガ定マテ、茲ニ一億三千四百萬圓ノ減稅ヲ實行シタノデアリマス」斯ウ言ッテ居ル、即チ五億八百萬圓ノ留保財源ノ中デ補充計畫ニ幾ラ使フカ、軍事費ニ幾ラ使フカ、或ハ減稅ニ幾ラ使フカト云フコトヲ今度ハキメテハ分ラナカッタ、ソレヲ今度ハキメテ云フコトヲ御言明ニナツテ居ル、サウスレバ濱口サン、或ハ其他ノ人ガ言ッテ居リマシタ所ノ、軍縮ノ餘剩財源ハ主トシテシテ之ヲ減稅ニ向ケルト云フ、其主トシテケルカ、或ハ減稅ニ向ケルカト云フコトハ分ラナカッタ、ソコデ主トシテセヌカ、ソレヲ今ニナツテ五億八千萬圓

カラ二億四千萬圓ハ當然引イテ、其少意味ダト云フヤウナコトハ、是ハ政治家トシテハ餘リニ堅白異同ノ論ノヤウニ思フ、加藤君ニ對スル御答辯ハ、是ハ或ハ五億八百萬圓ノ留保財源ノ中デ、補充計畫ニ幾ラ使フカ、減稅ニ幾ラ使フカ分ラナカツタト仰シャッテ居ル、此處ハ五億八百萬圓ノ中ノ留保財源ノ中デ軍事費ニ幾ラ使フカ、減稅ニ幾ラ使フカ分ラナカツタカラ、濱口總理大臣ガ大口君ノ質問ニ對シテ、ソレハ主トシテ減稅ニ使フノダト云フコトヲ仰シャッタ、サウデハナイノデスカ、主トシテト云フ減稅ハ二割六分ナニガシデ、七割四分ナニガシマデハ軍事費ニ使ハレテシマツタノダカラ、主トシテト云フ言葉ハ是ハ嘘デアッタト思フ、吾々ハドウモ財政ノ都合、或ハ國防缺陷補充ノ都合上、ドウモ已ムヲ得ナカツタノデアルト云フナラバ、サウ云フ風ニ御答辯ニナッタ方ガ寧ロアナタハ正直デ、所謂濱口内閣ノ公明正大ナ主張ニ則ルコトニナラウト思フ、今ニナツテ五億八百萬圓カラ二億四百萬圓ヲ引イタ殘リノ中ノアトヲ主トシテト云フノデ、一億三千四百萬圓デ少シモ差支ナイト云フヤウナコトハ、少シ筋ガ違ッテ居ルヤウニ思フガ、是ハ正直ニハッキリ御答辯ヲ願ヒ

○井上國務大臣 正直ニハツキリ御答辯ヲ申上ゲマスガ、私ガ本會議デ申シマシタ如ク、五億八百萬圓ノ留保財源ガアル、併ナガラドレダケヲ艦艇製造費ニ使フカ、又艦艇製造以外ニ相當ニ内容ノ充實或ハ航空隊ノ擴張ニ使フト云フコトモ特別議會ノ時カラ度々豫想サレテ居ル事實デアリマス、ソレデアリマスカラ、ドレダケ使フカ分ラナイ、併シ留保財源ト云フモノハ元々艦艇製造費ニ當然振向ケナケレバナラヌ性質ノモノデアルノダ、ソレカラ内容充實ト申シマスカ、航空隊ノ増勢ト言フカ、ソレニ幾ラ使フト云フコトハ其時カラ定ツテ居ラヌ、定ツタ上デヤラウ、斯ウ云フコトヲ申上ゲタノデアリマシテ、何等少シモ不明ノ事ハナイ積リデゴザイマス

讓ツタナラバ、五億八百萬圓ノ中カラ二億四千萬圓ヲ艦艇建造費ニ使ツテ、サウシテ其他ノ航空隊ナドニモツ澤山使ツテ、五億八百萬圓ノ中五億萬圓ヲ軍事費ニ使ツタ、残リガ八百萬圓シカナイトテモ、濱口サンノ所謂主トシテ減稅ト云フ場合ニモ、五百萬圓位ノ減稅ヲシテモコトニ當ルノデスカ、ソンナ理窟ハナイ、軍事費ヂヤアリマセヌ、艦艇建造費ト云ヒ、或ハ航空隊費ト云ヒ、或ハ海軍整備費ト云ツタ所デ、ソレハ皆同ジ軍縮會議ニ依ル——海軍大臣ノ言葉ヲ以テスレバ、將來ニ於ケル所ノ作戰用兵上ニ不足ヲ生ジタト云フ、其不足ヲ補フ爲ノ補充計畫デ、軍事費ヂヤアリマセヌガ、三億七千四百萬圓ト云フ軍事費ヲ五億八百萬圓カラ引イテ残リガ減稅ニナル、是ハ當リ前ヂヤアリマセヌカ、アナタガ言ツタ主トシテト云フ言葉ハ五億八百萬圓ヲドノ位補充計畫ノ方ノ費用ニ使フカ、ドノ位軍事費ニ使フカ、ドノ位減稅ニ使フカト云フコトガ御定マリニナラナカツタ時ニ言ハレタ言葉デハアリマセヌカ、即チ濱口サンノ言ハレタ主トシテト云フ言葉テヤルト云フノガ主トシテデアルト私ハ考ヘル、サウデナイトスレバ是非常ニ國民ヲ僞ツタモノト謂ハナケ

○井上國務大臣 木暮サンノ言ハレル  
事ト私ノ考ヘテ居ル事トハ大分其處ニ  
違ガアリマス、軍縮會議ト云フモノハ  
艦艇ニ關スル軍縮會議デアリマス、今  
般ノ條約ヲ御覽ニナリマシテモ大部分  
所謂艦艇ニ關スル軍縮デアリマス、軍  
縮會議ノ主タル問題ハ航空隊ノコトニ  
ハ何モ觸レテ居ナイ、内容充實ニモ何  
モ觸レテ居ラヌノデアリマス、即チ軍  
縮會議ガ出テ來タ爲ニ此五億八百萬圓  
ガ幾ラ減ルカト云フコトヲ一つ此處デ  
考ヘマス、サウシテ航空隊ノ増勢内容充  
實ト云フモノト減稅ト見比ベテ兩者ノ  
分配ラシヨウ、斯ウ云フコトニ考ヘテ  
見マスト、サウアナタノ御説ノヤウニ  
考ヘルコトモ必要ガナイト吾々ハ考ヘ  
テ居リマス

○木暮委員 減稅ニ依ル留保財源ガ五  
億八百萬圓出來テ、今度ノ倫敦會議ノ結  
果トシテ、現内閣ハ總理大臣首メトシ  
テ、前議會ニ於テ國防上缺陷ハナイト  
云フコトヲ言ウテ居ツタケレドモ、今回  
ノ豫算總會其他ニ於テ、内田君其他ノ  
御質問ニ對シテ、海軍大臣ハ之ニ依ッテ  
ハ用兵作戰上缺陷ガアル、若干ノ缺陷  
ガアルト云フコトヲ仰シャツタ、ソコデ  
其不足ヲ補フ爲ニ、潛水艦ヲ減ラシタ  
カラ航空隊デ補ハナクチヤナラヌト云  
フコトデ——サウシテ軍縮會議ハ航空

隊ニモ、或ハ又海軍内部ノ整備計畫ニ  
モ關係ガナイト言ハレルガ、今度出テ  
居ル三億七千四百萬圓ト云フモノハ、  
軍縮ニ依ル國防缺陷ヲ補フモノヂヤア  
リマセヌカ、其意味デ以テ補充計畫ヲ  
茲ニ出サレテ居ルノデアルカラシテ、  
此五億八百萬圓ノ中ノ軍事費ガ約七割  
四分ト云フ多キニ達シテ居ツテ、減稅ノ  
方ガ僅ニ二割六分四厘ト云フヤウナ少  
イモノニナツテ居ルト云フノハ、吾々ハ前ノ  
議會ニ於テ總理大臣ガ大口君ニ言明シタ  
コトハ如何ニモ輕率デアル、態ト言ッタノナ  
ラバ國民ヲ斯ウモ甚シイモノデアルト言  
ハナケレバナラヌ、現ニ政府ハ色々ノ機  
關ヲ經テ宣傳スル場合ニハ、五億八百萬  
圓ト云フモノヲ政府自ラモ餘剩財源デア  
ルト言ッテ宣傳シテ居ラレル、五億八百萬  
圓ノ中ノ主トシテ之ヲ減稅ニ充テルノダ  
ト云フノデ、隨分海軍ノ軍縮會議ニ付  
テハ議論ガアルケレドモ、目ヲ瞑ツテ居  
タノヂヤナイカ、ソレヲ今事務的ニ考  
ヘテ建造費二億四千萬圓ヲ引イテ、航  
空隊ハ軍縮ニ關係ノナイ問題デアルト  
云フコトハ、是ハドウモアナタハ言掛  
リノ三百ノヤウナコトヲ言フガ、航空  
隊ヲ増ストカ、或ハ整備計畫ヲスルト  
云フヤウナコトモ、ヤハリ用兵作戦上  
若干ノ缺陷ガアルト云フコトヲ補フ意  
味デアル、サウシテ見レバ二億四千萬  
圓以上ノ航空隊、或ハ海軍整備ノ費用

ト云フモノヲ出シタノデアル、三億七千四百萬圓ト云フモノハ軍事費トシテ居リマス、是ハチットモ違ハナイ、補充計畫ノ中ノ軍事費トシテハアナタノ言隊ナドト隠サレテ居ルト云フヤウナ話モアル、或ハ内田君ノ爬羅剔抉サレマシタヤウニ、昭和九年度、十年度、十一年度ニマダ金モ相當要ル、千九百三十九年迄ニ建造シ得ベキ所ノ權利ニ於テモ手ヲ著ケナイモノガアルデアルカラ、マダ海軍ノ費用ガ隠サレテ居ルノデアル、サウ云フ軍事費ヲ入レテ五億圓ニナツタトスルナラバ、五億八百萬圓ノ中ノ五億圓ニサウ云フ缺陷補充ノ必要ガアツタトスレバ、アト殘リノ八百萬圓シカナイ、ソレガアナタニ言ハセレバ、軍縮餘剩財源ダト云フ、サウスレバ八百萬圓ノ中ヲ減稅ニ充テルト云フコトデアルナラバ、濱口サンノ言ハレル、軍縮餘剩金ハ之ヲ減稅ニ充テルトルト言ハレタノハソレデ宜イノデアリマスカ、ソレヂヤドウモ欺瞞的ノ言葉デアルト私ハ思フ

リマス、即チ殘ル二億六千百萬圓ト云  
モノガ餘剩金デアリマス、其餘剩金  
ヲ一方ハ航空隊増勢トカ、或ハ内容充  
實ニ振向ケテ、一方ハ減稅ニ振向ケタ、  
斯ウ云フ事實デアリマシテ、五億八百  
萬圓ト云フノハ、海軍ノ軍縮ニ依ル餘  
剩財源デモ何デモナイ、此中ニハ艦艇  
製造費ニ當然要ル金ガ含マレテ居ルノデ  
アリマス、ソレデアリマスカラ今數字  
デ申上ダマスレバ、五億八百萬圓ト云  
フ留保財源ガアル、ソレニ當然要ルベ  
キ金、即チ軍縮ニ依ツテ減ツタガ、當然要  
ルベキ二億四千七百萬圓ヲ引キマシタ  
ル二億六千百萬圓ガ、ソレガ即チ餘剩  
金デアリマス、其二億六千百萬圓ヲ減  
稅ニモ振向ケタシ海軍ノ航空隊、内容  
ノ充實ニモ使ツタ、斯ウ云フ次第デアリ  
マスカラ、サウ御承知下サッテ之ヲ御考  
へ下サレバ、吾々ガ決シテ國民ヲ欺瞞  
シタト云フヤウナコトニハ相成ラヌト  
思フ

ノ爲ニ留保セラレタル財源ノ内ヨリ二億四千七百萬圓ヲ引イタ残リノ餘剩財源カラ、昭和六年度以降昭和十一年度ニ至ルマデ平年度二千五百萬圓程度ノ減稅ヲ行フコトニ定メタノデアルト云フノナラバ、アナタノ言フ事ト同ジデアリマスガ、幣原サンノ言フ事ハアナタノ言フ事トハ違フデハアリマセヌカ、幣原サンハ五億八百萬圓デ、其内幾ラハ軍事費、幾ラハ減稅ト云フ意味デ言ツテ居ラレルヤウデアリマスガ、アナタノ言フ事トハ違フヤウニ思ヒマスガ  
○井上國務大臣 首相代理ノ演説ヲ能ク説明シテ居リマス、即チ艦艇製造費ノ爲ニ留保シテ居ル金ト云フモノハ五億八百萬圓、サウシテ艦艇製造費ハ軍縮會議ガアツテ豫定ヨリ其金額ガ減リマシテ、二億四千七百萬圓使フヤウニナツタ、斯ウ云フコトデアリマス、隨テ其殘ツタ金ヲ航空隊ノ増勢トカ、内容充實ニ依ル——言葉ノ上カラ言ヒマスレバソレマデ海軍補充計畫ニ入レルカ、或ハ首相代理ノ使ツタヤウニ海軍整備計畫ト云フ言葉ヲ使ヒマスカハ、是ハ言葉ノ用方デアリマスガ、首相代理ハ海軍整備ト云フ言葉ヲ使ツタノデアリマスガ、即チ整備充實ニ關スル艦艇製造費、ソレニ新ニ加ハッダ航空隊ノ増設、内容充實モ入レテ、一ツノ整備トスウ云フ言葉ヲ使ツテ居ル、併シ從來言ヒ

來ツタ言葉ハ頗ル一方カラ言ヘバ曖昧カモ知レマセヌ、海軍ノ補充計畫ト云フコトハ從來使用ノ言葉デ言フト、所謂艦艇製造ダケノコトヲ言ツテ居ル、海軍ノ補充計畫ト言フノハ、從來軍艦々艇製造、斯ウ云フコトニ限ラレテ居リマスガ、段々色々ナ言葉ガサウ云フ風ニ使ハレテ、今日ハ海軍補充計畫ト云フ言葉ハ少シ曖昧ニナツテ居ル、併シ首相代理ハ海軍ノ整備ト云フヤウナ字ヲ使ツテ居タト思ツテ居リトス

○木暮委員 ドウモ此問題ハ極メテ重大ナ問題デ、國民ニ對シテ現内閣ノ言ウタコトガ嘘デアルカドウカト云フ事ヲハッキリサセル必要ガアリマスカラ、是ハ井上大藏大臣ニ是レ以上御聽致シマシテモ、今ノ、會計士ノ言フヤウナ、二億四千萬圓引ク話バ、カリシカゴザイマセヌヤウデスカラ、幣原首相代理ノ出席ヲ俟ツテ此問題ニ付テ、濱口サント同ジ責任ヲ執ラレルト云フコトヲ御言明ニナツテ居ル首相代理ニ對シテ、十分私ハ聽クコトニ致シテ留保致シテ置キマス

モウ一ツ、是ハ一昨々日デアリマシタカ、松谷君ノ質問ニ對シテ井上大藏大臣ハ、松谷君ガ公債デモ募集シテ一方デ減税ヲヤツタラドウカト言ツタニ對シテ、公債ヲ募集シテ一方ニ減税ヲヤルナント云フコトハ、吾々ハ考ヘテ居

マヌト云フコトヲ仰セラレタノデアリ  
閣ガ成立致シマシテカラ——其原因ニ  
付テハ吾々ノ同僚カラ十分ニ論難究明  
致シテ居リマスカラ私ハ其原因ハ申シ  
ニスルト言ハレタ所ノ現内閣ニナッテ  
カラ、未ダ曾ツテ見ザルヤウノ日本ニ財  
政基礎ハ搖イデ來タ、歲入ハ段々々々  
減ツテ來タ、節約ト申シマスガ節約デハ  
ナク、歲入ガ減ツタ爲ニ仕方ガナク辻棲  
ヲ合セルヤウニナッテ來タ、ソレデモノ  
リ切レナクナッテ到頭失業公債ヲ募集  
シテヤル、大藏省證券ナント云フモノ  
ハ時々是ハキマリヲ付ケルモノヲ、何  
時デモ借ッ放シニナッテ居ルト云フヤウ  
ナ譯デ、此借金政策ニ付テハ此内閣ハ  
味噌ヲ著ケテ居ル、失業公債ヤ大藏省  
證券ナドニ付テハ味噌ヲ著ケテ居ル、  
又多年國民ニ對シテ約束シテ居ツタ所  
ノ六百何十萬圓ト云フ獨逸賠償金ノ減  
債基金繰入モ、聲ノミ徒ニ大ニシテ實  
行僅カ數箇月ニシテ之ヲ廢メテシマッ  
タト云フヤウナ風ニ致シテ居リマス、  
和六年度ニ於テハ、僅ニ九百萬圓位  
一方ニサウ云フ風ニ金ヲ借リテ居ル、  
借金ヲシテ居ル、サウシテ一方デハ昭  
和九百萬圓シカ減稅シテ居ナイ、殊  
ニ一般國民ノ必需品デアル所ノ砂糖ナ  
ドハ二十一萬七千圓ト云フヤウナ僅カ  
ナ減稅シカ昭和六年度ニシテ居ナイ、  
アナタハ、借金ヲシテ減稅ヲスルナン  
ト云フヤウナコトハ、ドウモ善イ事デ  
ニアリマセヌト此間松谷君ニ答ヘラレ  
タ、又濱口雄幸氏ハ在野時代、常ニ名義  
ノ如何ヲ問ハズ、理由ノ如何ヲ問ハズ、  
一方ニ借金ヲシテ一方ニ減稅スルト云  
ルト云フコトヲ言ハレテ居ルガ、是等  
ニ對シテ大藏大臣トシテドウ云フ考ヲ  
持ツテ居ルカ、借金ヲシテ一方ニ僅カ  
九百萬圓シカ減稅ヲシナイ、此財政計  
畫ヲ國民負擔ノ上カラ考ヘテ見テ如何  
ニ御考ヘニナルカ、殊ニ此間松谷君ニ  
對スル御答辯ニ、借金ヲシテ稅金ヲ減  
ト云フ意見デアルガ、私ハサウ考ヘラ  
レナイト仰セラレテ居ルガ、アナタノ  
言フコトト行ツテ居ルコトハマルデ違ツ  
テ居ルト思フ、殊ニ民政黨總裁デアル  
濱口氏ガ在野黨ノ時カラ言ウテ居ルコ  
トハ、一方ニ借金シテ、國民ノ將來ノ負  
擔ヲ増シテマデ、現在ノ負擔ヲ減ラス  
爲ニ稅金ヲ減免スルト云フヤウナコト  
ハ、理由ノ如何ヲ問ハズ、洵ニ財政計畫  
上無意味ノコトデアル、惡事デアルト

云フコトヲ言ハレテ居ルコトニ鑑ミテ  
ドウ云フ御考ヲ財政當局者トシテ御持  
ニナツテ居ルカ、之ヲハッキリト御答ヲ  
願ヒタイ

○井上國務大臣 申上グルマデモナク  
減税ハ海軍ノ留保財源ガアツテ、軍縮會議ノ結果ソレノ餘剩財源ガ出テ來タカラ、ソレヲ減税ニ向ケル、斯ウ云フ事ハ吾々ハ其事柄ヲ忠實ニ實行シテ居ルノデアリマス、昭和六年度ノ九百萬圓ガ少イト言ハレ、バ、是ハ留保財源ノ年度割ガ少イ爲デ、如何トモスルコトガ出來ナイコトニアリマス、ソレナラバ一方金ヲ借りテ居ルデハナイカ、斯ウ云フ事ハ度々繰返シテ申シマス如ク、  
私共今日失業者ニ對スル對策ヲ執ルハ、是ハ特別な場合トシテ、此場合失業公債ヲ發行シテ是ガ對策ヲ講ゼザルヲ得ナイノデアリマス、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、松谷君ノ質問ハ斯様ナル場合ニハウント減税シタラ宜イデハナイカ、財源ガ無イト言ッタラ、ソレナラバ金ヲ借りテ減税シロト言フカラ、ソレハ吾々ノ財源計畫ノ根本ニ左様ナ考ヲ持テ居リマセヌト申シタノデアリ  
マス

○木暮委員 今ノ大藏大臣ノ御答辯ニ依ルト軍縮ノ金ガアツカラ減税シタ、借金ト關係ガナイスウ云フノデスネ丨サウ致シマスト濱口總理大臣ハ一方

デ借金ヲシテ、サウシテ將來ノ國民ニ負擔ヲ増シテ置キナガラ、減稅スルト云フ、現在ノ國民ノ負擔ヲ減ラスト云フコトハ意味ヲナサヌト云フ、此議論ヲ以テ進ンデ、又松谷君ノ御質問ニ對シテ言ハレタヤウニ借金ヲシテ減稅スルト云フヤウナコトカラ考ヘテ、此内閣ハ云フヤウナコトハ致シマセヌト獨逸賠償金ヲ減債基金ニ繰入レルコトヲ廢止シタリ、或ハ大藏證券ヲ借放シニシテ置イタリ、又失業公債ヲ出シテ借金シタリ、斯ウ云フ減債計畫、此借金ヲ爲ス計畫ニ對シテ、組閣以來ノ言明トマルデ違フタコトヲヤラザルヲ得ナイヤウニ、財政ノ基礎ヲ弱クシタ結果トシテ相成ツテ居ル、斯ウ云フ減債計畫ニ對シテ、國債整理ノ計畫ニ對シテ現内閣ガ聲明ト段々間違ツタヤウナ方向ニマデヤラザルヲ得ナイヤウナ現在ノ窮境ニ陥ツテ居ル以上ハ、是ハ何デスカ、將來ニ於テハ借金ヲヤタツリ、或ハ獨逸賠償金ノ繰入ト云フコトヲ今ノヤウニ廢止シテ居ル間ハ、軍縮剩餘金以外ノモノガナケレバ減稅ト云フコトハオヤリニナル考ハナイノデスカ、軍縮剩餘金ガ有ルカラ減稅ヲヤッタ、即チ借金ト關係ガナイ、此借金ハ今ノ内閣ガ續ク限リハ、誤ツタ政策ノ爲ニ歲入ガ段減ツテ來ル、借金ハ殖エルコトガアツテモ減ルヤウナコトハナイ、獨逸賠償

ト云フヤウナコトモ出來マイト思フ、  
サウ云フヤウニ現内閣初メノ聲明通リ  
ノ減債計畫、國債ヲ減ラス、整理シヨウ  
ト云フ計畫ニ齟齬ヲ來スヤウナ借金ヲ  
シテ居ル以上ハ、是ハ軍縮剩餘金ト云  
フヤウナ一時的ニ出ルモノガアルニ非  
ラズンバ、減稅ト云フコトハ此内閣ハ  
考ヘテ居ナイノデアリマスカ、一方借  
金ヲシテ減稅ヲスルト云フコトハ無意  
味ノ事デアルト云フコトデアルナラ  
バ、借金ガ段々殖エル形勢ヲ馴致シテ  
居ル現内閣ハ、將來軍縮以外ノ減稅ト  
云フコトヲヤル考ハナイノデアリマス  
カ

コトハ信ジテ居リマス、唯如何ニモ歳入ガ激税致シマスカラ、左様ナ事が出来ナカツタノデアリマス、斯ウ常ニ申シテ居ルノデアリマス、ソレナラバ失業公債ノ如キ二千二百萬圓ノ金ヲ借リテ居ル間ハ御前ハ今後減税ハセヌカ、斯ウ言ハレルナラバ、ソレハ將來ノ見越ヲ立テマシテ、假ニ一方ニ三千萬圓トカ、或ハ千萬圓トカ、或ハ五千萬圓トカ減税ノ出來ル計畫ガ立チマシタナラバ、別デアリマス、此失業ニ對スル對策ト云フモノハ一時的デアルガ、將來ニ長クアナタノ豫想サレル如ク續クモノデアルト云フコトヲ考ヘマシタナラバ、未來永劫何千萬圓カノ金ヲ借リナケレバナラヌ、ソレデ一方ニハ減税ヲスルト云フヤウナ計畫ハ私ハ避ケナケレバナラスト考ヘテ居リマス

又世界ノ事情ヲ御覽下サイマシテモ、失業公債ガ殖エタリ減ッタリスルト云フコトハ當然ナ儀デアリマス、殖エルトカ減ルト云フコトハ將來ノ見越ヲ付ケテノ議論デアリマスカラ、アナタノ如ク此失業ノ状態ガ永久ニ續キ、何千萬圓ノ失業救濟ノ爲ノ公債ヲ永久ニ募ラナケレバナラヌト假定シテ、茲ニ一般會計ヲ節約シテ減税スルカセヌカト云フ問題ニナリマスト、ソレハ其時ノ場合、失業者ニ對スル状態ヲ見極メテカラデ少シモ遲クナイト考ヘテ居リマス

討議ニ或ハ質問ニ付テ沒頭ヲ致シテ居リマシテ、是等ノ言論ヲ十分検討ヲ致シテ居ル暇ガナインデアリマス、此場合ニ政府委員ヨリ、今日マデ如何ナル點ガ論議サレテ居ルカト云フコトニ付テ「サンマライズ」シテ戴イタナラバ、大變吾々ノ審議上便益ガ多カラウト思ヒマスカラ、海軍軍縮會議ニ於ケル財源ニ對シテ種々問題ガアツタ、之ニ付テ海軍ノ補充計畫ニ於テ不足ガアルデハナイカト云フ論議ガ繰返サレテ居ルノ切ヲ、此場合政府委員ノ方カラ、斯ウ云デアリマスガ、是等ニ對スル論議ノ一ヶ點ガ問題ニナッテ居ル、斯ウ云フ點ガ問題ニナッテ居ルト云フコトヲ伺フコトガ出來マスレバ、大變仕合セデアリマス、之ヲ一ツ御願致シマス。

○青木政府委員 只今ノ御質問ニ御答

ヲ致シマスガ、實ハ私ハ此減稅案ノ立案ノ方ノ事務ニ携ツテ居リマス事務官デアリマシテ、海軍ノ方ノ補充計畫、或ハ一般ノ財源ト云フヤウナコトハ、私ノ擔當致シテ居リマセヌ事務デゴザイマスカラ、私カラハ御答ヲ致スコトヲ差控ヘル方ガ宜シトイ思ヒマスカラ、他ノ政府委員ヲ呼ビマシテ適當ナ御答ヲスルヤウニ致シタイト思ヒマス。

○鏑木委員 私ハ此際山林原野ニ賦課シテアリマス、段別割ノ改正ニ付キマシテ御質問致シタイト思フノデアリマス。

或ハ不合理デアルト云フヤウナ御質問  
デアリマシタガ、段別割ハ御承知ノヤ  
ウニ府縣ト致シマシテハ雜種稅ノ一ツ  
トシテ課ケテ居リマス、而シテ主トシ  
テ府縣ニ於キマシテハ無租地ニ對シテ  
課稅シテ居ルヤウナ狀態ニナツテ居リ  
マス、ソレカラモウ一ツハ市町村ニ於  
キマシテ課稅シテ居リマス、ソレカラ  
水利組合及ビ水害豫防組合ニ於テ段別  
割ヲ課稅シテ居リマシテ、其規定カラ  
申シマスト云フト府縣ノ方デハ五十七  
萬圓バカリデアリマシテ、町村ノ方デ  
ハ六百萬圓、水利組合及ビ水害豫防組  
合ニ於キマシテ約一千萬圓課稅シテ居  
ル、此數字ノ示シマスヤウニ、大體ニ於  
キマシテ町村ハ水利組合若クハ水害豫  
防ノ組合ノ課稅ニナツテ居ルノデアリ  
マス、何故斯ウ云フヤウナ町村水利組  
合若クハ水害豫防組合ノ方ニ多イカト  
申シマスト、段別割ハ現在ノ所ニ於キ  
マシテハ、先程從來ノ沿革ノ御話モア  
リマシタガ、大體ニ於テ斯ウ云フ三ツ  
ノ種類ニ此稅ガ課ケラレテ居ルヤウデ  
アリマス

ニ付キマシテハ外ノ有租地ト同ジヤウニ取ツテモ宜イヂヤナイカ、斯ウ云フ必  
要カラ無租地ニ對シテ一ツノ場合トシテ課稅ヌシテ居ル、大體斯ウ云フヤウ  
ナ場合ニ於キマシテハ、有租地ノ市町村ノ附加稅ト同ジヤウナ程度ニ於テ課  
稅シテ居ルノデアリマス

モウ一ツノ場合ハ町村若クハ水利組合ナドニ於キマシテ水利灌溉ノヤウナ  
事業ヲ營ム場合ニ於キマシテ、其事業ノ受益ニ應ジテ關係ノ土地ニ負擔ヲサ  
セヨウ、斯ウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ段別割ヲ徵收スル場合ガ多イノデ  
アリマス

ソレカラモウ一ツノ場合ト致シマシテハ、從來地價ノ設定ニ非常ナ開キガ  
アリマシテ、尤モ土地ノ變遷ニ依リマシテ、土地ノ負擔能力ガ地價ヲ標準ト  
シタ地租ニ依ツテノミ課稅シテハ均衡ヲ失スルト云フヤウナ虞ノアル場合  
ニ、市町村トシテ段別割ヲ之ニ課シテ徵收シマシテ、サウシテ擔稅能力ニ適  
應シタ課稅ヲシテ居ルヤウナ場合ガアツタノデアリマス

御承知ノヤウニ段別割ハ府縣ニ付キマシテモ、市町村水利組合ニ付キマシ  
テモ、所謂特別稅トシマシテ、特別ノ必要アル場  
合ト云フノハドウ云フ場合カト言ヒマ

スト、今申上ゲタヤウナ場合ニハ、是ハ段別割ニ依ルノガ負擔ノ公正ヲ期スル上カラモ適當デアルト云フノデ、今マデ内藏兩大臣若クハ府縣知事ニ於テ之ヲ許可シテ居ツタヤウナ譯デアリマス、サウ云フヤウナ状態デアリマスカラ、此土地一段歩平均一圓以上、府縣若クハ市町村ニ於テ課ケルノハ非常ニ重イト云フ御議論モ決シテ無理デハナイト思ヒマスルガ、例ヘバ水利灌溉ノヤウナコトニ付キマシテ關係ノ土地ニ負擔ヲナセセル場合ニ於キマシテハ、ソレニ依ツテ非常ニ利益ヲ受ケル——利益ヲ受ケルモノデアリマスカラ、其利益ヲ受ケル範圍内デアレバ、サウ云フ關係ノ土地ニ負擔ヲセシメテ、水利若クハ灌溉ノ事業ヲヤル方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ必要カラ、今マデ或ハ一圓、或ハ一圓ヲ超ユルヤウナ場合モ場合ニ依ツテハナイデハナイノデアリマスガ、サウ云フヤウニ取扱ヲシテ居ルノデアリマス、色々ノ地目ニ段別割ヲ課ケル場合ガアリマスガ、其場合ニ於キマシテハ各地目ノ——町村デアリマスレバ即チ町村内ノ標準的ノ土地ヲ取出シマシテ、ソレノ土地ノ收益ヲ調ベマシテ、其收益ニ應ジタヤウニ段別割ノ課率ヲ定メマシテ、サウシテ負擔ノ公平ヲ失シナイヤウニ是マデ取扱ヲ致シテ居ルノデアリマス、一概ニ申シマスト

或ハ一圓ト云フヤウナコトハ高イヤウニモ考ヘラレマスケレドモ、サウ云フヤウナ特別ナ必要ガアリマシテ、其點カラ課スルノデアリマシテ、一圓ヲ認メルトシマスレバソレニ依ッテノ收益ハ一圓以上モ澤山アル場合デアル、斯ウ云フヤウナモノデアリマスカラ、必ズシモ一概ニ地方稅ノ制限ニ關スル法律ニ斯ウ云ウ制限ヲ設ケテ置キマシテモ、一圓ダカラソレハイケナイ、或ハ又他ノ地目ヨリモ割合ガ高イカライケナイト云フ譯ニモ參ラヌノヂヤナイカト思フノデアリマス、即チ利益ガ多イヤウナ時ニハソレニ應ジテ課稅ヲシ、サウシテ其必要トスル事業ヲヤッタ方ガ宜イ、斯ウ云フヤウナ場合モ隨分アルト思ヒマス、大體ニ於テ段別割ハサウ云フヤウナ場合ニ課稅スル場合ガ此數字モ示シテ居ル通リ多イノデゴジイマス、

云フ建前カラ課シテ居ルノデアリマス

同ヒタイノデアリマス

ル段別割ハ収益主義ヨリモ寧ロ純益課

シテ將來ニ於テ産業ノ基礎ヲ培養スル

ガ、而モ市町村ハ何等施設ヲ致シテ居ラヌト云フコトハ、少シ市町村ノ實情ヲ御調査下サルト分ルト思フノデアリマス、何等施設ヲシナイノニ稅ヲ取ルト云フコトハ頗ル不合理デアリ、不都合デアリマス、而モ今度ノ改正法ニ依リマスルト、負擔ノ公正ヲ圖リ、各地目ニ對シテ賃貸價格ニ一律一帶ニ三、八ヲ掛ケルコトニナツテ居ルノニ、地方稅

付キマシテハ只今申上ダタヤウナ狀態ヲ持ッテ居ル、尙ホ現在ニ於キマシテ

付キマシテ、此段別割ノ重イト云フノハ、此段別割ノ方面カラ承テ居ルノデアリマシテ、其實情ニ付キマシテモ相當研究シテ居

ルノデアリマス、主トシテ其山林ニ對ルノデアリマス、主トシテ其山林ニ對

マス、何等施設ヲシナイノニ稅ヲ取ルト云フコトハ頗ル不合理デアリ、不都合デアリマス、而モ今度ノ改正法ニ依リマスルト、負擔ノ公正ヲ圖リ、各地目ニ對シテ賃貸價格ニ一律一帶ニ三、八ヲ掛ケルコトニナツテ居ルノニ、地方稅

付キマシテハ只今申上ダタヤウナ狀態ヲ持ッテ居ル、尙ホ現在ニ於キマシテ付キマシテ、此段別割ノ重イト云フノハ、此段別割ノ方面カラ承テ居ルノデアリマシテ、其實情ニ付キマシテモ相當研究シテ居

ルノデアリマス、主トシテ其山林ニ對ルノデアリマス、主トシテ其山林ニ對

付キマシテ、此段別割ノ重イト云フノハ、此段別割ノ方面カラ承テ居ルノデアリマシテ、其實情ニ付キマシテモ相當研究シテ居

タル山林原野ノ段別割ニ付テハ尙ホ一圓ノ制限、或ハソレヲ越ス時モアルト云フ、サウ云フ多額ノ稅ヲ其儘ニシテ置イテ取ルト云フコトハ、今日ノ此不況ノ際ニ到底農村ニ於ケル山林業者ガ堪ヘ得ナイ、植林ヲスル人ニ對シテモ重イ課稅デアリマスカラ、將來ノ山林

シテ、其收益ニ應ジテ課稅ヲスルノデアルカラ、其根本ノ建前カラ言ヒマスト云フト、各地方ニ公平ナル課稅ヲスルコトニナツテ居リマスケレドモ、其土地調ガ如何ニモ場合ニ依リマシテハ適

當デナイ場合ガアルヤウデアル、サウシマスケレドモ、大藏大臣ニ希望致シテ置キマスガ、大藏大臣ノ御答辯ハ私ノ申上ダタ質問ノ趣意ヨリモ何カ一番終ニ言ウタ言葉ヤ何カ、御都合ノ好イ

方ノ言葉ヲ取ッテ御答辯ナサルヤウニシテ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、尙ホシテハ其方ガ大變御上手ノヤウニ聞エル事ガ大分アリマスノデ、御答辯トシテハ率直簡明ニヤラレタ方ガ議事ノ進行ラスル上ニ於テ非常ニ宜イノデアリマスカラ、其點ヲ希望致シテ置キマス、先程ノ續デアリマスガ、失業公債ハ

レドモ、此負擔ノ公平不公平ニ付テ如何ナル御考ヲ持テ居ラレマスカ、或ハ

シテ負擔ヲ輕クシテヤッタ、或ハ公平ナル課稅ニ改メタト云フ痕跡ヲ認メナ

火ヲ睹ルヨリモ明カデアリマス、單ニ業ハ萎靡シテ振ハヌコトニナルコトハ云フヤウナ事ヲ聞イテ居ルノデアリマシテ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、尙ホ

シテ、サウ云フ點ニ付キマシテハ、現在ニ於キマシテモ各地ノ狀況ヲ調査シテ居ルヤ要デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付キマシテハ尙ホ將來一層地域調ノ正確ニ行クヤウニ努力シタ イト思ッテ居リ

ヲ其研究項目ノ中ニ入レテ、之ニ付テ云フ御話デアリマスガ、其際ニデモ之ヲ多少ノ改正ヲスル意思ガアルカドウカ

○岡田政府委員 大體段別割ノコトニ付キマシテハ只今申上ダタヤウナ狀態ヲ持ッテ居ル、尙ホ現在ニ於キマシテ付キマシテ、此段別割ノ重イト云フヤウナコトヲ私共色々

税主義ノ方ガ適當デハナイカト云フ考ヲ持ッテ居ル、尙ホ現在ニ於キマシテ付キマシテ、此段別割ノ重イト云フノハ、此段別割ノ方面カラ承テ居ルノデアリマシテ、其實情ニ付キマシテモ相當研究シテ居

ルノデアリマス、主トシテ其山林ニ對ルノデアリマス、主トシテ其山林ニ對

ト云フヤウナコトハ、從來何レノ政府モヤッテ居ッタ事デ、ソレガ偶、失業者ノ救濟ニナル、唯失業者救濟専門デハナ

クシテ、將來ニ於ケル問題デアルカラ、ヤル傍ニ於テ、是ガ失業救濟ノ派生的

ナ効ヲスルモノデアルコトハ是ハ御認メ下サルダラウト思フ、サウシテ見レバ將來ニ於テモ、斯ウ云フヤウナ仕事

ノ爲ニ公債ガ募集サレルト云フコトハ、爭ナキ事實デアッテ、名前ガ失業公債ダカラ永久的ノモノデナイ、ソレダカラ今ノ減税トハ別ニ關係ガナイト云

フヤウナ、斯様ナコトノ考ガアリマシタナラバ、アナタ方ノ所謂一方ニ借金ヲシテ將來ノ國民負擔ヲ増加シナガ

ラ、現在ノ國民ノ負擔ヲ輕減スル爲ニ減税ヲヤルト云フヤウナ事ハ矛盾デアラ、名儀ノ如何ヲ問ハズ是ハ健全ナル

シテハ率直簡明ニヤラレタ方ガ議事ノ進行ラスル上ニ於テ非常ニ宜イノデアリマスカラ、其點ヲ希望致シテ置キマス、先程ノ續デアリマスガ、失業公債ハシテ一方デハ獨逸賠償金ノ減債基金繰入モ廢シテシマフ、或ハ又名前ハ失業公債ダガ、是ハ詰リ道路公債、或ハ其他ノ將來ニ於ケル國民經濟ノ基礎ヲ培養スル爲ニ必要ナル是ハ公債デアル、斯

ウ云フモノガ續イテ行クノニ、一方減税ヲスルト云フコトガ、アナタ方ノ從

業公債ト言ハレテ居リマスケレドモ、デアリマシタガ、現内閣ノ失業公債二千二百萬圓ト云フモノハ、現内閣ハ失業公債ト言ハレテ居リマスケレドモ、アナタ方ノ常ノ言明ニ對シマシテ、斯

ウ云フ風ナ豫算ヲ段々ト組ンデ、サウシテ一方デハ獨逸賠償金ノ減債基金繰入モ廢シテシマフ、或ハ又名前ハ失業公債ダガ、是ハ詰リ道路公債、或ハ其他ノ將來ニ於ケル國民經濟ノ基礎ヲ培養スル爲ニ必要ナル是ハ公債デアル、斯

來ノ御言責ニ對シマシテドウ御考ヘニ  
ナリマスカ、斯ウ言フノデス

○井上國務大臣 道路公債ハ產業上必  
要デアルカラ、是ハ續クモノデアル、斯

ウ云フ御前提デ、サウスレバ失業公債  
ハ長ク續ク、減税ト矛盾セヌカ、サウ云

フ御推定ヲ致シマシタナラバ私ハ矛盾  
スルト思ヒマス、併ナガラ今度ノ失業

公債ニ道路公債ニ選ビシタノハ、只今  
申スヤウナ意味デアリマセヌノデ、失

業者ノ數カラ割出シテ、一年限リノ仕  
事トシテ道路ヲヤルコトニ致シマシ

タ、所謂何ト申シマスカ、此道路ノ敷地  
買收トカ云フヤウナコトニ金ヲ最モ少

ク使ヒマシテ、勞力ノ一番餘計使ヘル、  
即チ一人デモ多ク失業者ヲ其方ニ向ケ

ヨウト云フ考カラ致シマシタノデ、何  
レ詳シク追加豫算ノ時ニ説明スル機會

ガ來ヤウト思ヒマスガ、先頃大口君カ  
ラモ質問ガアリマシタガ、一年限り、斯

ウ云フコトニ大體目的ヲ定メテヤッテ  
居ルノデアリマス、今木暮サンノ言ハ  
ル、ノトハ吾々ノ考ハ違ヒマス、結果

カラ見マシタナラバ道路ガ立派ニナレ  
バ産業ノ援助ニナル、斯ウ云フコトモ

アリマセウ、併シ一時の限リニ公債ヲ  
募ツテヤル道路公債ハ、今御推察ノトハ  
少シ違ヒマス、隨テ矛盾セヌト考ヘテ

居リマス

○木暮委員 サウスルト更ニ伺ヒマス

ガ、今ノ内閣ハ成立當初カラ我國ノ六  
ニ之ヲ用ヒル、即チ減債ニ用ヒスト云

十億公債ガ厖大ニ失シテ國民ノ負擔力  
ニ比シテ非常ニ過大デアル、所謂國債

整理ヲ行フト云フコトガ、今日ノ財政  
ノ根本的立直シノ上ノ急務中ノ緊急デ

アルト云フ建前ノ下ニ、所謂國債ノ銷  
却ト云ヒマスカ、之ヲ簡單ニ言ヘバ減

債、借金ヲ減ラスト云フコトニ主トシ  
テ力ヲ向ケラレタト見ラレルノデアリ

マスガ、今日デモ然ラバ今ノ御言明ニ  
依ツテ見ルト、減債ト減税トドッチニ重キ

ヲ置イテ居ルカト云フコトヲ伺ッテ見

タイ、例ヘバ茲ニ一つノ餘剩ノ財源ガ  
アル、其場合ニ減税ヲ果シテヤルベキ

モノデアルカ、減債ヲヤルベキモノデ  
アルカ、ドチラニ御使ヒニナルト云フ

御考ヲ以テ財政ノ方針ヲ御立テニナッ

テ居ルノデアルカ、之ヲ伺ッテ置キマ

ス

○井上國務大臣 非常ニムヅカシイ假

定デアリマシテ、此處ニ幾ラカ金ノ餘  
リガアル、斯ウ云ツタ場合ニソレヲ減債

ニ用ヒルカ減税ニスルカ、是ハ事情、金  
額等ニ依リマセウガ、現在ノ昭和六年

度ノ財政計畫カラ申シマシタナラバ、  
九百萬圓デモ餘剩財源ヲ以テ減税ニ充

テ、居ルノデアリマス、其結果ト申シ  
ガ、減税ヲ九百萬圓昭和六年度デシテ

マスカ、一般會計ニ於テ財源ノ急激ナ  
ル現象ノ爲ニ甚ダ無理ガ行クト思フカ

ラ、六百三十萬圓ノ賠償金ハ一般會計

ガ、今ノ内閣ハ成立當初カラ我國ノ六  
ニシタノデアリマス、即チ昭和五年度ニ  
實行致シマシタ以上ニ、六百三十萬圓

ヲ執ツテ居ルノデアリマス、是ハ總テ吾

吾ノ方針ノ停止、中止ニ非ズシテ、此特

思ヒマス

○木暮委員 私ガ伺ヒマシタノハ假定

スモ何デモナイ、現内閣ガ成立シテ以

テモ何デモナイ、現内閣ガ成立シテ以

別ノ場合、一時ノ處置ト考ヘテ實行シ

タ次第デアリマス

○木暮委員 ソレデ後ハ意見ノ相違ニ

來非常ニ努力シテ居ツタ所ノ減債方針

ヲ打切ツタヤウニ吾々ニハ見エル、即チ

獨逸賠償金ノ繰入ヲ廢止シテシマッタ

トカ、或ハ大藏證券ナドハ年度末ニ借

リ放シニナッテ居ルヤウナ狀態デアル

アルカ、ドチラニ御使ヒニナルト云フ

御考ヲ以テ財政ノ方針ヲ御立テニナッ

テ居ルノデアルカ、之ヲ伺ッテ置キマ

ス

○井上國務大臣 非常ニムヅカシイ假

定デアリマシテ、此處ニ幾ラカ金ノ餘  
リガアル、斯ウ云ツタ場合ニソレヲ減債

ニ用ヒルカ減税ニスルカ、是ハ事情、金  
額等ニ依リマセウガ、現在ノ昭和六年

度ノ財政計畫カラ申シマシタナラバ、  
九百萬圓デモ餘剩財源ヲ以テ減税ニ充

テ、居ルノデアリマス、其結果ト申シ  
ガ、減税ヲ九百萬圓昭和六年度デシテ

マスカ、一般會計ニ於テ財源ノ急激ナ  
ル現象ノ爲ニ甚ダ無理ガ行クト思フカ

ニ繰入レルト一旦キメテ昭和五年度ニ

實行致シマシタ以上ニ、六百三十萬圓

ヲ執ツテ居ルノデアリマス、是ハ總テ吾

吾ノ方針ノ停止、中止ニ非ズシテ、此特

唯民力涵養トカ生活ノ安定トカ云フヤ  
ウナ事ダケデ、幾分デモ生産費ヲ之ニ  
依ッテ低下シテ行ッテ、サウシテ段々產  
業政策上アナタ方ノ謂フ良イ方向ヘ向  
ハセヨウト云フ御意味ハ一寸モ含マセ  
ナカツタノデスカ、ソレヲ伺ヒタイ  
**○井上國務大臣** 効能ヲ申上グマシタ  
ラ、減稅ノ效能ハ幾ラデモアリマセウ  
ガ、一定金額ヲ留保財源ノ殘ッタモノデ  
ヤルノデアリマシテ、僅ニ昭和六年度  
ニ九百萬圓、其九百萬圓ヲ以テ十何億  
ト云フ豫算ニ對照シテ是ダケノ效能ガ  
アルト言ツテ私ハ吹聽スルダケノコト  
ヲ致シマセヌ  
**○木暮委員** 今回ノ九百萬圓ノ減稅  
ガ、ソレ程價値ガナイモノデアルト云  
フ大藏大臣ノ御言明デスカラ、其點ハ  
ソレデ諒承致シマシタガ、此處デ財政  
政策ノ根本トシテ御伺シタイ事ハ、現  
内閣ガ常ニ日本ノ物價ヲ下グテ、サウ  
シテ國際貿易ノ改善ヲ行ハナケレバナ  
ラヌ、斯ウ云フ世ノ所謂低物價政策ヲ  
御執リニナツテ居ル、減稅ハ金額ノ如何  
ヨリモ減稅シタト云フコトニ依ッテ、經  
濟界ニ對シテ生産費ノ切下ニ相當效果  
タ所ノ製品ノ値段ヲ、低物價政策ニ依  
ガアルト思フ、ソコデ減稅ト云フコト  
ヲ若シヤルナラバ、現内閣ガ市場ニ出  
味デ低物價政策ノ前提トシテ、一端ト

シテ、レウカ、カ置シラ、国シナ、低革ズ、ナリ。

ノ、寧ロ早ク減稅政策ヲ實行シナケ  
バナラヌ必要ガアツタノデ バナカラ  
カ、其御必要ヲ御考ヘニナツタカドウ  
減稅ニ依ツテ先ツ生產費切下ヲヤテ  
イテ、サウシテ低物價政策ノ一端ト  
ノ減稅政策ヲオヤリニナツテ置ケバ、  
氏モ物價ノ激落ニ依ツテ是程苦ミハ  
ノイ、生產費ノ方ガ減稅其他ニ依ツテ  
洛ヲ來スヤウナ政策ヲ御行ヒニナラ  
シテ、營々辛苦シテ從來ト同ジャウ  
否ナ寧ロ負擔力カラ云ヘバ從來ヨ  
セ困難ナ所ノ公租、公課ヲ拂ツテ造上  
タ品ガ市場へ出ルト、現内閣ノ所謂  
資節約ト云フ 低物價政策ニ依ツテ值  
ガ叩壊ハサレ、其爲ニ今日ノ國民ニ  
シテ、今減稅ノ御考ガアルナラバ、生  
資ノ切下ヲヤツテ、然ル後ニ低物價政  
策ヲオヤリニナル前提トシテ、一端  
タノデアリマス、度々申上ゲマス如  
其必要ガナカツタモノカ、之ヲ御伺  
シマス

ト由同時金ノマニナツリマス、テ減テ五デア上ダリマ○木達ハ

スコトヲ度々申シテ居リマスガ、  
ニ減債基金ニ於キマシテモ、剩餘  
四分ノ一ヲ減債スルト云フノガ是  
ノ建方デアリマス、剩餘金ノナク  
タ場合ハソレダケ減ツテ居ルノデア  
スガ、其根本ハ變ヘヌノデアリマ  
サウ云フ風ニ天然自然ノ法則ニ依ッ  
減債基金モ幾ラカ減ツテ居リマス、隨  
旨々ハ兩方共ニ必要ト考ヘテ居ルノ  
リマス、減稅ノ點ニ付テハ只今申  
ルヤウニ十分出來ナカッタノデア  
ス

謂國民  
弱メヲ  
ルダラ  
トシテ  
スル前  
トガ、  
番大押  
ラズ今  
民ニ對  
民ノ租  
減稅ヨ  
コトヨ  
御考。

ノレルト云フコトモ、御認メ下サ  
ノウト思フ、其租稅擔稅力ガ國民  
ノ弱メラレルト云フ金解禁ヲ斷行  
前ニ、租稅擔稅力ノ弱メラレル國  
到シテ減稅ヲ必要トスルト云フコ  
是ガ金解禁ノ準備トシテ私ハ一  
切ナ事ト思フ、此事ハ御考ヘニナ  
ノ御認ニナリ、其前ニ或ル程度ノ  
ノ行フト云フコトガ必要デアルト  
ベニナツタカドウカ、此點ヲ御聽致  
上國務大臣 減稅ヲ致シマスコト  
政ノ緊縮ニナリマス、歳入ヲ減セ  
レタケ歳出ヲ減ザルヲ得ヌノデ  
マス、金ヲ借リナイ、財源ヲ公債ニ  
シテ以上ハサウナルノデアリマス、  
シテ今日マデノ日本ノ財政ノ狀態ヲ  
ノ見テ、減稅ヲ最初ニ計畫致シマ  
セモ、同時ニ財政ノ緊縮ヲヤラネバ  
ヌ、財政ノ緊縮ヲ最初ニ試ミテ見  
レガ出來ルナラバ、其結果トシテ  
カ出來ベキ筈ノモノデアリマス、  
ニ非常ニ極端ナ不景氣ニ遭遇シテ  
カ急激ニ減リマスカラ、減稅ハ出  
道行ハ恐ラク木暮サント同ジヨ  
ラウト思ツテ居リマス

クナツテ、打撃ガ多クテ國民ノ租稅擔稅力ガ段々ト弱メラレル、其前ニ減稅ヲヤルベキ必要ガアッタノ。ヤナカラウカ、又殊ニ我國ノヤウニ、爲替ガ下ツテ居ツタ時ニ舊平價デ解禁スルト云フコトハ、是ハ前カラ人ガ言フ通りニ貨幣價値ノ騰貴ヲ來スモノデアリ、同時ニ國民ノ所得ノ激減ヲ來スモノデアル、金納制度ノ我國ニ於テハ、貨幣價値ノ騰貴ト云フコトハ同時ニ實質的ノ一種ノ増稅デハアリマセヌカ、サウ云フコトハ分リ切ツテ居ル、減債ヨリモ寧ロ前ニ減稅ヲヤルト云フコトガ、金解禁ノ準備行爲トシテハ一般國民ニ深切デアツタト思フ、財政ノ緊縮ヲシテサウシテ、借金ヲ減ラスヤウニスルコトガ結局減稅ニナルト仰シヤルケレドモ、減債ト云フモノハ申スマデモナク直チニハ公債所有者ノ利得ヲ圖リ、金融業者ノ利得ヲ圖リ、金融市場ニ好影響ヲ及ボスダケデ、產業一般トカ、一般六千萬ノ國民ノ經濟的利害カラ考ヘルト、所謂國債整理ニ依ツテ金利低下ト云フ一ソノ方ノミノ利益シカ減債ノ方ハ興ヘラレテ居ナイ、寧ロ減債ノミニ力ヲ盡スナラバ、内閣組織ノ時ニ此金解禁ヲ斷行シテ、サウシテ國民ノ負擔力ガ段減ツテ行ク、而モ爲替ガ下ツテ居ルモノヲ舊平價デ解禁スルノダカラ、貨幣

價値ガ高マツテ、金納制度ノ下ニ於テハ  
一種ノ實質的ノ増稅ヲ敢テ行フト云フ  
ヤウナ立場ニナルノデスカラ、減債ヨ  
リモ減稅コソ金解禁ノ準備行爲トシテ  
一番私ハ國民ニ深切ナル方策デアルト  
考ヘテ居ルノデアリマスガ、其必要ヲ  
認メナイデ、寧ロ減債ノ方ガ宜イ、減稅  
ハ減債ヲヤツテカラ後カラ初メテヤル  
ノデアルト云フヤウナ御考デアッタト  
スルナラバ、ソレハ減債ニ依ツテ利益ヲ  
受ケル、所謂國債整理ニ依ツテ利益ヲ受  
ケル金融市場トカ、或ハ國債所有者ハ  
非常ニ宜イカ知ラヌガ、國債整理ト云  
フコトハ一般國民、一般產業ニ取ツテ  
ハ、金利低下ノ形ニ於テ徐々ニ其利益  
恩惠ヲ考ヘルモノデアルカラ、減稅ノ  
方ガ減債ヨリモ私ハ金解禁ヲ此内閣ノ  
ヤウニ舊平價デ御斷行ニナル時ニハ必  
要デハナカツカト考ヘル、此點ニ付テ  
ハドウ云フ御考ヲ持ツテ居リマスカ  
○井上國務大臣 抽象的ノ議論ヨリ  
カ、昭和四年度ノ例ヲ一ツ採ツテ言ヘバ  
直ぐ分リマス、昭和四年度ノ一般會計  
ニ八九千萬圓ノ公債ガ計上致シテアリ  
マス、順序トシテ吾々ハ最初ニ緊縮ヲ  
シテ、此公債ヲヤメタ、今木暮サンノ言  
ハレルヤウニ之ヲ此儘置イテ置イテ、  
サウシテ減稅ラスルナラバ八九千萬圓  
ノ減稅ハ出來タ筈デアリマス、其處ハ

ガラ、一方ニ減稅ヲスルト云フコトハ矛盾シテ居ルノデアルカラ、最初カラ公債ヲ一遍減サウ、公債計上ヲ減サウ、斯ウ云フコトデ金解禁ノ準備トシテ財政ノ整理緊縮ヲシタノデアリマス、是ニアナタノ仰シャル通リデアリマス、若シ假ニ減稅ヲスルナラバ、八千萬圓モ歳出ノ節約ヲセズニ置イテ、其儘ニ財源ヲ置イテ減稅ヲスルコトハ當然デアリマスガ、公債ヲ一方ニ計上シナガラ、一方ニ減稅ヲスルト云フコトハ、吾吾ハ非常ニ矛盾スルカラヤラナカッタノデアリマス

小川サンナドノ能ク謂フ官房財政ノ舊式思想ナノデアル、本當ハ、現在ニ於テ緊縮豫算トカ、或ハ財政ノ緊縮トカ云フコトガ、肯定サレ許容サレルト云フコトハ、所謂不生產的ノ經費ヲ節減シテ之ヲ有用ニ延バスト云フ、積極的ニ之ヲ使フコトガ一ツ、或ハ又之ヲ以テ減債ニ充テ、將來ノ國民ノ負擔ヲ減スカ、或ハ直チニ減税ニ充テ、現在ノ國民ノ負擔ヲ減スカノ三ツノ使途ガアルト私ハ思フ、ソコデ私共ハモウ繰返シテ申スコトハ却テ思想ヲ昏迷サセルカラ申上ゲマセヌケレドモ、金解禁ニ依ツテ少クトモ國民ノ負擔力ガ弱メラレタトカ、或ハ物價ガ暴落シテ貨幣價值ガ騰貴シタトカ云フヤウナコトニ依ツテ、金納制度ノ下ニ於テハ一ツノ實質的ノ増稅ノヤウニナッテ居ルコトガ、今日ノ經濟的不況ノ重大ナル原因デアルカラ、ソレヲ金融資本家ノ喜ブヤウナ、公債所有者ノ喜ブヤウナ、公債整理、所謂借金濟シノ減債ト云フコトニ使フヨリモ、寧ロ端的ニ直截簡明ニ六千萬國民ノ負擔ヲ輕減シテ、ソレガ同時ニアナタ方ノ謂フ低物價政策ノ前提トナルヤウ云フ譯デアルカト云フコトヲ聽ク然タルモノデアッタラウト私ハ考へル、ソレヲ御使ヒニナラナカッタノハド

スルコトハ非常ニ理窟ニ合ハヌ、ヂヤナモ措イテ、或ハ獨逸賠償金ノ減債基金繰入ヲ廢メテ、サウシテ借金ヲシナガラ、一方將來ノ國民ノ負擔ニシナガラ、今ノ減稅ヲヤルト云フコトモ、是モオドチラガ本當デアルカ、ソレダカラ方針ヲ變ヘタト仰シヤレバソレデ宜イ、今マデハ減債専門ニ一生懸命ニヤッテ居タガ、ドウモ減債専門ト云フ譯ニ行カヌ、ソニデ國民トモ約束シテ、倫敦會議ヲ幾分デモ國民ノ間ニ贊成ヲ得サセル爲ニハ、減稅ガ出來ルヤウナコトヲ言ツテシマッタカラ、仕方ガナイ、借金シナガラモ減稅ヲヤルヤウナコトニ相成ツタト云フヤウナコトデアルカラ、ソレナラ初メカラ減債ヨリモ減稅ノ方ガ私ハ宜クハナイカ、金解禁ノ準備行爲トシテ、金解禁ト云フモノ、準備行爲トシテ、アナタガ金解禁ヲヤル時ニ、金融業者、殊ニ大資本家ノ銀行ニ對スル防壁ヲ築キサヘスレバ金解禁ノ準備ガ出来タト云フヤウニ御認ニナッテ居ルノガ世間ノ非難デアル、ソレデハナイ、金解禁ノ實際ノ損失ト云フモノハ、產業界一般ガソレヲ忍バナケレバナラナイモノデアルカラ、產業界一般ノ農村トカ或ハ中小工業者等ノ負擔力ヲ弱メラタリ、或ハ實質的ノ増稅ニナッテ居ル

貿易貨幣價值ノ實質ヲ減ラシ、金解禁ヲヤル時ニハ金融業者ノ持ツテ居ル公債ヲ高メルト云フヤウナ政策ヨリモ、寧ロ減税ガ必要デナカツタカ、減税ハ金解禁ノ準備行爲トシテ極メテ必要デナカツタカト云フコトヲ伺ヒタイ、必要デナカツタナラバ必要デナカタト云フコトヲ伺ヒタイ、或ハ必要デアルト思ッテ減債ヲヤツタガ、今ニナツテ見ルト借金ヲシナガラ減税ヲスルト云フヤウナ違ツタ事ヲヤツタノハ財政上已ムヲ得ナイ事デアルト言フナラバ、ソレデ仕方ガアリマセヌ、ソレヲハッキリ伺ヒタ

處置トシテ矛盾シテ居ナイ、斯ウ考ヘ  
テ居リマス  
○木暮委員 是レ以上申上ゲテモ御答  
辯ハ同ジヤウデアリマスカラ、是デ止  
メマシテ、今回ノ減税計畫ガ一方ニ於  
テハ公正ノ負擔ヲ得シメルヤウナ目的  
デオヤリニナツタト云フコトハ、是ハ大  
藏大臣ガ減税案ノ説明ノ場合ニ言ハレ  
タノデアリマス、大藏大臣ノ御説明ノ  
中ニ「ソレハ法律ヲ改正シ、國民負擔  
ヲ輕減シ、併セテ其公正ヲ期スルコトニシ  
トセリ」ト云フコトヲ仰セラレテ居ル、  
是ハ間違ナイ、公正ヲ期スルコトニシ  
テ今度ノ稅制整理ヲオヤリニナツタト  
云フコトハ、是ハ御間違ゴザイマセヌ  
カ  
○井上國務大臣 其通リデゴザイマ  
ス  
○木暮委員 ソレデハ御伺致シマス  
ガ、其場合ニ酒ノ稅金ノ從量稅ハ不公  
正デアルト云フコトヲ御考ヘニナツタ  
カドウカ、良イ酒デ一升四圓モ五圓モ  
スルヤウナ酒ト、一升八九十錢ノ酒ガ  
同ジヤウニ、今日ハ從量稅ニ於テ濱口  
首相ノ大藏大臣時代ニ於テ、一石三十九  
三圓ノモノガ一石七圓上ダラレテ、ソ  
レガ今日四十圓ニナツテ居ル、ソレデ酒  
稅ノ從量稅ト云フモノガ不公正デアル  
ト云フコトニ御氣ガ付イテ、之ニ對シ  
テ相當御研究ニナツテ居リマスカ、之ヲ

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、此度ノ減稅案ニ付キマシテハ、酒稅ノ減稅ト云フコトハ考ヘモセヌノデアリマスガ、今ノ酒稅ガ從量稅デアッテ從價稅デナイコトハ甚ダ良クナイト云フ御意見ノアルコトハ、豫テ承ツテ居リマスガ、其點ニ付テ別段調査研究ヲ重ネタヤウナコトハアリマセヌ

○木暮委員 今度ノ減稅ニ付テ酒稅其他ニ付テ御考ヘニナラナカッタ云フコトデアリマスガ、先刻今回ノ減稅ハ織物消費稅ノ四ツニ限ラレテ、其割振ト申シマスカ、何處ヲ目安ニシテ割振ヲシタカト云フコトヲ御尋シタガ明確ナ答辯ガナカッタ、同時ニ御伺シタイノハ、今回二千五百萬圓ノ平年度ニ於ケル減稅ヲ爲ス場合ニ、地租ト、營業収益稅ト、織物消費稅、砂糖消費稅、是ダケニ限ツテ、他ノモノハ今マデ御研究ナラナカッタノデスカ、他ノ清涼飲料稅トカ云フモノハ、少シモ考ヘナイデ、唯此四ツダケニ限ツタ理由ヲ承リタイ

○井上國務大臣 先刻申シタヤウニ、稅制デヤルト云フコトハ根本ノ趣意デナカッタ、稅制ノ全般ニ亘ツテ調査ヲスルノデナク、二千五百萬圓ノ減稅ヲシヨウ、何處へ持ツテ行クカト云フ所カラ出發シテ、先刻私ガ言フヤウニ、消費



下ダ憎カツタト云フ 事務的ノ關係モア  
リマス、只今木暮君ガ賠償價格ハ下ダ  
ナガラ煙草ノ値段ヲ下ダヌノハドウ云  
フ譯デアルト云フコトデアリマスガ、  
是ハ特別議會デモ御質問ガアリマシタ  
ガ、賠償價格ヲ下ダマシタノハズット  
上等品デアリマス、御承知ノ如ク一年  
間倉ノ中ニ寝カシテ置イテ使フノデア  
リマスガ、賠償價格ヲ下ダタノハ上等  
品デアル、然ルニ最近ノ煙草ノ賣行ハ  
上等品ノ使用ガ少クナツテ、中以下ノ種  
類ノ方ガ需要ガ多クナツテ來マシタノ  
デ、專賣局長官ガ來マシタナラバ御説  
明ガアリマセウガ、上等ノ葉煙草ハ全  
部今日倉ノ中ニハイツ居ルノデアリ  
マス、隨テ左様ニ煙草ノ値段ヲ下グル  
コトハシナカツタノデアリマス

○木暮委員 煙草ノ方ハ專賣局長ガ來  
テ御話ニナツテカラ進メルコトニ致シ  
マス  
次ニ大藏大臣ニ伺ヒマスガ、酒ニ付  
テハ減稅種目ノ中ニハイラナイカラ御  
研究ニナラナカツタガ、營業收益稅ハ千圓  
以上ト千圓以下ヲ區別シテ、比例稅  
ヲ御課ケニナルト云フ進歩シタ方法ヲ  
御採リニナツタ、ソコデ營業收益稅ニ付  
テハ今度ノ二千五百萬圓ノ減稅種目ニ  
ハイツテ居ルカラ十分御研究下サツタコ  
ト、思ヒマスノデ、斯ウ云フ點ニ付テ  
御考慮サレタカ伺ツテ見タイト思ヒマ  
ス、ソレハ營業收益稅ガ出來タ時ニモ  
幾多ノ論難攻撃ガアツタ點デアリマス  
ガ、法人ノ營業收益稅ハ個人ノソレニ  
比シテ非常ニ輕過ギル、個人ノ方ガ重  
イ、例ヘバ個人ニ於テハ子供ガ炭ヲ運  
ンダトカ、家内ガ手ヲ拭キナガラ帳面  
ヲ付ケタト云フヤウナ事ニ付テハ、サ  
シモ營業費ノ中カラ差引イテ吳レナイ  
ガ、法人ニ於テハ啖壺ノ掃除ヲスル者  
カラ給仕ノ僅ナ給料マデモ營業費ノ中  
カラ引イテ吳レルト云フヤウナコト  
デ、個人ノ營業收益稅ト法人ノソレト  
デハ、法人ノ營業收益稅ノ方ガ利ガア  
ル、其處ヘ持テ來テ法人ノ營業收益稅  
ノ場合ニ於テハ營業費トシテ總收益ノ  
中カラ控除サレルモノ、中ニ原價銷却  
費ト云フモノヲ認メテ居ル、大キナ建

物ヲ持ッテ居レバ、ソレニ付テ日本家屋ニラバ、之ヲ三十年ノ原價銷却トスルナラバ、一年ドノ位ト云フノデ、ソレハ營業費ノ一部トシテ控除サレル、然ルニ個人ノ場合ニ於テハ、大キナ工場ヤ家屋ト云フヤウナモノニ、多大ノ固定資本ヲ投ジテ營業シテ居ル場合ニ、此固定資產ニ對スル原價銷却費ハ、營業費ノ一部トシテ總收入ノ中カラ控除サレルコトヲ許サレテ居ナイヤウニ考ヘ、ルノデアリマス、是ハ個人ノ營業收益稅ガ非常ナル苛斂誅求ニナツテ、法人ノソレガ割合ニ樂デアルト云フ所以デアリル、法律デハ個人ノ收益稅ト法人ノソレトノ間ニ幾ラカノ差異ガ附ケテアリマスガ、此位デハ個人ノ方ガ重過ギル、論ヨリ證據段々不景氣ニナルト個人主義ノモノガ、其名義ヲ株式又ハ合資會社ニ變ヘル、是ハ、法人ニ與ヘル苦痛ハ個人ニ與ヘル苦痛ヨリ少イト云フコトヲガ、個人ガ變態的ニ法人組織ニ變ッテ行ク誘因ヲ爲シテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、營業收益稅ヲ二千五百萬圓ノ減稅種目ニ御採用ニナツタ理由トシテ、負擔ヲ公正ナラシムルコトヲ期スルト書イテアル以上、此點ニ付テモ御考ヘ下サツタト思ヒマス、考ヘタガ如何トモ致方ガナイカラ、從來ノ營業收益稅ノ儘デ置イタト云フノデアルカ、其點ニ付テ大藏大臣ノ御答辯ヲ願ヒタ

○井上國務大臣 今木暮サンノ御質問  
ハ現状ニ於テ斯様ナ所ガ悪イ、斯ウ云  
フコトデアリマスカラ、私ヨリハ先ヅ  
政府委員カラ其現状ニ付テ申上ゲテ、  
答辯ノ前提トシテ置キタイト思ヒマ  
ス

○木暮委員 大藏大臣ノ御方針ヲ一ツ

伺ヒタイト存ジマス

○井上國務大臣 只今申上グル如ク法

人ノ今度ノ減税割合ト個人ノ其割合ハ

個人ノ方ガ餘計ニナツテ居リマス、是デ

凡ソ釣合ガ取レ、從來ノ弊害ガ防ゲル

ダラウト考ヘテ居ル次第アリマス

○木暮委員 大キナ建物工場ヲ持ッタ

リ何カシテ、固定資産ニ多額ノ金ヲ投

資シテ居ル者ハ、大體ニ於テ營業収益

一千圓程度以上ノ者デスカラ、恐ラク

今ノ青木君ノ御聲明ノ中ノ一千圓以下

ヲ非常ニ減ラシタ云フコトハ、是ハ

法人營業収益稅ニ比較シテ、個人營業

収益稅ガ、固定資產ノ銷却ヲ營業費ノ

中デ控除シテ居ナイト云フ點ニ付テ、

個人ノ方ガ重過ギルト云フコトニ付テ

ノ御説明ニハナリスマイト思フ

ソコデ大藏大臣ニ御伺スルノデス

ガ、銀行トカ會社トカ云フ大キナ法人

ニ限ッテ、總收入カラ經費トシテ控除ス

ル場合ニ、其經費ノ中ニ固定資產ノ銷

却費ヲ含有サセルト云フコトハ、個人

ノ營業収益稅ノ基本ヲ算定スル場合

ニ、總收入カラ經費ヲ控除スル場合ニ

其經費ノ中ニハ個人ノ場合ニ限ッテハ、

固定資產ノ原價銷却費ヲ控除シナイ、

含有シナイト云フコトハ、私共カラ見

テ非常ニ不合理千萬ナヤリ方ダト思ヒ

テスガ、之ニ付テ大藏大臣ハ多年銀行

會社ニオキデニナツタカラ、所謂簿記學

ノ上カラ云フモノ、固定資產ニ對スル原

價銷却費ト云フモノハ、當然簿記其他

ノ貸借對照表ニ於テハ、是ハ營業費ノ

中ニ含マレテ總收益ノ中カラ控除サル

ベキ性質ノモノ、ヤウニ吾々ハ考ヘル

ガ、之ニ付テドウ云フ御考ヲ持ッテ居リ

マスカ、將來ニ於テモ之ヲ御直シニナ

ラヌ御考デアルカ、是ハ當然ノ事デアッ

テ、個人ガソレ位重イノハ差支ナイト

云フ御考デアルカ

○井上國務大臣 私左様ナ微細ナ點ニ

付テ通ジナイコトガアリマスガ、只今

政府ノヤリ方ニ付テ尋ねテ見マスト、

今木暮君ノ言ハレル通リニ、多少其處

ニ不公正不公平ガアルカラ、今頻ニ研

究シテ居ルサウデアリマスカラ、左様

御承知ヲ願ヒタイ

○木暮委員 今ノ點ハ其程度ニシテ置

キマス、今回ノ減税ノ内容ヲ調べテ見

テ、少シ根本的ニ大藏大臣ニ伺ヒタイ

ト思ヒマスガ、平年度ニ於キマシテ今

回ノ減税ガ地租ト營業収益稅ト云フ、

所謂世間デ云フ直接稅ニ於キマシテ一

ノデアッテ、直接稅トハ自カラ社會政策

的ノ見地カラ意味ヲ別ニシテ居ルモノ

ナルカラ、消費稅ヲ減ラサナクテハ

ナラヌト云フ考ヲ持ッテ居ラレタノデ

アリマスケレドモ、此點ニ付テハ大藏

大臣ハ最近民政黨ニ御這入リニナツタ

ヤウデアルガ、御這入リニナツタ

ヌデモ、多年憲政會以來ノ政府ノ方針

ト云フモノハ是ハ御諒解ニナツテモナラ

テ居ル、ソレカラ砂糖消費稅トカ、織

物消費稅ト云フヤウナモノ、合計ガ一

千萬圓デアッテ、丁度差引致シマスル

ヲ減ラスコトヨリモ五百二十萬圓モ少

對シテ、消費稅ノ減シ方ガ僅カ一千萬

イ、二千五百萬圓ト云フ減稅ニ比較シ

テ、消費稅ノ減シ方ノ少イ方ガ寧ロ二

百萬圓ダト云フコトハ、餘リニ平素ノ

割位ニシカ當ッテ居ナイ、ソコデ割合ヲ

言明ニ對シテ僞リガ多過ギハシナイカ

ト云フ點ヲ先づ伺ヒマス

○井上國務大臣 此點ハ先日御答申シ

テ、消費稅バカリニ減稅ヲシテ

減シ方ノ方ハ、地租、營業収益稅ト云フ

直接稅ノ減ニ比較シテ見ルト六割ニシ

カ當ッテ居ナイ、昭和六年度ナド特ニヒ

ドイ、昭和六年度ニ於テハ消費稅ノ減

ニシカ當ッテ居ラヌト云フヤウナ現狀

デアリマス、ソコデ私ガ御伺致シタイ

事ハ、先づ第一ハ多年民政黨ノ人達ハ、

憲政會ノ時分カラ日本ノ消費稅ハ多過

ギルデハナカラウカ、消費稅ヲ先づ減

ラサナクテハナラヌト云フ議論、所謂

間接稅ヲ減稅スルコトガ國民負擔ノ急

ヲ救フ所以デアル、殊ニ消費稅、間接稅

ト云フモノハ國民大衆ノ負擔ニナルモ

ノデアッテ、直接稅トハ自カラ社會政策

的ノ見地カラ意味ヲ別ニシテ居ルモノ

ナルカラ、消費稅ヲ減ラサナクテハ

ナラヌト云フ考ヲ持ッテ居ラレタノデ

アリマスケレドモ、此點ニ付テハ大藏

大臣ハ最近民政黨ニ御這入リニナツタ

ヤウデアルガ、御這入リニナツタ

ヌデモ、多年憲政會以來ノ政府ノ方針

ト云フモノハ是ハ御諒解ニナツテモナラ

テ居ル、ソレカラ砂糖消費稅トカ、織

物消費稅ト云フヤウナモノ、合計ガ一

千萬圓デアッテ、丁度差引致シマスル

ヲ減ラスコトヨリモ五百二十萬圓モ少

對シテ、消費稅ノ減シ方ガ僅カ一千萬

圓デ、サウシテ直接稅減シ方ガ一千五

百萬圓ダト云フコトハ、餘リニ平素ノ

割位ニシカ當ッテ居ナイ、ソコデ割合ヲ

言明ニ對シテ僞リガ多過ギハシナイカ

ト云フ點ヲ先づ伺ヒマス

○井上國務大臣 此點ハ先日御答申シ

テ、消費稅バカリニ減稅ヲシテ

減シ方ノ方ハ、地租、營業収益稅ト云フ

直接稅ノ減ニ比較シテ見ルト六割ニシ

カ當ッテ居ナイ、昭和六年度ナド特ニヒ

ドイ、昭和六年度ニ於テハ砂糖ト

カ織物トカ云フヤウナモノ、消費稅ノ

中ニ含マレテ總收益ノ中カラ控除サル

ベキ性質ノモノ、ヤウニ吾々ハ考ヘル

ガ、之ニ付テドウ云フ御考ヲ持ッテ居リ

マスカ、將來ニ於テモ之ヲ御直シナ

ラヌ御考デアルカ、是ハ當然ノ事デアッ

テ、個人ガソレ位重イノハ差支ナイト

マスカ、將來ニ於テモ之ヲ御直シナ

テ居ル、近頃ノ新聞紙ヲ見ルト「ルンペントカ云フ言葉サヘモ盛ニ出テ居ルヤウニ、昔トハ非常ニ時代ガ違ッテ居ルカラ、物價ガ下ッタ消費稅ノ方ヲ減ラサナクテモ宜イト云フ理由ニハナラナイ、寧ロ物價ガ下ッテ失業者ガウント殖エテ來タト云フ此時代ニハ、此時コソ國民ノ大衆ニ轉嫁サレル消費稅ルト思ヒマス

○井上國務大臣 織物消費稅ノ如キハ大體申シマスト絹物ガ消費稅ノ根本デアリマスガ、ソレガ三割モ下ッテ居ル今日ニ、又今度ノ織物消費稅ノ下ゲ方モ木暮君ノ言フヤウナ下層社會ノ用ヒル織物ハ免稅ニシテゴサイマス、斯ウ云フコトノ結果ガ出テ居ルノデアリマス、唯、今仰シヤルヤウナ事實モアリマセウガ、吾々ハ非常ニ物價ガ下ッタ、斯ウ云フ場合ニハ消費稅バカリニ全額ノ減稅ヲ持ッテ行クヨリ斯様ニシタ方ガ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○木暮委員 ソレデハ更ニ進ンデ數字デ色々伺フテ見マス、今回御提出ニナッタ昭和六年度ノ歲入豫算ニ依リマスト、所謂租稅收入ト云フモノハ七億七千七百七十三萬圓、之ニ專賣益金、是ハナタガ考ヘテモ消費稅ト云フコトハ一千八百萬圓デアリマスカラ、是ガ一億九千八百萬圓デアリマスカラ、之ヲ足ス

ト今日ノ租稅收入ト云フモノ、國民ノ直接ニ拂フ所ノモノガ九億七千五百九十八萬七千圓ニナル、其中デ所謂間接税、國民大衆ノ頭ニ轉嫁サルベキ所ノヲウント減ラスコトガ極メテ適當デアルト思ヒマス

○井上國務大臣 何割カ其割合ヲ取ツタコトハアリマセヌガ、何レ調査シテ見マセウ、所得稅ガ非常ニ減ツテ居リマスカラサウ云フ割合ニナツテ居ルカモ知レマセヌ、併シサウ減ツテ居リマシテ其割合ガ殖エマシテモ、私ガ先刻申シマスヤウニ或ルモノ、値段ガ下ル、ソレガ從價稅デアルナラバ當然稅モ減ツテ居ル、斯ウ云フ場合ニ吾々ハ消費稅バカリヨ取ツテ進ンデ行クコトハ、餘リ此時代ニ適應シナイト斯ウ考ヘテ、今四ツノ稅ヲ取ツタ次第アリマス、サウ申上ゲルヨリ外ニアリマセヌデス  
○木暮委員 今大藏大臣ハ所得稅ノ歲入ガ減ツタカラソレデ割合ガ殖エテ居ル、斯ウ仰シャッタ、所得稅ガ減ツタル時ニ——所得稅ト云フ有產階級ガ出ス稅ガ減ツテ居ル時ニ、此消費稅ノ減額ガ少イト云フコトガ尙ホ惡イデハアリマセヌカ、能クサウ云フ事ハ御考ヘ下ヌツテ御答辯ヲ願ヒタイ、消費稅ガ物價ガ下ツタカラ宜カラウトカ何トカ云フコトヲ言ツテ居リマスガ、消費稅ヲ何故減サナケレバナラヌカト云フコトハ恐ラク大藏大臣モ御存ジデアラウ、其處ニ頭ヲ抱ヘテ居ル小川サンハ能ク本ヲ書イテ居リマスカラ能ク御存ジト思ヒマスガ、所謂消費ニ依テ國民ノ擔稅能力ヲ測ルト云フコトハ、是ハ租稅逋脫ノ途ヲ防グ上ニ於テ必要デアリマスガ、御

承知ノ通リ消費ト云フコトノミヲ目安  
トシテヤルト云フコトハ、是ハ國民ノ  
負擔力ニ應ズルモノデナイ、煙草ヲ喫  
フニシテモ、金持ガ貧乏人ノ百倍煙草  
ヲ喫フノデナイ、著物ヲ著ルニシテモ  
貧乏人ガ一反買フ時ニ百反買フモノデ  
ナイ、即チ消費ダケデ國民ノ擔稅力ヲ  
捕捉スルト云フコトニハ非常ニ缺陷ガ  
アル、唯是ハ目ニ見エナイヤウニ不知  
不識ノ間ニ取レルカラ、稅收入ノ立場  
カラ見マシテ、ドウシテモ消費稅ニ賴  
リ過ギルト云フコトガ缺點デアリマ  
ス、ソコデ學者爲政者ト雖モ常ニ考慮  
シテ、消費稅ハ成ベク財源ガアル限り  
減ス方針ニナラナケレバナラヌ、斯ウ  
云フ風ニ其稅金ノ六割五分ヲ占メルト  
云フヤウナ厖大ニナリ過ルト云フ所  
ニ、消費稅ニ缺點ガアルコトヲ御存ジ  
ナイカドウカラ伺ツテ見タイ、消費稅ト  
云フモノハ樂ニ納メル稅金ダト云フ趣  
意ヲ以テ、ドウモ之ニ賴リ過ギル傾ガ  
アル、ソコデ若シ減稅スルナラバ何時  
ノ政府デモ、何時ノ時代デモ消費稅ヲ  
モノデアリマセウ、ソレ故ドウシテモ  
ソレハ租稅ノ大部分ヲ占メルト云フコ  
トニナツテ行クノデナイカ、ソコデ成ベ  
ク剩ツタ金ガアレバ消費稅ニ大部分ヲ  
振向ケテヤルノガ當然デアルト私共考  
ヘルノニ、千五百萬圓ヲ地租、營業收益

稅ニヤリ、消費稅ハ僅ニ千萬圓、而モ昭和六年度ニ於テ二十一萬圓位シカ砂糖ヲ嘗メル者ノ外ニハ影響シナイト云フコトハ、是ハドウモ大藏大臣ノ財政方針トシテハ、非常ニ公正ノ觀念ヲ裏切タヤウニ思ヒマス此點ニ於テ御説明ヲ願ヒマス

カ云フヤウナ収益税ト云フモノヲ加ヘ  
マシタモノガ、是ガ正税ト申シマスカ、  
基本税ト云ヒマスカ、根幹税トナッテ居  
ル、所謂所得税「プラス」収益税ト云フ  
モノガ正税、基本税、根幹税ト云フモノ  
ニナッテ居ル、之ニ對シテ消費税ト云フ  
ヤウナモノハ附隨シタ所ノ副税ト云フ  
カ、第二次税ト云フカ、枝葉税ト云フヤ  
ウナモノニナッテ居ルノデアリマス、之  
ヲ更ニ分リ易ク言ヘバ、所得税ト云フ  
モノガ一軒ノ家ノ主人ナラバ、地租營  
業収益税ト云フヤウナ之ヲ補完スル稅  
ハ所得稅ノ主人ニ對シテ一軒ノ家ノ御  
主婦サンデアル、サウシテ見ルト消費  
稅ノ砂糖消費稅、織物消費稅、煙草益金  
トカ云フモノハ、是ハ下男使用人ト云  
フコトニナッテ居ル、所得稅ガ主人ナラ  
バ所謂地租、營業収益稅ハ主婦デアリ、  
更ニ消費稅ト云フモノハ是ハ使用人ダ  
ト云フコトニナッテ來ル、日本ノ國稅ノ  
體系カラ見テ只今申上グタヤウニ稅金  
ノ六割五分マデハ下男使用人デアル消  
費稅ニ背負セテ居ルト云フコトガ、是  
ガ日本ノ國稅ノ體系上妥當デアルトア  
ナタハ御考ヘニナルカ、或ハ又是デ安  
全デアルト御考ヘニナルカ、大藏大臣  
ニ伺ツテ見タイ



テ割合ヲ取ッテモ、或ハ如何カト思ヒマス、私ハサウ云フ數字ヲ以テ別ニ争フ。次第デハアリマセヌ、併ナガラ木暮君ガ強ヒテ今ノ消費稅ノ非常ニ割合ノ殖エタコトヲ云ハレルナラバ、地方稅モ一遍考ヘテ見ナケレバナラヌノデハナイカト思フノデアリマス。

○木暮委員 消費稅ハ國民ノ大多數ガ負擔スルト云フバカリデハ、消費稅ノ減稅スベキ理由ハマダ足ラナイノデアリマス、モウ一つハ御承知ノ通リ消費稅ガ大多數ノ人ニ加ハルバカリデナク、酒ダトカ、煙草ダトカ、砂糖ダトカ、織物トカ云フヤウナ、一般ノ人カラ消費セラレテ居ルモノハ、所謂消費ダケデ以テ國民ノ擔稅能力ガ不足スルト云ニ重ク負擔スルシ、所謂小所得者ノ方ガ大所得者ニ比較シテ重キ負擔ヲ受ケテ居ル、即チ何ト申シマスカ、累進稅のノ關係ト云フモノ、逆、逆進稅的ト言ヒマスカ、小川サン等ノヤウナ言葉ヲ使イ貧乏人程重クナルト云フ逆進稅的ノ傾向ヲ帶ビルト云フコトガ、是ガ先づ消費稅ヲ減稅シナケレバナラヌト云フ理由ニナル、殊ニ今日ノヤウニ失業者ガ多クナツタリ、今日ノヤウニ物價ガ暴

落シテ、サウシテ營業收益稅ニシテモテ、失業者ヲ出スト云フヤウナコトヲ四百圓程度以下ノ人達或ハ又地租ニ付テ考ヘニナルカドウカ、此點ヲ伺ヒマス、左様ナ結果ヲ生ジマセウ。

○井上國務大臣 消費稅ガ高イト云フハ、是ハ家屋稅ト云フヤウナ惡稅ヲ課セラレル、或ハ地方ニ於ケル所ノ戸數割ハ、是ハ地方ニ於ケル國稅ノ所得稅ト同ジ性質デアルケレドモ、累進點ガナイカラ、下ノ方ノ人ハ非常ニ負擔ノ重キニ苦ンデ居ル、斯ウ云フ人達ガ總體的ニ見テ逆進稅ノ傾ヲ持ッタ消費稅ヲ負擔シテ居ル、ソレ六割幾分ニ達シテ居ルカラ、今減稅ヲスルナラバ此要ガアルデハナイカト伺ッテ居ルノハアリマス。

○井上國務大臣 私等ハ必要ガナイトハ申シマセヌガ、一定ノ率ヲ保ツコトニ重キヲ置クコトガ、最モ公平デアルト考ヘテ斯様ニ致シタノデアリマス。

○木暮委員 消費稅ハ御承知ノ通リ其性質カラ見テ、ドウシテモ物價ヲ高ク思フ、稅ハ經濟界ノ不況ニ赴キマス時ニ皆非常ニ困難ヲスルト同様ニ、ソレガ理想カラ云ヘバ物價ヲ引下ゲルノニ困難ヲ生ズル、國稅地方稅ガアルノハ別問題トシテ其困難ハ必ズアリマセスガ、大藏大臣ハ此點ニ付テハ、消費稅アルガ爲ニ物價ヲ高クシ、又消費ヲ減退サセ、サウシテ產業ヲ衰ヘサセ

日本ノヤウニ澤山取ラレルヤウナコトニナレバ、今日ノ資本主義ノ世ノ中デハ、經濟界ノ大勢ト云フモノガ、不景氣ニ壓迫セラレテ、サウシテ中產階級トニナレバナル程、小資本家ハ大資本家ニ壓迫セラレテ、サウシテ中產階級ト云フモノハ立ツ瀬ガ無クナツテ、段々「プロレタリア」ガ殖エテ來ルト云フ状勢ハ否ムコトガ出來ナイノデアリマスガ、此消費稅ハ消費者ノ方ニ轉嫁サレナイ場合ガヨク起ツテ來ル、サウ云フ場合ニ一番影響ヲ被ル者ハ小サナ資本ヲ向ケルト云フコトガ、當然デハナカラウト思フ、此點ニ付テハ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 私ハ稅ハ總テ木暮サノ言フヤウニドノ稅デモサウナルトシメル傾ガアル、ソコデ物價ト失業ノ方面カラ見テ、消費稅ハ餘リ感心シナイト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ此點ニ付テハ、消費稅アルガ爲ニ物價ヲ高クシ、又消費ヲ減退サセ、サウシテ產業ヲ衰ヘサセス、左様ニエライ何ト申シマスカ、木暮サンガ先刻言ハレタヤウナ學問上ノ理窟デ、數字的ニ一々之ヲ割出シタト言ツテ御答スルダケノ根據モナイノデアリマス。

○木暮委員 消費稅ガ御承知ノ通り、日本ノヤウニ澤山取ラレルヤウナコトニナレバ、今日ノ資本主義ノ世ノ中デハ、經濟界ノ大勢ト云フモノガ、不景氣ニナレバナル程、小資本家ハ大資本家ニ壓迫セラレテ、サウシテ中產階級ト云フモノハ立ツ瀬ガ無クナツテ、段々「プロレタリア」ガ殖エテ來ルト云フ状勢ハ否ムコトガ出來ナイノデアリマスガ、此消費稅ハ消費者ノ方ニ轉嫁サレナイ場合ガヨク起ツテ來ル、サウ云フ場合ニ一番影響ヲ被ル者ハ小サナ資本ヲ向ケルト云フコトガ、當然デハナカラウト思フ、此點ニ付テハ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 私ハ稅ハ總テ木暮サノ言フヤウニドノ稅デモサウナルトシメル傾ガアル、ソコデ物價ト失業ノ方面カラ見テ、消費稅ハ餘リ感心シナイト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ此點ニ付テハ、消費稅アルガ爲ニ物價ヲ高クシ、又消費ヲ減退サセ、サウシテ產業ヲ衰ヘサセス、左様ニエライ何ト申シマスカ、木暮サンガ先刻言ハレタヤウナ學問上ノ理窟デ、數字的ニ一々之ヲ割出シタト言ツテ御答スルダケノ根據モナイノデアリマス。

○木暮委員 消費稅ガ御承知ノ通り、日本ノヤウニ澤山取ラレルヤウナコトニナレバ、今日ノ資本主義ノ世ノ中デハ、經濟界ノ大勢ト云フモノガ、不景氣ニナレバナル程、小資本家ハ大資本家ニ壓迫セラレテ、サウシテ中產階級ト云フモノハ立ツ瀬ガ無クナツテ、段々「プロレタリア」ガ殖エテ來ルト云フ状勢ハ否ムコトガ出來ナイノデアリマスガ、此消費稅ハ消費者ノ方ニ轉嫁サレナイ場合ガヨク起ツテ來ル、サウ云フ場合ニ一番影響ヲ被ル者ハ小サナ資本ヲ向ケルト云フコトガ、當然デハナカラウト思フ、此點ニ付テハ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 私ハ稅ハ總テ木暮サノ言フヤウニドノ稅デモサウナルトシメル傾ガアル、ソコデ物價ト失業ノ方面カラ見テ、消費稅ハ餘リ感心シナイト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ此點ニ付テハ、消費稅アルガ爲ニ物價ヲ高クシ、又消費ヲ減退サセ、サウシテ產業ヲ衰ヘサセス、左様ニエライ何ト申シマスカ、木暮サンガ先刻言ハレタヤウナ學問上ノ理窟デ、數字的ニ一々之ヲ割出シタト言ツテ御答スルダケノ根據モナイノデアリマス。

○木暮委員 消費稅ガ御承知ノ通り、日本ノヤウニ澤山取ラレルヤウナコトニナレバ、今日ノ資本主義ノ世ノ中デハ、經濟界ノ大勢ト云フモノガ、不景氣ニナレバナル程、小資本家ハ大資本家ニ壓迫セラレテ、サウシテ中產階級ト云フモノハ立ツ瀬ガ無クナツテ、段々「プロレタリア」ガ殖エテ來ルト云フ状勢ハ否ムコトガ出來ナイノデアリマスガ、此消費稅ハ消費者ノ方ニ轉嫁サレナイ場合ガヨク起ツテ來ル、サウ云フ場合ニ一番影響ヲ被ル者ハ小サナ資本ヲ向ケルト云フコトガ、當然デハナカラウト思フ、此點ニ付テハ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 私ハ稅ハ總テ木暮サノ言フヤウニドノ稅デモサウナルトシメル傾ガアル、ソコデ物價ト失業ノ方面カラ見テ、消費稅ハ餘リ感心シナイト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ハ此點ニ付テハ、消費稅アルガ爲ニ物價ヲ高クシ、又消費ヲ減退サセ、サウシテ產業ヲ衰ヘサセス、左様ニエライ何ト申シマスカ、木暮サンガ先刻言ハレタヤウナ學問上ノ理窟デ、數字的ニ一々之ヲ割出シタト言ツテ御答スルダケノ根據モナイノデアリマス。

○木暮委員 消費稅ガ御承知ノ通り、日本ノヤウニ澤山取ラレルヤウナコトニナレバ、今日ノ資本主義ノ世ノ中デハ、經濟界ノ大勢ト云フモノガ、不景氣ニナレバナル程、小資本家ハ大資本家ニ壓迫セラレテ、サウシテ中產階級ト云フモノハ立ツ瀬ガ無クナツテ、段々「プロレタリア」ガ殖エテ來ルト云フ状勢ハ否ムコトガ出來ナイノデアリマスガ、此消費稅ハ消費者ノ方ニ轉嫁サレナイ場合ガヨク起ツテ來ル、サウ云フ場合ニ一番影響ヲ被ル者ハ小サナ資本ヲ向ケルト云フコトガ、當然デハナカラウト思フ、此點ニ付テハ如何デアリマスカ

義ノ觀念ノ上カラ見テモ、稅ノ構成ノ  
上カラ見テモ、先づ消費稅ト云フモノ  
ヲモット減シテヤルト云フコトヲ御考  
ヘ下スッダ方ガ、適當デアラウト思ヒマ  
スガ、此點御考ヘ下ッタカ、斯ウ云フ點  
ハ御考ヘニナラナカッタノデアリマス  
力

○井上國務大臣 只今木暮サンノ言ハ  
レル點ハ消費稅ノ引下ニ最モ困難ナ點  
デアリマス、幾ラ消費稅ヲ下ゲテモ、其  
品物ノ値段ガ稅ヲ下ゲタダケ減ラヌノ  
ハ消費稅ニ何時デモ困難ノアル處デア  
リマス、砂糖ニシテモ、或ハ織物ノ如キ  
ニ致シマシテモ、經濟界ノ狀態ニ應ジ  
テ或ハ「トラスト」類似ノモノ、色々ナ  
モノヲ擁ヘテ、稅ヲ減ラシナガラ、其商  
品ノ値段ガソレダケ下ラヌコトハ消費  
稅ノ最モ困難トスル所デアリマス、隨  
テ消費稅ガ減レバソレダケ大イニ監督  
困難デアリマス、其點ハ吾々決シテ研  
究ヲ怠ッタ譯デモ考ガ抜ケタ譯デモ何  
デモアリマセヌ

○木暮委員 專賣局長ガ御居デスカ  
ラ此際御答ヲ願ヒマス

○平野政府委員 煙草ノ賠償金ノ引下  
ノ事ニ付テ御質問ガアリマシタカラ私  
カラ御答致シタイト思ヒマス、煙草ノ  
賠償金ハ御承知ノ通リ毎年一回十二月

ニ、其當時ノ物價、貯銀、其他煙草ニ對  
スル所ノ色々ノ產業、作物等ノ關係ヲ  
調べ、又一方ニ於テ製造煙草ニ對スル  
需要ノ關係ヲ色々調査致シマシテ、每  
年一回十二月ニ決定ヲ致シマス、ソレ  
ヲ官報ニ告示シマシテ、翌年政府ガ買  
上ゲル所ノ葉煙草ノ賠償金トスルノデ  
アリマス、昭和四年ノ末ニヤハリ左様  
ナ調査ヲ致シマシテ煙草ノ賠償金ヲ引  
下ゲマシタ、其引下ゲタ所ノ總額ハ百  
八十三萬七千圓デアリマシテ、歩合ニ  
致シマスト、三分九厘引下ゲタノデ  
アリマス、煙草ノ賠償金ノ總額ハ四千  
七百七十萬圓餘デアリマスカラ、ソレ  
ニ對シマシテ、百八十三萬七千圓、三分  
九厘ノ引下ラシタノデアリマス、昭和  
四年末ニ引下ゲタノハ煙草ノ鑑定等級  
ハ一等カラ十六等ニナツテ居リマスガ、  
其中デ九等以上ノ葉煙草ヲ下ゲタノデ  
アリマス、優等ハ生產ノ歩合ガ極メテ  
少ウゴザイマスカラ、優等ニハ手ヲ觸  
レマセヌ、二等カラ始メマシテ、二等ノ  
煙草ノ一貫目九圓五十錢デアリマシタ  
ノヲ九圓十錢ニ引下ゲマシタ、三等ハ  
三等ハ標本ヲ除外シマシテ、之ヲ四等  
ニ集メタノデアリマス、即チ八圓四十  
錢デアッタモノヲ七圓四十錢デ買フコ  
トニ致シマシタ、ソレカラ四等ハ其儘  
据置キマシテ五等ハ六圓五十錢ノ標本

ニ、其當時ノ物價、貯銀、其他煙草ニ對  
スル所ノ色々ノ產業、作物等ノ關係ヲ  
リマシタノヲ八等ノ四圓三十錢デ買ッテ居  
フ、九等ハ三圓七十錢デ買ッテ居ッタモ  
ノヲ十等ノ三圓十錢ニ集メル、斯ウ云  
アリマス、昭和四年ノ末ニヤハリ左様  
ナ調査ヲ致シマシテ煙草ノ賠償金ヲ引  
下ゲマシタ、其引下ゲタ所ノ總額ハ百  
八十三萬七千圓デアリマシテ、歩合ニ  
致シマスト、三分九厘引下ゲタノデ  
アリマス、煙草ノ賠償金ノ總額ハ四千  
七百七十萬圓餘デアリマスカラ、ソレ  
ニ對シマシテ、百八十三萬七千圓、三分  
九厘ノ引下ラシタノデアリマス、昭和  
四年末ニ引下ゲタノハ煙草ノ鑑定等級  
ハ一等カラ十六等ニナツテ居リマスガ、  
其中デ九等以上ノ葉煙草ヲ下ゲタノデ  
アリマス、優等ハ生產ノ歩合ガ極メテ  
少ウゴザイマスカラ、優等ニハ手ヲ觸  
レマセヌ、二等カラ始メマシテ、二等ノ  
煙草ノ一貫目九圓五十錢デアリマシタ  
ノヲ九圓十錢ニ引下ゲマシタ、三等ハ  
三等ハ標本ヲ除外シマシテ、之ヲ四等  
ニ集メタノデアリマス、即チ八圓四十  
錢デアッタモノヲ七圓四十錢デ買フコ  
トニ致シマシタ、ソレカラ四等ハ其儘  
据置キマシテ五等ハ六圓五十錢ノ標本

ヲ除外致シマシテ、六等ノ五圓七十錢  
度ニ引下ゲタノハ、五年度ノ煙草ニソ  
リマシタノヲ八等ノ四圓三十錢デ買  
ソレダケノ金額ガ上ツテ來ナケレバナ  
ラス、昨年ノ議會ニモ左  
フ下ゲ方ヲシタノデアリマス、是ハ先  
ニ申上ゲタ製造煙草ノ原料ノ需要關係  
ニ餘程重キヲ置キマシテ、御承知ノ通  
タ、其筈デアリマスルガ、先申シマシタ  
リ以前ニハ口付ノ卷煙草ガ非常ニ賣レ  
マシテ、敷島ガ全盛時代ニ於キマシテ  
ノ此煙草ニ對スル嗜好ノ變遷トデモ申  
タノデアリマスルケレドモ、段々國民  
ニ對シマシテ、百八十三萬七千圓、三分  
九厘ノ引下ラシタノデアリマス、昭和  
四年末ニ引下ゲタノハ煙草ノ鑑定等級  
ハ一等カラ十六等ニナツテ居リマスガ、  
其中デ九等以上ノ葉煙草ヲ下ゲタノデ  
アリマス、優等ハ生產ノ歩合ガ極メテ  
少ウゴザイマスカラ、優等ニハ手ヲ觸  
レマセヌ、二等カラ始メマシテ、二等ノ  
煙草ノ一貫目九圓五十錢デアリマシタ  
ノヲ九圓十錢ニ引下ゲマシタ、三等ハ  
三等ハ標本ヲ除外シマシテ、之ヲ四等  
ニ集メタノデアリマス、即チ八圓四十  
錢デアッタモノヲ七圓四十錢デ買フコ  
トニ致シマシタ、ソレカラ四等ハ其儘  
据置キマシテ五等ハ六圓五十錢ノ標本

ニ、其當時ノ物價、貯銀、其他煙草ニ對  
スル所ノ色々ノ產業、作物等ノ關係ヲ  
リマシタノヲ八等ノ四圓三十錢デ買  
ソレダケノ金額ガ上ツテ來ナケレバナ  
ラス、昨年ノ議會ニモ左  
フ下ゲ方ヲシタノデアリマス、是ハ先  
ニ申上ゲタ製造煙草ノ原料ノ需要關係  
ニ對スル嗜好ノ變遷トデモ申  
タノデアリマスルケレドモ、段々國民  
ニ對シマシテ、百八十三萬七千圓、三分  
九厘ノ引下ラシタノデアリマス、昭和  
四年末ニ引下ゲタノハ煙草ノ鑑定等級  
ハ一等カラ十六等ニナツテ居リマスガ、  
其中デ九等以上ノ葉煙草ヲ下ゲタノデ  
アリマス、優等ハ生產ノ歩合ガ極メテ  
少ウゴザイマスカラ、優等ニハ手ヲ觸  
レマセヌ、二等カラ始メマシテ、二等ノ  
煙草ノ一貫目九圓五十錢デアリマシタ  
ノヲ九圓十錢ニ引下ゲマシタ、三等ハ  
三等ハ標本ヲ除外シマシテ、之ヲ四等  
ニ集メタノデアリマス、即チ八圓四十  
錢デアッタモノヲ七圓四十錢デ買フコ  
トニ致シマシタ、ソレカラ四等ハ其儘  
据置キマシテ五等ハ六圓五十錢ノ標本

カシテ置イテ使ヒマスカラ、昭和四年  
度ニ引下ゲタノハ、五年度ノ煙草ニソ  
リマシタノヲ八等ノ四圓三十錢デ買  
ソレダケノ金額ガ上ツテ來ナケレバナ  
ラス、昨年ノ議會ニモ左  
フ下ゲ方ヲシタノデアリマス、是ハ先  
ニ申上ゲタ製造煙草ノ原料ノ需要關係  
ニ對スル嗜好ノ變遷トデモ申  
タノデアリマスルケレドモ、段々國民  
ニ對シマシテ、百八十三萬七千圓、三分  
九厘ノ引下ラシタノデアリマス、昭和  
四年末ニ引下ゲタノハ煙草ノ鑑定等級  
ハ一等カラ十六等ニナツテ居リマスガ、  
其中デ九等以上ノ葉煙草ヲ下ゲタノデ  
アリマス、優等ハ生產ノ歩合ガ極メテ  
少ウゴザイマスカラ、優等ニハ手ヲ觸  
レマセヌ、二等カラ始メマシテ、二等ノ  
煙草ノ一貫目九圓五十錢デアリマシタ  
ノヲ九圓十錢ニ引下ゲマシタ、三等ハ  
三等ハ標本ヲ除外シマシテ、之ヲ四等  
ニ集メタノデアリマス、即チ八圓四十  
錢デアッタモノヲ七圓四十錢デ買フコ  
トニ致シマシタ、ソレカラ四等ハ其儘  
据置キマシテ五等ハ六圓五十錢ノ標本

餘裕ヲ生ズル、斯ウ云フ狀況ニハナツテ  
居ラヌノデゴザイマス、一應御説明申  
上ゲマス

○武田委員 今ノ事項ニ關聯シテ一寸  
伺ヒタインデス、幸ニ專賣局長官ノ御  
出ノ時デスカラ、私ハ極ク單純ナ事務  
的ノ事柄ヲ一ツ御答ヲ願ヒタイト思  
フ、是ハ豫メ御承知願ヒタインデスガ、  
私ノ質問ハ何等政府ノ御施設ニ對シテ  
反對ヲスル意味ヲ含ンデ居ル質問デハ  
ナイノデス、單純ナ事務的ノ、或ハ是ハ  
シク分ラヌ點ガアリマスノデ簡単ニ質  
問致シタインデアリマス、第一ニ伺ヒ  
タイコトハ、專賣ノ益金ノ計算ハ、私ノ  
考ヘテ居リマス所デハ元賣捌ニ御渡シ  
ニナツタ、即チ賣下代金ヲ一方ニ計算致  
ヘテ出來上ツタモノヲ原價デ御計算ニ  
ナツテ、サウシテ其差ガ專賣益金等ニナ  
ルノデアラウト私ハ考ヘテ居ルノデア  
リマスガ、左様ニ了解シテ宜シウゴザ  
イマスカ

○平野政府委員 其點ニ付キマシテハ  
昨年ノ臨時議會ノ時ニモ武田サンカラ  
御質問ガアツテ、一應申上ゲタヤウニ思  
フノデアリマスガ、歲入カラ歲出ヲ引

キマシテ、專賣局ノ益金ヲ出シマスニ  
付テハ、尙ホ物品ノ計算ヲソレニ加ヘ  
ケレバナラヌ、單純ニ、元賣捌ニ賣ツタ  
煙草ノ賣拂代金ハ益ニナリマス、ソレ  
ハ御説ノ通リデアリマス、歲出ハ葉煙  
草賠償金デアルトカ、工賃デアルトカ、  
俸給デアルトカ、種々ナルモノガアリ  
マシテ、ソレヲ引キマシテ、更ニ政府ガ  
持ツテ居ル品物ノ代價ヲソレニ加ヘナ  
ケレバナラヌ、持ツテ居リマス所ノ資本  
ヲ――、サウシマセヌト云フト歲出ノ  
方ニハソレガ出テ居リマス、煙草ノ原  
料買入額トシテ出テ居リマス、其品物  
トシテ持ツテ居ルモノヲ加ヘナイト益  
金ハ出テ來ナインデス、是ハ昨年モ申  
上ゲマシタト思ヒマス

○武田委員 私ノ伺ヒマシタコトハ昨  
年モ伺ヒマシタガ、今ノハ違フノデア  
リマス、今私ガ伺ツタノハ、一方ノ「バラ  
ンス」ノ上ニ賣上ノ方ハ、請リ元賣捌ニ  
御渡シニナツタモノハ賣下代金デ幾ラ  
幾ラ、斯ウナリマス、借ノ方ニハ御買上  
ゲニナツタ賠償金ヲ、御買上ゲニナツテ  
御拂ニナツタ其原料ハ勿論、今御話ノ如  
キ勞賃其他モ勿論サウデアリマスガ、  
今日製品ニナツテ居ルモノデマダ元賣  
捌ニ御渡シニナラナイモノハ、例ヘバ

元賣捌ニ御拂下ゲニナル原價デ借ノ方  
デ御計算ニナルノデハナク、ソレガ製  
品デ御計算ニナルノデハアルマイ  
カ、サウシナケレバ利益ガ出ナイヤウ  
ニ思ヒマス

○高橋委員 議事進行ニ付テ一言…  
只今專賣局長官ハ昨年其事ハ聽イタヂ  
ヤナイカ、今年聽ク必要ハナイヂヤナ  
イカト云フヤウナ御言葉ガアッタノデ  
アリマスガ、サウ云フ意味ノ言葉ハ洵  
ニ怪シカラヌ（「サウハ言ハヌ」ト呼フ  
者アリ）サウ言ツタヂヤナイカ、サウ云  
フコトハ斯ウ云フ場合ニハ通用シナイ。  
ノデス、皆各委員ハ個人ノ知識缺乏カ  
ラ色々伺フコトガアリマスガ、是ハ審  
査資料トシテ伺ツテ居ルノデアリマス、  
委員全體ニ之ヲ知ラシメナケレバナラ  
ヌ爲ニ多少自分デ承知シテ居ツテモ、其  
必要カラ聽クコトガ往々アルノデアリ  
マス、吾々ハ知ラナイカラ必ズ聽クト  
云フモノデハナイ、質疑應答ト云フモ  
ス

○平野政府委員 私ノ申シマシタノハ  
下ニ、吾々ノ質問ニ對シテハ最モ親切  
ナル御答辯ヲ賜ハランコトヲ特ニ委員  
長カラ御注意アラシコトヲ希望致シマ  
ス

○平野政府委員 私ノ申シマシタノハ  
決シテサウ云フ意味デ申シタ譯デハア  
リマセヌ、自分ノ申シマシタコトガ誤  
解ヲ生ジテ遺憾ニ存ジマス、其點ハ取  
消シテ置キマス、武田サンノ御尋ハ製  
品ヲ元賣捌ニ賣ラズシテ、專賣局ニ持  
ツテ居ル場合ノ製品ノ價格ハドウ云フ  
風ニ計算スルカ、ソレハ資本ノ價格デ

計算致シマス

○武田委員 ソレナラバ私ノ考ヘテ居

ル通リニ御承認願ッタ譯デアリマスカラ、ソレニ伴ッテモウ一ツ伺ッテ見タイ

ト思ヒマス、元賣捌ニ御拂ニナッテ、猶豫期間ガ三箇月間アルト思ヒマス、大抵實際ノ狀況ハ三箇月ニ代金ヲ拂ヒ、上納ヲ致ス前ニ拂下グニナリマシタ品物ハ全部賣拂ニハナツテ居ナイト思フノデアリマスガ、私ノ聞ク所ニ依レバ

政府カラ元賣捌人ニ御引渡ニナッタモノハ代金支拂ヲスル最終ノ期限マデニ半分、少クトモ三分ノ一ハ「ストック」ニ残ツテ居ルコトハ實際ノヤウニ承ッテ居リマスガ、ソレハ專賣局デハ十分ニ御調ベニナツテ居ルト思ヒマスガ、ドノ位元賣捌ノ手許ニ「ストック」トシテ残ツテ居ルノガ普通デアリマスカ、其點ヲ伺ヒマス

○平野政府委員 ソレハ時ニ依ッテ多少ノ異動ハアリマスケレドモ、約半箇月分位元賣捌ノ「ストック」ガ残ツテ居リマス

モウ一ツ伺ヒタインデアリマスガ、此度七月デスカ元賣捌ノ御廢止ニナリ、サウシテ從來ノ代金ノ上納ノ延滞期間ヲ一箇月程短縮シテ早ク上納セシムルヤウナ御方針デアルト云フコトハ、先般大藏大臣ノ御話デモアリ、現ニソレ

ヲ實行ナスツテオキデニナル、其爲ニ元賣捌ハ非常ニ困ッテ、東京ノ元賣捌ノ如

キハ聯合シテ、一旦政府ハ約束シテ吾々ニ三箇月延納ヲ許シテ置キナガラ、

其契約ノ内ニ於テ政府ノ都合ニ依ッテ何時デモ短縮スルト云フコトガアッタカラト云ツテ、左様ナ亂暴ナコトヲシテ吾々ヲ苦シメルコトハ困ルト云フノ

デ、東京ノ元賣捌ハ總テ廢業シタト云フヤウナコトモアル、隨分此點ニ付テハ困ツテ居ルデアラウト思ヒマス、私ハ今其點ヲ伺フノデハナイガ、兎モ角三

ハ残ツテ居ル「ストック」ハ一層多クナルト思フノデアリマス、サウシテ其元賣捌ガ愈々廢止サレタト云フ場合ニ、元賣捌ノ持ツテ居ル「ストック」ハ當然原價デ

御引取リニナルモノト私ハ思ヒマスガ、ソレハ如何デアリマスカ

○平野政府委員 御答致シマス、元賣捌ニ對シテノ延納ノ期間ハ三箇月デハアリマセヌデ、二箇月デアリマス(武田

委員「ソレハ私ノ聽違ヒデアリマシタ」ト呼フ)ソレカラ元賣捌人ヲ廢止シマタ時ニ、元賣捌ノ手許ニ持ツテ居リマス

モウ一ツ伺ヒタインデアリマスガ、此度七月デスカ元賣捌ノ御廢止シマサウシテ從來ノ代金ノ上納ノ延滞期間ヲ一箇月程短縮シテ早ク上納セシムルヤウナ御方針デアルト云フコトハ、先般大藏大臣ノ御話デモアリ、現ニソレ

テハ、政府ガ元賣捌人ニ御引渡ニナッタ場合ニハ、ソレダケ貸シノ部ニ御拂下

其内千五百萬圓ダケ元ニ戻シタト云フ

アリマス、サウシテ其中カラ、詰リ原料品ノ原價ト、ソレニ生産費ヲ加ヘタモ

ノガ借ノ部ニハイル、サウシテ元賣捌入レテ御計算ニナル、其差ガ利益ニナ

ル、然ル所三分ノ一若クハ半分、少クトモ三分ノ一ト云フ御話ガアリマシタ

ガ、假ニ三分ノ一デモ宜シイ、茲ニ約五千五百萬圓ノ品物ガ残ツタト致シマス、

モ三分ノ一ト云フ御話ガアリマシタセウ、假ニ是ハ假定ノ論デアリマスガ、

或ハ三分ノ二位ハ利益ニナルデアリマスガ、

サウスルト千五百萬圓ノ元賣捌ハ多分

千五百萬圓ノ差ガ出來ナケレバナラヌモ三百ノ一ト云フ御話ガアリマシタ

セウ、假ニ是ハ假定ノ論デアリマスガ、

サウシテ政府ノ利益ガ三分ニニアルト

千萬圓ノ滯リ賣掛金ガ元賣捌ニアルト

致シマス、サウスルト約千五百萬圓ト云フモノハ元值デ御引取リニナッタ、サ

ニ残ツテ居ル「ストック」ハ一層多クナルト思フノデアリマス、サウシテ其元賣捌ガ愈々廢止サレタト云フ場合ニ、元賣捌ノ持ツテ居ル「ストック」ハ當然原價デ

御引取リニナルモノト私ハ思ヒマスガ、ソレハ如何デアリマスカ

○平野政府委員 御答致シマス、元賣捌ニ對シテノ延納ノ期間ハ三箇月デハアリマセヌデ、二箇月デアリマス(武田

委員「ソレハ私ノ聽違ヒデアリマシタ」ト呼フ)ソレカラ元賣捌人ヲ廢止シマタ時ニ、元賣捌ノ手許ニ持ツテ居リマス

モウ一ツ伺ヒタインデアリマスガ、此度七月デスカ元賣捌ノ御廢止シマサウシテ從來ノ代金ノ上納ノ延滞期間ヲ一箇月程短縮シテ早ク上納セシムルヤウナ御方針デアルト云フコトハ、先般大藏大臣ノ御話デモアリ、現ニソレ

借ノ部ニモ原價デ計算ニナルカラントンニナル、ダカラ五千萬圓ノ賣掛金

利益ヲ御計算ニナッタデセウガ、戻シタ

トス、ナラナケレバナラヌ、即チ貸ノ部ニモ

利益ヲ御計算ニナッタデセウガ、戻シタ

トス、ソレノ數字ヲ申シマスト、買戻シノ

金額ガ約千二百萬圓バカリアリマス、

是ハソレダケ金ヲ出シテ引取ルノダカラ、歲出ノ方ノ損ニナリマス、ソレカラ政府ニハイッタ千二百萬圓ニ相當スル製品ノ資本價格、原價ハ三百六十萬圓デスカ三百三十萬圓デスカト思ヒマスガ、サウ云フ金ガ專賣局ノ方デ計算シ方ハ千二百萬圓ノ損ニナリ、歲入ノ方ハソレダケ資本金ガハイッテ參リマスカラ、三百六十萬圓カ三百七十萬圓、其金ガ益ニナッテ計算サレルコトニナリマス、ソレ等ハ全部其通り計算サレマス

○武田委員 サウシマストスウ云フコトニナルノデアリマスカ、千五百萬圓チラ千五百萬圓ノモノヲ御引取ニナッタ、貸ノ方ニハ原價三百何萬圓デアルカ、利益ノ部ニハイッテ、サウスルト千二百何萬圓ト云フモノハ損ト云フモノヲ貸ノ部ニ一項設ケテ、損ト云フ計算ガ出テ居ルノデアリマスカ

○平野政府委員 ソレハ煙草買戻金ト云フコトデ整理シテ居リマス、三百四十九萬二千圓、此買戻金三百四十九萬二千圓、ソレダケ最初ニ出テ來マスカラ損ニナル、ソレカラハイッテ來ル品物ノ價格三百四十九萬二千圓ト云フモノガ益ニナル

○武田委員 大體了解致シマシタガ、尙ホ精細ノコトヲ繰返シタイノデス

ガ、ソレハ專賣局ノ豫算ニ關シタ參考書デ其明細ノコトヲ承知スルコトガ出来マセウカ、見積リト云フヤウナ参考書類ニハソレガアルノデゴザイマスカ、其計算ノ仕方ハドウ云フ風ニナッテ居ルノデフリマスカ

○平野政府委員 ソレハ印刷ヲ致シタモノハアリマセヌノデスガ、手許ニ調ベタモノハアリマス

○武田委員 然ラバ御面倒デモ今御説明下スッタコトヲ數字ノ表ノヤウナモノニシテ作ッテ、明日デモ宜シウゴザイマスカラ御示シ願ヒタウゴザイマス、ソレヲ拜見シタ上デ、疑ガアレバ今一應御伺シタイト思ヒマス

○平野政府委員 承知致シマシタ

○高橋委員 私ハソレニ關聯シタコトデ一二御尋シテ見タイト思ヒマスガ、賠償價格ニ非常ナル差等ガアルト云フコトハ、是ハ煙草耕作者ニ取ッテ、收入ニ非常ナル大小ノ差等ヲ生ズルノデアリマスガ、四年度末ニ御決定ニナッタル引下價格ト云フモノハ、特等竝ニ一等同ジ事デアリマシテ、私ハ專賣益金ノハ其儘デ手ヲ觸レナカッタ、五年度末ニ於テハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、念ノ爲ニ五年度末ノモノヲ、只今リマスガ、四年度末ニ御決定ニナッタル説明書ニ付テ二百萬圓幾ラハ勞働賃、御答辯ガアッタヤウニ伺ッテ居リマスガ、其昭和四年度ニ引下グマシタ所ノ居ルノデアルカ、此昭和六年度ノ豫算ニ引下ニナッテ居ルノデアルカ、ソレヲ一寸御伺シテ置キタイト思ヒマス

○平野政府委員 ソレハ先刻大臣カラハ、斯ウ云フコトデアッタ記憶致スノハ、斯ウ云フコトデアリマス、丁度先程木暮君ノ質問ト同ジ事デアリマシテ、私ハ專賣益金ノハ、其儘デ手ヲ觸レナカッタ、五年度末ニ於テハドウ云フコトニナッテ居リマスカ、念ノ爲ニ五年度末ノモノヲ、只今リマスガ、ソレハ賠償價格ノ引下ニ依ッテ得タナリマスレバ武田君ノ表ト一緒ニ明日モソノデアルト云フ御説明ヲシテ居ルノデモ引下ニ對スル價格表ヲ御提出願フテモ宜シウゴザイマス

ナラナイノデアリマスガ、ソレハ五  
年度引下ハ比較的上級ノ煙草ニ對シテ  
引下ヲシタノデアリマスカラ、上級ノ  
物ハ專賣局ノ倉庫ニアリマシテ、引下  
ゲマシタ原料ヲ使ッテ居リマセヌカラ、  
ソレデ益金ヲ見テ居リマセヌ、先程申  
シマシタノハ、六年度以降ニト申シタ  
ノデアリマス、ソレヲ使ッタ場合ニ專賣  
局ノ益金トシテ現ハレルノデアリマ  
ス、四百萬圓ト申シマシタケレドモ、四  
百萬圓ノ中ニハ色々ナ外國ノ煙草ノ原  
料ヲ買フ分ニ付テ引下ゲタノデアリマ  
シテ、内地ノ煙草ハ一昨年ノ引下ハ百  
八十萬圓デアリマス

○平野政府委員 賠償價格ノ引下ヲ致シタノデアリマス、ソレト一寸附加ヘテ申上ゲマスガ、等級ノ範圍ヲ狹メタシテ、尙ホ一等ニ優ル品物ガ出來タ場合ニハ優等トシテ採ル、優等マデ入レマスト十七等デアリマスカラ、昨年ハ等級ノ範圍ガ十七等、十六等ト云フヤウナコトハ多過ギル、事務的ニ言ッテモ非常ニ煩雜デアルト云フコトカラ、等級ヲ先刻申上ゲマシタ如ク除斥シタノガ多イノデアリマス、例ヘバ三等、五等、七等、九等、斯云フ風ニ等級ヲ除斥シマシテ、其結果今日デハ優等ヲ外ニシテ十二等デアリマス、更ニ今年ハ之ヲ十二等ニシヨウト云フコトカラ、本年ハ昨年ノ四等ト更ニ二等ヲ除斥シマシタ、引下ハ今年ハ全部ニ對シテ引下グタノデアリマス

レデ私ハ分ルノデアリマス、次ニ伺ヒ  
タイノハ、輸出煙草ハ今マデ承ッテ居リ  
マスノハ、下等ノ煙草ト輸出葉煙草ト  
承ッテ居リマスガ、今日ハ何等以下位ノ  
標準ノモノガ埃及ニ向フノデアリマス  
カ

ト思フノデス  
○平野政府委員 御承知ノ通リ埃及ニ  
日本ノ煙草ガ出マス初ハ大戰以後ノコ  
トデゴザイマシテ、一時十二三年頃相  
當出タノデアリマスルガ、埃及ニ日本  
ノ煙草ガ澤山出ルト云フコトハ、非常  
ニ希臘其他ノ方面デ脅威ヲ感ズルト云  
フコトカラ、關稅ノ差別待遇ヲ致シタ  
ノデアリマス、ソレガ爲ニバッタリ埃及  
輸出ガ止ツテ居リマシタガ、昨年以來ボ  
ツボツ出始メマシテ、昨年ハ噸カ三十一  
五萬貫位埃及ニ輸出シテ居リマス、併  
シ此情勢ガマダ條約モ本極リニキマッ  
タ譯デモアリマセズ、ドウ云フ風ニ落  
付キマスカ、聞ク所ニ依リマスト、日本  
カラ輸出スル所ノ葉煙草ハ量ガ非常ニ  
量張ツテ値段ガ安クテ、何ト申シマス  
カ、中味トシテ非常ニ宜イト云フコト  
カラ、製造業者ノ方カラハ相當熱心ニ  
希望シテ居リマスケレドモ、マダ將來  
ニ瓦ツテドレダケノ葉煙草ガ年々運出  
サレルカト云フコトガ見極メガ付キマ  
セヌカラ、ソレヲ目標トシテ耕作地ヲ  
餘リ擴張スルト云フコトハドウカト考  
ヘテ居リマスケレドモ、何シロ日本ノ  
葉煙草ガ外國ニ輸出スルト云フコトデ  
アリマスカラ、外國カラ正貨ヲ持ツテ來  
ルト云フコトニ於キマシテモ、非常ニ  
結構ナコトト思ヒマスカラ、成ベクソ  
レハ獎勵ヲシテ行キタイ斯フ云フヤウ

○高橋委員 尚ホ之ニ付テ御伺シタイ

ナ考ヲ持ツテ居ルノデアリマス

コトガアリマスガ、尚ホ色々ナ表ヲ戴

イタリナドシテ他ノ機會ニ譲リタイト

思ヒマスガ、大藏大臣ニ此場合一寸一

言申上ゲテ置キマスガ、今農家ハ非常

ニ窮迫シ、殊ニ葉煙草生産地ナドニ於

テハ、從來煙草ガ引合ハヌト言ッテ煙草

ヲ引抜イテ桑ヲ植エテ居ツタ東北地方

ノ實例デアルガ、今度ハ逆ニナツテ、低

利資金ナドモ借リテ桑ヲ引抜イテ、其

後ヘ葉煙草ヲ植エヨウト云フ計畫ガ大

分多イノデアリマス、此雪解ヲ待タズ

シテ寒中ニソレ等ノ作業ヲヤリタイト

云フ計畫ガ多イ、ソレデ政府ノ御方針

ト云フモノヲ決定シナケレバ時期ヲ失

スル憂ガアル能ク大臣ニ於カレマシテ

ハ長官ト御打合セ下サイマシテ、是等

ノ方針ヲ確定致シテ、ソレト各地方

ノ專賣局、或ハ縣ノソレトノ機關ヲ

通ジテ國民ニ徹底スルヤウニ致シテ戴

キタイト云フコトノ希望ヲ持ツテ居リ

マスカラ、此點ニ付テ簡單ニ希望ヲ申

述テ置キマス

○井上國務大臣 承知致シマシタ

○加藤委員 私ハ先頃本會議ニ於キマ

シテ、減稅案ノ大綱ニ付テ大藏大臣ニ

質疑致シマシテ御答辯ヲ得タノデアリ

マシタガ、其當時議場モヤカマシクテ

聽エマセヌ點モアリマスシ、尚ホ大藏

大臣ヨリ私ノ質疑致シタコトニ付テ御

タイト思ヒマス

答ニナラナカツタ點モアルノデアリマ

ス

○青木政府委員 四十二番以下ノ麻絲

○

シタインデアリマスガ、御尋セントス

モ

ノモアリマスガ、帆布、麻ノ洋服地、蚊

ス

サレマシタガ故ニ、私ハ只今ハ少シ河

モノハ左様ナモノデアリマス

岸ヲ變ヘマシテ、細カイコトニ付テ御

尋

ヲシテ、其場合場合ニ大藏大臣ノ御答

辯

ヲ得タイト思フノデアリマス、先ヅ

第一ニ御尋シタイノハ、織物消費税ニ

カ

關シテデ、是ハ政府委員カラノ御答辯

デ構ハヌノデアリマス、今度ノ第一條

ノ第二ニ、「麻又ハ麻ト綿トヲ以テ組成

シ其ノ麻ノ單絲ガ英式番手四十二番ヲ

使ヒマス

超エサル織物」トアリマスガ、四十二番

○

青木政府委員 左様デアリマスガ、

仰シヤツタガ、ソレハ帆ニ使フノデス

ノ用途ハ申上グルマデモナク天幕デア

カ

リマセウカラ、私ハ其根據ヲ伺ツテ見タ

イト思ヒマス

○加藤委員 ソレデ四十二番ヲ超エザ

手ヲ以テ限ラレタノニハ何カ理由ガア

スル憂ガアル能ク大臣ニ於カレマシテ

シ

超エサル織物トアルノハ、一般民衆ノ爲ダト

云フヤウナ御説明デアリマスガ、勿論

ソレモアリマスガ、只今ノ帆布若クハ

ソ

リマセウカラ、私ノ調ベタ所ニ依ルト思ハレ

ト

マス、ソレハ主ニドウ云フ所ニ、使フカ

ト

マス、ソレカナラバ、帆布ノ如キ鐵道省、陸海軍ノ

方ニ主ニ使ハレテ居リマス、ソレデ私

ハ只今御分リニナツテ居ツタナラバスウ

云フコトヲ御伺シテ置キタイ、四十二

番以下ノモノ、生産額ハドノ位アル

ニシテ貴ヒタイト云フ御希望ヲ或ル場

合デ伺ツテ、八十番ニシタ場合ドレ位減

税額ガ殖エルデアラウカト調べマシタ

ガ、今正確ニ記憶致シマセヌガ、尙ホ三

十萬圓位ハ減稅金額ガ多クナル見込デ

御渡シ下サイマシテモ宜シウゴザイマス

○青木政府委員 御尋ノモノハ此處ニ

數量、價格ニ分ケテ生産額モ調べテア

リマスガ、之ヲ今此處デ申スヨリ、後デ

表ニシテ差上ゲタ方ガ宜カラウト思ヒ

マス

○加藤委員 疊ノ縁ト云フヤウナモノ

モアリマスガ、其中ニ帆布トカ何トカ

ルト、東京ナドデ申セバ、帝國製麻會社

ハ四十二番以下ノモノバカリ製造シテ

居リマシテ、此會社ナンカ大喜ビデア

ラウト思ヒマスガ、ドウモ陸海軍及ビ

鐵道省ニ向クモノデアリマシテ、何レ

其表ヲ戴ケバ明白ニナルデアラウガ、

一般民衆ノ使ブモノヨリハ、政府自體

ガ御買上ゲニナルモノガ免稅ニ相成ル

ト云フ結論ニ私ノ調査ニ依レバナルノ

デアリマス、是ハ何レ表ヲ戴キマシテ

カラ又質疑モ致シタイト思ヒマス、モ

ト云フ結論ニ私ノ調査ニ依レバナルノ

デアリマス、是ハ何レ表ヲ戴キマシテ

ウーツ伺ヒマスガ、大衆向キト云フナ

ラバ、四十二番ニセズ序ニ六十番位ニ

御上ゲニナツラドウカ、サウナルトド

ノ位免稅額ガ違フノデアリマスカ

○青木政府委員 今ノ六十番ト云フ所

デハ調ベテ居リマセヌガ、實ハ八十番

ニシテ貴ヒタイト云フ御希望ヲ或ル場

合デ伺ツテ、八十番ニシタ場合ドレ位減

税額ガ殖エルデアラウカト調べマシタ

ガ、今正確ニ記憶致シマセヌガ、尙ホ三

十萬圓位ハ減稅金額ガ多クナル見込デ



願ヒタイト思フノデアリマス

ソコデ私ハ大藏大臣ニ御尋致シタイ

ト思ヒマス、今回ハ斯様ニ現行法ノモ

ノヲ其儘少シヅ御改正ニナッテ前刻カ

ラ申シマス如ク、如何ニモ免稅ノ範圍

ガ廣クナッタヤウデアリマスガ、只今

伺テ見レバ、マア細カイ數字ハ出ルデ

アリマセウガ極ク僅カダケデアリマ

ス、而シテ斯様ナ所ハ御直シニナッタノ

デアルガ、免稅ハ漸ク一分シカナノ

デアリマス、是ハ寧ロ斯様ナ點ハ——

細カイ點ハ暫ク別トシテ、真ニ免稅ヲ

ナサルト云フノデアリマシタナラバ、

是ハ二分位ナサルノガ本當デハアリマ

スマイカ、唯聲バカリ大キク、實際ハ此

減稅ハ僅少デアル、真ニ此減稅ノ意義

ヲ徹底セシメヨウト思ヘバ、斯様ナ陸

海軍、鐵道省ニ買フ所ノ用途品、或ハ莫

大小ノ如キガ又省ケテ居ル、餘程不公

平デアルノデアリマスガ、故ニ是ハ寧

ロ公平ニ全體ニ一分ヨリモ二分、進ン

デ前ノモノ、如キハ僅カデアル——掛

聲バカリ大キクテ實際ハ僅カデアリマ

スガ故ニ、真ニ減稅ノ意義ヲ達セラレ

ヨウト思フナラバ、一分ノモノヲモウ

少シ分ヲ増サレルノガ本當デハアリマ

スマイカ、極メテ簡單明瞭デアル、之ニ

對シテ細カイ部類ノモノヲ斯様ニ改正

何カ根據ガアルデアリマセウカ、其處

ヲ私ハ伺ヒタイト思ヒマス

○井上國務大臣

加藤君ノ御説ハ御尤

デアリマスガ、要スルニ金額ニ依テ制

限ナレタコトニナリマス、先刻申シマ

ス如ク、四ツノ稅ヲ取ッテ、其二千五百

萬圓ヲ皆ニ振向ケテ見ヤウト云フ比較

論カラ來マシテ、サウシテ織物消費稅

ノ百分ノ十ト云フモノヲ百分ノ九ニシ

タ所以デアリマス、ソレカラ只今麻ノ

云フノデアルカ、百分ノ九ト云フコト

番手ノ問題——大分此番手ノコトハム

ヅカシカッタ問題デ、私モ度々評議ニ

與ツテ苦勞シタノデアリマスガ、四十二

番手以下ニ致シマスト——大概日用品

番手トカ八十番手トカ云フモノガア

ルヤウニ吾々ハ考ヘテ居リマス、今九

十番手トカ八十番手トカ云フモノガア

リマシテ、御手許ニ差出シマシタヤウ

ニ、六十番手、八十番手ノモノニナル

ト、餘程上布デモ上等ノ部類ニ屬スル

ノデアリマシテ、四十二番手ト申シマ

スト、普通夏ノ「リンネル」ノ洋服モ大

概省カレルノデアリマス、蚊張ノ如キ

キマシテ、サウ云フ御質問ガアレバ申

上ゲザルヲ得ナイノデアリマス、十一

シマスレバ百分ノ十ハ取ッテ居ラナイ、

ハ殆ド全部——特別ニ註文デモシナケ

ナル、サウ云フ有様デアリマスカラ、大

ナラバ一割ノ稅ヲ課ケルノデアリマス

レバ、日常使ツテ居ル蚊張ハ全部無稅ニ

體是デ宜イト考ヘタノデアリマス、是

ハ見方ニ依リマシテ、此處ハ贊澤、此處

ハ贊澤デナイト云フ分解ニ付テハ御議

論モアリマセウガ、大分此點ハ研究シ

○加藤委員 是モ大藏大臣ニ私ハ伺ヒ

一割ヲ減ゼラレテ、百分ノ九ニナサッテ

タイト存ジマスガ、織物消費稅ハ今度

分比ノ十一分ノ八ト云フモノヲ目安ニ

致シテ居リマス、デアリマスカラ御質

問ノヤウニ、若シ此一割ヲ九分ニ減シ

ニナリハシナイカト云フ御懸念ガアル

云フコトニナルト、今日ヨリモット増税

コト、思ヒマスガ、即チソレハ目安デ

アルカト云フ御質問ハ、ソコカラ出タ

ノカト思ヒマスガ、今十一分比デ十一

分ノ八ヲ目安ニシテ居リマスカラ、今

後ノ取扱方ニ於キマシテハ、詰リ現在

ノ稅額ト言ヒマスカ、稅率ト言ヒマス

カ、現在實際取ッテ居ルモノノ一割ヲ減

ラスト云フ目安ヲ立テ、行カナケレバ

ナラナイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマ

ス

○青木政府委員 加藤サンハ恐ラク織

物消費稅ノ現在ノ取リ方ニ付テ詳シク

御承知ニナッテノ御質問ト思ヒマスガ、

私カラ實ハ公ニハ申セナイコトデアリ

マスケレドモ、織物消費稅ノ徵收ニ付

○加藤委員 サウシマスト私モサウ云

フ意味デ御尋致シタノデアリマス、只

シマスレバ百分ノ十ハ取ッテ居ラナイ、

シマスレバ百分ノ十ハ取ッテ居ラナイ、

隨テ今回改正ヲシテ百分ノ九トシテ一

分ノ減稅ヲシタケレドモ、是ハ好イ加

テ、サウシテソレノ十一分ノ十ト云フ

モノヲ課稅標準トシテ、課稅價格トシ

テ宜シウゴザイマヲカ

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、今

日十一分比ヲ取リマシテ、十一分ノ八

ト云フモノヲ目安ニシテ居リマスカ

ラ、私ガ只今申上グマシタノハ、其十一

分ノ八ト云フモノヲ基本トシテ、ソレカラ更ニ一割ヲ引クト、斯ウ云フ方針ヲ以テ進ミタイトスウ思テ居リマス

○加藤委員 私ハ政府委員ガ正直ニ御答辯ニナッタコトヲ多トシテ居リマス實ハ恐ラクハ一割ヲ取テ居ルト大藏大臣ハ言ハレルカト存ジマシタガ、正直ニ御答辯ニナリマシテ私ハ頗ル結構ト存ジマス、實ハ只今ハ織物ノ消費稅ハ一割ヂヤナイ、實際賣價ノ五分カ四分位デアル、ソコデソレニ對シテ今度一分ヲ減ゼラレルノデアル、例ヘバ茲ニ十一圓ノ反物ガ織屋カヲ出ル時ニ、只今政府委員ガ答辯ニナリマシタ如ク十一分ノ八デアリマス、表向カラ言ヘバソレガ課稅ハ八十錢ト相成ル譯合デアルノデアリマス、所ガソレガ一般ノ市場ニ出テ居ル時ハ、十一圓ノモノナラ十六七圓位致シマスデセウ、故ニ是コトニ見テ差支ナイト思フノデアリマスガ如何デゴザイマスカ、是モ一寸伺テ置キマス

○青木政府委員 御答ヲ致シマス、私共ノ方デハ此十一分ノ八ト云フ所ヲ目安ニシテ課稅標準價格ヲ決定致シテ居リ段ハ非常ニ高低ガゴザイマスルモノデゴザイマスカラ、十一分ノ八ヲ目安ニシテ課稅標準價格ヲ定メテ置キマシテ

モ、値段ガ大變下ッタ爲ニ十一分ノ九ニアルト云フコトヲ能ク頭ニ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、ソコデ私ハ或ハ協定ト云フモノガアリマシテ、消費稅ヲ下グテモ、ソレダケ下ラヌ憂ガニナッタト云フヤウナコトモゴザイマスガ、其都度出來得ル限り其實際ノ市場ノ價格ニ適應スルヤウニ課稅標準價格ヲ改メテ居リマス、尤モ一時ノ――一週間ヤ十日、或ハ一月位ノ近イ間ノ間シテ値段ガ上ッタリ下ッタリスル場合ニハ改メテ居リマス、是トテ其改メマニナッタトカ、七ニナッタトカ云フコトモ實際ハアルコトデゴザイマス

○加藤委員 私ハ此場合ニ政府委員ガ正直ニ御答ニナリマシタガ故ニ、更ニ希望モ致シテ置キマスガ、織物消費稅ハ決シテ百分ノ九ニ課稅シテ貰ッテハ困ル、政府委員ガ言ツタ通リニ是ハ目安デアルカラ、其歩合ハドレダケデアルカト云フコトハハッキリ分ラヌケレドモ、少クトモ只今ノ現狀ハ織物消費稅ハ百分ノ五位シカ課稅テ居ラヌガ故ニ、是ヨリ更ニ一分減ジタルモノヲ課稅スニシテ、若シ假ニ織物消費稅ヲ全部免稅ニ致シマシタナラバ、一番效果ガアルノ舉ゲルコトハ、最モ困難ナ點デアリマス、若シ假ニ織物消費稅ヲ全部免稅ニ致シマシタナラバ、一番效果ガアルノデアリマスガ、是ノ減稅ハ減稅シタダメアリマセヌ、思フニ砂糖ノ如キハ、製造業者ガ値ノ協定ヲシテ吊上グル、政府アリマセヌ、思フニ砂糖ノ如キハ、製造業者ガ値ノ協定ヲシテ吊上グル、政府ガ庶民階級ノ爲ニ消費稅ヲ輕稅シタ言ハレマスケレドモ、是ハ唯砂糖ヲ製造スル大キイ會社ガ儲カルダケデアリマシテ、少シモ民衆ニ恩惠ハ轉嫁サレ

ナインデアル、又織物消費稅ニ於テモ  
サウデアリマス、一反五圓ノ銘仙ガ、只  
今ハ二十五錢カ、二十錢ノ課稅ニナッテ  
居リマシテ、ソレヲ一分引キマシテ、二  
十錢ノ課稅ノモノガ二錢引カレルト、  
五圓ノ銘仙ガ四圓九十八錢デ賣ッテ吳  
レルカト云フト、サウ云フモノデハア  
リマセヌ、少シモ消費者ニ輕減ノ轉嫁  
ガナイノデアリマスガ、此轉嫁ノナイ  
モノヲ輕減スルト言ハレルノデアリマ  
スガ、私ハ眞ニ一般大衆ノ利益ニナル  
ト云フ立場デ、消費稅ノ輕減ヲサレル  
カト思ヒマシタガ、少シモ效果ノ舉ラ  
ナイ、唯製造業者、資本家ヲ喜バヌダケ  
ノ輕減ヲサレテ、ソレガ何ノ輕減ニナ  
ルカ、唯困難デアルケレドモ、輕減シタ  
ト言フダケデハ相濟ミマセヌ、モウ少  
シ納得ノノ行クヤウニ、斯ウ云フ輕減  
ヲサレルト云フ主張ヲ、モウ少シ明確  
ニ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス

賣手ノ値段ヲ下ゲル ャウナ方法ヲ採  
タコトガアリマスカ、消費稅ハ其點マ  
デ政府當局者モ大ニ努メテ、消費稅ヲ  
下ゲタダケ效果ノアルヤウニ致サナケ  
レバナラヌコトハ、當然ナコト、考ヘ  
テ居リマス

其位ノ程度デアル、何等一般民衆ガ喜  
ブ程ノ恩惠ヲ受ケルヤウナ輕減デナ  
イ、若シ政府ガ眞ニ一般民衆ニ對シテ  
消費稅ノ輕減ヲシャウト思ヘバ、先刻  
來カラ御議論ノアル所ノ煙草、之ヲ少  
シデモ輕減ナサツタナラバ、的確ニ一般  
民衆ガ恩惠ヲ受ケルノデアリマス、值  
ヲ下グナクテモ、或ハ數ヲ少シ多クス  
ルトカ、何トカ別ナ方法ハ色々アルデ  
アリマセウガ、御自身ノモノハ少シモ  
手ヲ掛けズ、賠償金モ只今聞イテ居ル  
ト下グタ、下グタケレドモ、是ハ高級品  
ノ分ダケデ、下級品ノ方ハ下グヌ、反物  
屋ガ良イ反物ノ方ハ値ガ下ツタカラ、自  
分ノ懷中ハ儲カルガ、惡イ反物ノ方ハ  
下ツテ居ラヌカラ、惡イ反物ハ少シモ下  
ゲヌ、サウ云フコトデナク、全體カラ見  
テ煙草ノ利益ガ上ルト云フナラバ、之  
ヲ均等ニシナケレバナラヌ譯デアリマ  
ス、政府自體ガ的確ニ消費稅ノ轉嫁ヲ  
受クベキモノハ其儘ニシテ置イテ、サ  
ウシテ行方不明ニナルヤウナモノ、輕  
減ヲ爲サルト云フコトハ、是ハマルキ  
リ宣傳ダケダト言ハザルヲ得ナイノデ  
アリマス、先年賣藥稅ト云フモノヲ無  
税ニ致シタノデアル、彼ノ時私共ハ賣  
藥稅ヲ無税ニシタツテ何等效果ハナイ、  
當時ノ濱口大藏大臣ハ、是ハ庶民階級  
ノ醫者ニ掛レヌ者ガ呑ムカラ、一割ヲ  
免稅スレバソレダケ恩惠ニ與ル、理窟

ハサウデアリマス、民政黨ノ諸君ノ言  
ハレルコトハ、机ノ上ノ理窟ハ其通り  
デアリマス、實際效果ハナイ、賣藥ハド  
ウデアルカト言ヒマスト、例ヘバ百粒  
入ツタモノガ五十錢デ、今五錢免稅ニナ  
ツタ四十五錢デ賣ルカト云フト、其時ハ  
百十粒ニスルト云フ譯ニモ行キマセ  
ヌ、直キニ是ハ曖昧ニナツテ行方不明ナ  
ル、當時ノ憲政會ガ減稅ヲシタト云フ  
空名、唯人氣ヲ取ラレタダケデアリマ  
シテ、是ハ全ク無意義ニ終ツテシマッタ  
ト言ツテ差支ナイ、今度ノ消費稅モサウ  
デアル、砂糖、織物、何處ニ一般民衆ガ  
恩惠ヲ受ケルノデデリマスカ、政府自  
體ノモノハ少シモ墓口ヲ緩メズ、民衆  
ノ方バカリ斯ウ云フ宣傳ヲ爲サル、是  
ハ私ハモウ一應大藏大臣カラ、此減稅  
ハ無意義デナイト云フコトヲ、モウ少  
シ的確ニ伺ヒタイ、先刻カラ消費稅ヲ  
吾々ハ平年度ニ於テ三萬圓輕減シタ、  
斯ウ言ハレルケレドモ、是ハ全ク今ノ  
ヤウデ參リマスレバ、大藏大臣自體ガ  
白狀シテ居ラレル、是デ現ハレルコト  
レルコトハナイト云フコトニ相成ツテ、  
大藏大臣自體ガ此減稅ノ無意義デアル  
ト云フコトヲ答辯シテ居ラレル、效果

<p>ハ頗ル困難デアルケレドモ……ト云フ ノハ、即チ無意義デアルト云フコトヲ 言テ居ル、苟モ減税ヲサレルト云フナ ラバ、モウ少シ減税ノ意義ガ徹底スル ヤウニ、私ハ其根據ヲモウ少シ聞キタ ゴザイマスガ、モウ一應私ハ大藏大臣 ニ伺ヒマス</p>
<p>○井上國務大臣 煙草ノ値下ノ問題ガ アリマシタガ、是ハ先刻モ申上ゲタヤ ウニ、同ジ消費税デモ織物或ハ砂糖ト 云フモノト、多少ソコニ趣ガ違フ、隨テ 此際下ゲルコトハ試ミナカッタノデア リマス、又織物消費税、砂糖消費税ノ效 果ガナイト言ハレマスガ、效果ヲ現ハ スノニハ骨モ折レル、又困難デアリマ スガ、私ハ絶對效果ノナイモノトハ毛頭 考ヘマセヌ、例ヘバ只今申シマス如ク、 ト同ジ高ヲ物ノ値段ニ及ボスコトハ困 難デアリマスガ、必ズサウ云フ效果ガ 現ハレルコトヲ期待シテ此消費税ヲ下 ゲテ居ルノデアリマス</p>
<p>○加藤委員 只今大藏大臣ハ餘事ヲ言 フテ、同ジヤウナコトヲ繰返サレテ居 ノデアリマスガ、私ノ伺フノハ、苟モ政 府ガ減税ヲスルナラバ、減税ハ唯空名 ダケデハイケナイ、實際效果ヲ擧ゲル</p>
<p>○井上國務大臣 ヤウニシナケレバナラヌ、是ハ申スマ デモナイコトデアル、今回ノ織物消費 税、砂糖消費税ノ減税ハ、資本家階級ヲ 利得セシメルダケデアル、サウ私ハ思 カ、モウ少シ減税ノ額ヲ多クスルカ、然 ラズンバ政府自體ガ減税ノ意義ガ的確 ニ現ハレルヤウニシナケレバナラヌ、 サウ云フ方法ヲ執ラズシテ、此曖昧模 糊ノ、資本家階級ヲ利得セシムルモノ ノミノ減税ヲサレタト云フコトガ、私 ハ分ラナイ、モウ少シハッキリ分ルヤウ ニ御説明ガ願ヒタイ</p>
<p>○井上國務大臣 加藤君ノ資本家階級 バカリノ利益ト云フコトハ、消費税ヲ 下ゲテ、物ノ小賣値段ニ一切響カヌト云 フコトヲ、豫定サレテノ御議論デアリ マセヌ、サウ云フコトヲ申上ゲテ置 キマス</p>
<p>○加藤委員 大藏大臣ガ困難ダト言ハ レルコトハ、出來ナイ事デアル、五圓ノ 銘仙ガ今度ノ減税ニ依ツテ二錢減税ニ ナル、三益白ガ一斤ニ付テ五厘カ六厘 厘減税ニナツテ、如何ニ政府ガ努力サレ タルト云フコトニ相成リマスカ、銘仙ガ 二錢ダケ減ツタ——困難デアルケレド モ努力スルト言フ、效果ハソレハアリ ス</p>

ノ正直ナ答辯ニ依ッテ私ハ多トシタノ

デアル、又政府委員ニ御讓リニナリマ

スガ、苟モ大藏大臣ガ本會議ノ席上ニ

於テ純益ニ課稅ヲスル、稀ナ場合ハ外

形ニ課スルケレドモ、純益デヤッテ居

ト二度モ三度モ繰返サレタノデアリマ

ス、私之ヲ讀ンデ見マス「只今ノ營業收

益稅ノコトニ付テ御言葉ノ中ニ、外形

標準ヲ以テ大體營業收益稅ノ主トシタ

ル計算ノ基礎トスルト云フヤウナ御話

デアリマシタガ、國ノ稅ノ營業收益

稅ニハ、左様ナコトハ極ク稀ナコト

デアリマシテ」斯ウ云フ風ニ言ウテ

アルノデアリマス「餘程少イ稀ノ場

合デアリマス」ト云フコトヲ大藏大臣

ガ言ハレ、外形標準デナイ、純益デヤル

ト言フ、ソレカラ私ガ又之ヲ質シマス

ト云フト、大藏大臣ハ再び登壇サレテ

「營業收益稅ノコトハ、法律ヲ御覽下サ

ルト法律ノ建前ハ何時デモ純益主義ニ

ナツテ居ルノデアリマス、唯純益ヲ見ル

場合ニ私ガ申上ゲマシタ如ク稀ニ外形

標準ニ依ル」云々ト答ヘラレテ居ルノ

デアリマシテ、繰返シ外形標準デハナ

イ、純益デアルト云フコトヲ言ハレタ

ノデアリマスガ故ニ、是ハ大藏大臣モ

相當確信ヲ以テ、再ビ本會議ニ現ハレ

テ、サウ云フコトヲ言ハレマシタ故ニ、

大藏大臣カラ私ハ承リタイト思フノデ

アリマス、今政府委員ニ答辯ヲサセル

ト云フコトデスガ……

○井上國務大臣 私ハサウ只今申シマ

シタヤウニ承知致シテ居リマス

○加藤委員 只今モサウ申シタヤウニ

覺エテ居ルデハアリマセヌ、左様ニ稀

ノデアルト、斯ウ云フコトデアリマス

益稅ノコトニ付テ御言葉ノ中ニ、外形

標準ヲ以テ大體營業收益稅ノ主トシタ

ル計算ノ基礎トスルト云フヤウナ御話

デアリマスガ、是ハ純益デアリマセヌ、

左様ナコトハ極ク稀ナコト

デアリマシテ」斯ウ云フ風ニ言ウテ

アルノデアリマス「餘程少イ稀ノ場

合デアリマス」ト云フコトヲ大藏大臣

ト思ヒマスガ、是ハ純益デアリマセヌ、

外形標準デヤッテ居ラレルノデアリマ

ス、先刻木暮君ヨリシテ、營業收益稅ノ

コトニ付テ色々質問ガアッタノデアリ

○加藤委員 然ラバ私ハ御尋致シタイ

ヲ少シ位御下グニナルヨリモ、營業收

益稅ノ課稅方法ニ付テ純益ヲ見出スト

云フコトヲ、何等カ考慮ヲ爲サラナケ

レバ、私ハ此營業收益稅ノ趣意ト、全ク

反シテ居ルコトヲ認メテ居ルノデアリ

感ガアルダララウト思ヒマスガ、如何

デアリマスカ

○井上國務大臣 所感ヲ申述ベル前ニ

現狀ヲ一ツ申述べマセウ

○加藤委員 現狀ハ知ッテ居リマス

○井上國務大臣 ソンナラ別ニ所感モ

デアリマスカ

○井上國務大臣 所感ヲ申述ベル前ニ

現狀ヲ一ツ申述べマセウ

○加藤委員 現狀ハ知ッテ居リマス

○井上國務大臣 ソンナラ別ニ所感モ

デアリマスカ

○井上國務大臣 其通リニ考へテ居リ

マス

○加藤委員 大藏大臣ハ先刻營業收益

稅ハ稀ナ場合ニ於テハ外形ニ賦課スル

ケレドモ、殆ド全部ハ純益ニ課稅ヲス

ルトスウ仰シヤッタノデアリマス、ケレ

ドモ私ハサウデナイト言ウタ所ガ、地

方カラ色々ナ物ヲ送ツテ來タノデアリ

マス、此處ニ斯ウ云フ物ガアル、是ハ主

シテ居ルノデアリマス、是ハ有

利ガ捺シテアルノデアリマス、是ハ有

カラ來ルノデアリマス、其處ガ外形標

エル營業ヲ營ンデ居リマス所ノ商賣

ヲ、ソックリ書イテアリマシテ、ソレガ

賣上高ニ依ッテ外形標準デチャント出

來テ居ルノデアリマス、例ヘバ或ル商

賣ヲ見レバ、收入ガ百圓ニ付テ利益ハ

ドレダケ、問屋卸賣ハドレダケ、小賣ハ

ドレダケト、チヤンスウ書イテアルノ

デアリマス、是デ全部課稅ヲ致シテ居

ルノデアリマス、大藏大臣ハ稀ノ場合

ニハ外形ダガ、殆ド全部ハ純益デ課稅

ヲシテ居ルト言ハレルノデスガ、是ハ

一體何デアル、苟モ大藏大臣ガ責任ヲ

以テ本會議デ言ヒ、此處デ私ガ質問致

シマスレバ、左様ノ通リデアリマスト

云フ御答辯デ、外形標準デヤッテ居ラヌ

ト言フ、然ルニ是ニ殆ド外形標準デハ

アリマセヌカ、何處カラカ私ノ處ニ參

テ居リマス、三冊モ參ッタノデアリマ

ス、モウ一遍外形標準デナイト云フコ

トヲ、的確ニ反證シテ戴キタイ

○井上國務大臣 加藤サンニ御答致シ

マスガ、外形標準其儘ヲ稅ノ標準トシ

テハ居リマセヌ、今ノ營業收益稅ハ、外

形標準ニ依ッテ純益ヲ出ス手段ニ使フ

ノデアリマス、ソコハ大變違ヒマス、純

益ヲ割出ス——純益ハ御承知ノ如ク非

常ニ算出ガシニクイカラ、外形標準ヲ

使ツテヤルノデアリマスガ、其目的ハ何

處ニアルカト云ヘバ、純益ヲ割出ス所

カラ來ルノデアリマス、其處ガ外形標

準其儘トハ非常ナ違ヒデアリマス

○加藤委員 然ラバ從來ノ營業稅ト云

フモノハ、純益デナク、外形標準デ課稅

スルト云フ所カラ來テ居リマスガ、若

規内閣ノ時ニナリマシテ、純益ト云フ

名ハ付キマシタケレドモ、從來ノ營業

稅デアリマシテモ、儲ケタモノニ課稅

スルト云フ理窟ハ當リ前デアル、從來

ノモノハサウデナイ、今度ハ純益ヲ見

出ス時ノ手段トシテナルト云フ、ソレ

モウ少シ的確ニ御説明ガ願ヒタイ、能

ク御相談ナスツテ……

○青木政府委員 委員長……

「大藏大臣答辯スベシ」ト呼フ者

アリ】

○井上國務大臣 私カラ申上グマス

ガ、意見或ハ方針ハ大藏大臣ガ的確ニ

御答致シマスガ、アナタノ所謂外形標

準、ソレカラ純益ヲ出スニ付テ、主稅局

稅務監督ノ者カラ現狀ヲ御話シテ、意

見ノ違フ點ヲ説明シヤウト云フノデア

リマスカラ、政府委員カラ答ヘテ差支

ナカラウト思フ

○青木政府委員 アトカラ大臣ガ御答

ニナリマスガ、私ハ實際ノ……

○加藤委員 大臣カラ御答ヲ願ヒマス

○本田委員長 加藤君、暫ラク御待チ

ナサイ

○青木政府委員 大臣ガ責任ヲ以テア

シテ……

○加藤委員 大藏大臣カラ御答辯ヲ願

ヒタイ、只今聽カレタ通リデモ宜シイ、

大藏大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイ

○井上國務大臣 加藤サンドウデス、

現狀ヲ説明サセルニハ、私ヨリ政府委

員ガ詳シイ、簡單明瞭ニ濟ミマスカラ、

如何デスカ、何モ私ノヤウナ實務ニ當

ラヌ者カラ無理ニ答辯シマスヨリハ、

只今加藤サンノ御話ニナリマシタ其課

スルト云フ場合ニ於キマシテハ、

得モアルト云フ場合ニ於キマシテハ、

作リマシタ課稅標準デアリマス、其第

ニ於テ公言ヲナサル以上、相當ノ知識

ト相當ノ確信ヲ持テ居ルダラウト思

ヒマス、ソレヲ手續ノ名ニ隠レテ他ノ

者ニ説明ヲサセテ、自分が免レルト云

フヤウナコトハ許シマセヌ、ソレデア

リマスカラ、其處デ政府委員ト御相談

其所得標準率ト云フモノヲ使ヒマシ

テ、サウシテ第三種所得ノ方デ調ベマス

得ヲ出シテ、營業所得ハ其營業收益稅

ヲ課ケル營業純益ニナッテ居リマス、是

ハ純益ヲ以テ營業收益稅ノ課稅標準ト

致シマシテカラ、ドウシテモサウナル

ス

○青木政府委員 現狀ヲ申上グマス

聽キヲ願ヒタウゴサイマス

トデ御答致シマスガ、アナタガ御持チ

ント日常ノ事務ヲ執ル者ガ附イテ居リ

ニナッテ居ルノハ、所得標準率デアリマ

スカラ、ドウゾサウ御承知ヲ願ッテ御

シテ……

○加藤委員 大藏大臣カラ御答辯ヲ願

ヒタイ、只今聽カレタ通リデモ宜シイ、

ト、此營業收益稅ヲ始メテ設ケマシタ

際ニ、千二百圓以上ノ所得ノアル人デ

アリマシテ、詰リ所得稅ヲ納付スル人

デアリマシテ、サウシテ其人ガ營業所

員ガ詳シイ、簡單明瞭ニ濟ミマスカラ、

如何デスカ、何モ私ノヤウナ實務ニ當

ラヌ者カラ無理ニ答辯シマスヨリハ、

只今加藤サンノ御話ニナリマシタ其課

スルト云フ場合ニ於キマシテハ、

得モアルト云フ場合ニ於キマシテハ、

作リマシタ課稅標準デアリマス、其第

ニ於テ公言ヲナサル以上、相當ノ知識

ト相當ノ確信ヲ持テ居ルダラウト思

ヒマス、ソレヲ手續ノ名ニ隠レテ他ノ

者ニ説明ヲサセテ、自分が免レルト云

フヤウナコトハ許シマセヌ、ソレデア

リマスカラ、其處デ政府委員ト御相談

其所得標準率ト云フモノヲ使ヒマシ

テ、サウシテ第三種所得ノ方デ調ベマス

得ヲ出シテ、營業所得ハ其營業收益稅

ヲ課ケル營業純益ニナッテ居リマス、是

ハ純益ヲ以テ營業收益稅ノ課稅標準ト

致シマシテカラ、ドウシテモサウナル

ス

○加藤委員 先刻織物消費稅ノ課稅ノ

コトニ付キマシテハ、政府委員ハ正直

ニ白狀サレタノデアリマス、今度ノハ

嘘ヲ言ツテ居ル、サウハ參リマセヌ、實

情ヲ御述ニナリマシタ故ニ、私共ノ方  
カラモ實情ヲ述ベテ、サウシテ大藏大  
臣カラ御答辯ヲ得タイト思フ、名古屋  
ノ實情ヲ申シテ見タイト思ヒマス、名  
古屋ノ實情ニ於キマスレバ、百人ノ申  
九十三人マデハ帳簿ト云フモノハ備ヘ  
クハ大キイ商賣人デアリマシテ、合法  
的ニ脱税ヲスルヤウニ帳簿ガ出来テ居  
ルノデアリマス、ソコデ御承知ノ通り、  
營業収益税モ申告ヲ致スノデアリマ  
ス、サウスルト稅務署カラ參リマシテ、  
會社若クハ大キイ商賣人ニ付キマシテ  
ハ、調査ヲ致シマス、ソコデ帳簿ガ正確  
ハ出来テモウ一ツ言葉ヲ換ヘテ言ヒマス  
レバ、稅務署ノ古手ノ人ヲ傭ッテ來テ、  
サウシテ先刻木暮君ノ御話ノ如ク、或  
ハ事務所ノ家賃ハ拔キ或ハ事務員ノ經  
費ハ損金トシテ拔キ、有ユルモノヲ控  
除シテ、純益ヲ非常ニ輕少ニ致スノデ  
アリマス、是モ合法的ニ出来テ居リマ  
スガ故ニ、稅務署デ調査シテモ何トモ  
言フコトハ出来マセヌ、勿論是ハ犯則  
デアルト言ヘバ犯則デアリマスガ、合  
法的ニ脱税ノ方法ヲ講ジテアルノデア  
マスレバ、有ユル階級デ商賣人ハ利益  
ハナイト言ツテ宜シイ、是ハ政府ノ政策  
ノ結果斯ウナツタノデアリマスガ、ソレ  
ハ暫ク別ニ措キマシテ、有ユル階級ニ  
カラモ實情ヲ述ベテ、サウシテ大藏大  
臣カラ御答辯ヲ得タイト思フ、名古屋  
ノ實情ヲ申シテ見タイト思ヒマス、名  
古屋ノ實情ニ於キマスレバ、百人ノ申  
九十三人マデハ帳簿ト云フモノハ備ヘ  
クハ大キイ商賣人デアリマシテ、合法  
的ニ脱税ヲスルヤウニ帳簿ガ出来テ居  
ルノデアリマス、ソコデ御承知ノ通り、  
營業収益税モ申告ヲ致スノデアリマ  
ス、サウスルト稅務署カラ參リマシテ、  
會社若クハ大キイ商賣人ニ付キマシテ  
ハ、調査ヲ致シマス、ソコデ帳簿ガ正確  
ハ出来テモウ一ツ言葉ヲ換ヘテ言ヒマス  
レバ、稅務署ノ古手ノ人ヲ傭ッテ來テ、  
サウシテ先刻木暮君ノ御話ノ如ク、或  
ハ事務所ノ家賃ハ拔キ或ハ事務員ノ經  
費ハ損金トシテ拔キ、有ユルモノヲ控  
除シテ、純益ヲ非常ニ輕少ニ致スノデ  
アリマス、是モ合法的ニ出来テ居リマ  
スガ故ニ、稅務署デ調査シテモ何トモ  
言フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、  
ト云フコトニナルノデアリマスガ、一  
旦申告シタモノハ、悉ク利益ガアルト  
云フコトニ相成ツテ居ルノデアリマス、  
申告致シタモノハ一人トシテ除カサレ  
タモノハナイ、九十「バーセント」ト云  
フモノハ、悉ク純益ノアルモノトシテ  
課稅ヲシテ居ル、是ハ實際ノ狀態デア  
リマス、是ハドウシテ見ルカ、町内ニ來  
テ一軒位ニチヨト聞イテ見ル、ソコデ  
子商ナラ硝子商ガ販賣製造ヲスル、販  
賣ノ方ハ卸賣ガ百圓ニ付テ五圓ノ利益  
ガアルモノナリ、ソレカラ小賣ハ十五

圓利益ガアルモノナリ、製造業者ハ收入百圓ニ付テ十圓ノ利益ガアルモノナリ、ソレデ其營業ノ申告額ニ利益ト云フモノヲチャント見積ル、是ガ外形標準デナクテ何デス、悉ク出來テ居ルノアリマス、是ハ事實デアリマス、少シモ僞リモ何モ言ッテハ居ラナイ、ソコデモウ一ツ是ハ別ナコトニナリマスガ、大體名古屋ナラ名吉屋ニドノ位課稅ヲシテ、ドノ位取ラウト云フ目安ガアルガ、上ノ方ハ免ガレテ來マスカラ、皆下ノ方へ割當テ、シマフ、ソコデ下ノ方ノモノハ怪シカラヌト言ッテ抗辯シマスガ、コンナ帳簿ガ何ノ役ニ立ツ、嘘ヲノモノハサウナルカモ知レナイガ、等シク人ガ簿記ノ學校ヲ卒業シテ豆腐屋ヲ始メル者ハアリマセヌ、悉ク百人ノ中九十七、八マデ帳簿ガ無イ、九十三「バーセント」マデハ帳簿ガ出來テ居ラヌ、是ハ今ノ日本ノ實際ノ狀態ニ於テ、サウ云フ正確ナ帳簿ノ出來テ居ル者ハ無イ、悉ク小商工業者ト云フ者ハ、申告者ハ皆利益ノアルモノナリトシテ課稅シタ、ソコデ營業收益稅ニナリマシテモ、理窟ハ儲カラス者ニハ課稅セヌゾ、儲カラス者ニハ課稅スルト云フコトニナツテ居ル、淘ニ宜イ、百萬圓ノ商賣ヲシマシテモ、損シテ居ル者ニハ課稅セヌ、五萬圓商賣シテモ、二萬圓儲ケタ者ニハ課稅スルト云フノダカラ、淘ニ宜イノデアリ

マスガ、上ノ方ハ只今申スヤウニ、悉ク合法的脱稅、而シテ下ノ方ノ者ハ皆之ヲ背負ハセラレテ居ル、殊ニ昨年アタリカラノ不景氣ニ依リマシテ、上ノ方ノモノハ事實少シモ利益ガ無イ、下ノ者モ利益ガ無イ、然ルニ拘ラズ皆之ヲ課稅シテ居ルノデアリマス、申告ニ基イテ皆此外形表ニ依ツテヤッテ居ル、純益ダカラ純益ニ課稅ヲスル、元ハ營業稅ト云フモノハ賣上ゲニ課稅スル、言葉ハサウナルカモ知レナイガ、等シク外形標準デハナイカ、皆此處ニ出テ居ラヌ、一ツモ無イ、是ガ實狀デアリマス、是デモ稀ノ場合ニハ外形標準ニ依ツテ課稅ヲスルガ、悉クハ純益ニ課稅ヲスルト云フノハ、何處ヲ根據トシテ言ハレルノデアリマスカ、此兩者ノ言ヒ分ヲ聞イテ、實狀ヲ聞イテ、大藏大臣ノ御答辯ガ間違ツテ居ナイカドウカ、之ヲ御答辯ヲ得タイ

○井上國務大臣 加藤君ニ御答致シマスガ、加藤君ノ只今ノ例ニ述ベラレマシタ事ハ、私ハ其儘ニ認メルコトハ出来マセヌ、今ノ商工業者ノ如キ者ハ、悉ク外形ニ依ツテ課稅サレテ居ル、儲カラシタ事ハ、私ハ其儘ニ認メルコトハ出来マセヌ、今ノ商工業者ノ如キ者ハ、悉ク外形ニ依ツテ課稅サレテ居ル、儲カラシタ事ハ、私ハ其儘ニ認メルコトハ出来マセヌ、今ノ商工業者ノ如キ者ハ、悉ク外形ニ依ツテ課稅サレテ居ル、左様ナコトナクテモ課稅サレテ居ル、左様ナコトハ吾々ハ認メマセヌ、加藤サンノ御意見デアルカ知レマセヌガ、左様ナコトハ認メテ居リマセヌ、サウシテ今ノ硝子ヲ幾ラ賣レバ幾ラ儲カル、何ヲ幾ラ

賣レバ幾ラ儲カルト云フコトハ、普通ノ場合デアルガ、稀ナ場合デ純益ヲ見付ケ出スノガ困難ナ場合ニハ、政府委員カラ御答申上ゲタ如ク、ソレヲ用ヒルト云フコトハ、目的ハ純益ヲ割出ス一つノ手段ニ使フト云フコトデアリマシテ、營業収益稅ハ何處マデモ純益ニ依ツテ課稅スルト云フコトガ建前デアリマス、是ハ私ガ本會議デ御答ヲ致シタコト、少シモ間違テ居ナイト考ヘテ居リマス、アナタノヤウニ今例ヲ取ラレテ、法人ノ分ハ九十三「バーセント」デシタカヲ除イテ、後トハ免稅ニナツテ居ル、小商工業者ハ悉ク外形標準ニ依ツテ課稅サレテ、大資本家ハ免稅サレサレテ居ル、斯様ナ事實ハ吾々ハ少シモ認メテ居リマセヌ、九十三「バーセント」ト云フコトガ、若シ間違テ居リマスナラバ、其點ハ後デ更ニ申上ゲマス

○加藤委員 私ノ言フノハ、上ノ方ノ者ハ悉ク無稅ニナッテ、九十三「バーセント」ノ下ノ者ガ悉ク課稅サレテ居ル、詰リ小商工業者バカリガ課稅テ居ル、詰リ小商工業者ハ悉ク外形標準ニ依ツテ課稅サレテ居ル、斯様ナ事實ハ吾々ハ少シモ認メテ居リマセヌ、九十三「バーセント」ト云フコトガ、若シ間違テ居リマスナラバ、其點ハ後デ更ニ申上ゲマス、私ハ當時營業収益稅ノ提案サレタ時ニ、理窟ハ宜シイガ、如何シテ純益ヲ見出スカト云フコトノ質問ヲ屢々致シマシタ、理窟ハ其通リデアル、アナタモ認メテ居リマセヌ、九十三「バーセント」ト云フコトガ、若シ間違テ居リマスナラバ、其點ハ後デ更ニ申上ゲマス

○井上國務大臣 今私ガ答辯致シタノデ、大概盡キテ居ルト思ヒマスガ、加藤モ認メテ居リマセヌ、九十三「バーセント」ト云フコトガ、是ハ理窟ハ宜シテ純益ヲ見出スカト云フト、丁度鼠ガ寄ツテ猫ニ鈴ヲ附ケタラ宜カラウカト言フ、其通リデアリマスガ、如何ニシテモ猫ニ鈴ヲ附ケルト云フコトガ出來ント云フ譯デハナイ、上ノ方ハ合法的ニ税脱ヲシテ居ル、モウ一つ言葉ヲ換ヘテ申セバ、申告ヲスレバ之ニ依テ稅務署カラ來テ調ベマスガ故ニ、ソニ純益ガ有ルカ無イカト云フコトガ明確ニ形式ノ上ニハナルノデアリマス、ソコ除スルト云フヤウニ、比較的公平ニ行

○加藤委員 私ノ言フノハ、上ノ方ノ者ハ悉ク無稅ニナッテ、九十三「バーセント」ノ下ノ者ガ悉ク課稅サレテ居ル、詰リ小商工業者バカリガ課稅テ居ル、詰リ小商工業者ハ悉ク外形標準ニ依ツテ課稅サレテ居ル、斯ウ云フコトハ、丁度鼠ガ寄ツテ猫ニ鈴ヲ附ケタラ宜カラウカト言フ、其通リデアリマスガ、如何ニシテモ猫ニ鈴ヲ附ケルト云フコトガ出來ント云フ譯デハナイ、上ノ方ハ合法的ニ税脱ヲシテ居ル、モウ一つ言葉ヲ換ヘテ申セバ、申告ヲスレバ之ニ依テ稅務署カラ來テ調ベマスガ故ニ、ソニ純益ガ有ルカ無イカト云フコトガ明確ニ形式ノ上ニハナルノデアリマス、ソコ除スルト云フヤウニ、比較的公平ニ行

○加藤委員 今私ガ答辯致シタノデ、大概盡キテ居ルト思ヒマスガ、加藤モ認メテ居リマセヌ、九十三「バーセント」ト云フコトガ、是ハ理窟ハ宜シテ純益ヲ見出スカト云フト、丁度鼠ガ寄ツテ猫ニ鈴ヲ附ケタラ宜カラウカト言フ、其通リデアリマスガ、如何ニシテモ猫ニ鈴ヲ附ケルト云フコトガ出來ント云フ譯デハナイ、上ノ方ハ合法的ニ税脱ヲシテ居ル、モウ一つ言葉ヲ換ヘテ申セバ、申告ヲスレバ之ニ依テ稅務署カラ來テ調ベマスガ故ニ、ソニ純益ガ有ルカ無イカト云フコトガ明確ニ形式ノ上ニハナルノデアリマス、ソコ除スルト云フヤウニ、比較的公平ニ行

○加藤委員 大藏大臣ハ都合ノ好イ事

セヌ、大藏大臣トシテ左様ナコトデアレバ由々シキコトデアルカラ相當考へマセウ、ソシナトボケタ答辯デハイケマセヌ、實際問題デアリマス、大藏大臣ハモウ一遍繰返シマスガ、私ノ認メタコトニ左様ナコトガアリマスナラバ不都合デアリマスカラ、今後ハ改正シマストカ何トカ、注意シマストカ恐入ッテ仰シヤレバ追窮ハ致シマセヌ、唯無暗ニ左様ナコトハナイ、ナイト一點張リデハ承知シマセヌ

○井上國務大臣 稅務監督局ノヤリ方ニ付テ、加藤君ハサウデナイト斯ウ言ハレマシタ、只今御話ノヤウニ、實際ノ事情ニ中々御通曉ニナツテ居ラレルヤウデアリマスガ、一ツ其事實ノ御話ヲ聽キマシテ、吾々モソレヲ基ニシテ取調モ致シマセウ、又監督ノ不行届ナ所ハ監督モ致シマセウ、但シ今日ノ所デハ、私ハ加藤君ノ言ハレルヤウニ九十三人マデガ、今ノヤウニ課稅サレテ居ルト云フヤウナ事實ハ認メマセヌ

○本田委員長 是デ本日ハ散會致シマス、質問ハ次ニ繼續シテ下サイ、散會シマス、次回ハ明日午前十時カラ開キマス

午後五時五十分散會